AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド

障害復旧サポートツール編

第19版



■対象製品

このマニュアルの対象製品は AX-Networker's-Utility (障害復旧サポートツール Version 1.15)です。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には,外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の 輸出関連法規をご確認のうえ,必要な手続きをお取りください。 なお,不明な場合は,弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

IPX は, Novell,Inc.の商標です。

Oracle と Java は, Oracle Corporation 及びその子会社, 関連会社の米国及びその他の国における登録商 標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。

UNIX は, The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。 Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標で す。

インテル Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2020年 3月 (第19版)

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2009, 2020, ALAXALA Networks, Corp.

変更内容

【Ver. 1.15】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.3 利用環境	表 1-1 装置側環境で,対象ソフトウェアバージョンを
	更新しました。
	表 1-2 障害復旧管理 PC 側環境で,以下を更新しまし
	た:
	・動作確認済み Java 実行環境を更新
1.4 注意事項	(9) ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに
	AX2500S および AX2500SE のソフトウェアファイルを混
	在させる場合の注意 を追加しました。
2.3 障害復旧管理 PC の設定を行	表 2-1 装置モデルとバックアップ情報収集先の対応
う	で,装置モデルへ AX2500SE を追加しました。
3.2.5 ソフトウェア更新	ソフトウェアファイルのファイル名へAX2500SEの場合
	を追加しました。
5.1 トラブル発生時の対応	表 5-1 トラブル発生時の対応方法 へ項番 13 を追加し
	ました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

■対象製品およびバージョン

このマニュアルは AX-Networker's-Utility (障害復旧サポートツール)を対象に記載しています。また, ツール バージョン Ver. 1.15の機能について記載しています。操作を行う前にこのマニュアルをよく読み,書かれて いる指示や注意を十分に理解してください。また,このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使い やすい場所に保管してください。

■対象読者

本製品を利用したネットワークシステムを構築し,運用するシステム管理者の方を対象としています。また, 次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識
- 装置に関する基礎的な知識

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

http://www.alaxala.com/

■このマニュアルでの表記

API	Application Programming Interface
AXCM	AlaxalA Config Master(AX-Config-Master)
CA	Certificate Authority
CLI	Command Line Interface
CSV	Comma Separated Values
DB	Data Base
GUI	Graphical User Interface
HTTP	HyperText Transfer Protocol
ID	Identifier
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPX	Internetwork Packet Exchange
JRE	Java SE Runtime Environment
L2	Layer 2
L3	Layer 3
LAN	Local Area Network
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
OAN	Open Autonomic Networking
ON	Open Networking
PC	Personal Computer
SDK	Software Development Kit
SFP	Small Form factor Pluggable

SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SQL	Structured Query Language
SSL	Secure Socket Layer
TCP	Transmission Control Protocol
TLS	Transport Layer Security
VLAN	Virtual LAN
VRF	Virtual Routing and Forwarding
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable
XML	Extensible Markup Language

製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を次の表に示します。

	このマニュアルでの表記
Java SE Runtime Environment	Java
Java SE Development Kit	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2 または Windows
Operating System	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	
Operating System	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 または Windows
Operating System	
Microsoft® Windows® 7 Professional	Windows7またはWindows
Microsoft® Windows® 7 Enterprise	
Microsoft® Windows® 7 Ultimate	
Microsoft® Windows® 8.1 Pro	Windows 8.1 または Windows
Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise	
Microsoft® Windows® 10 Pro	Windows 10 または Windows
Service Pack	SP

■KB(バイト)等の単位表記について

1KB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024×1,024 バイト, 1,024×1,0

■このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号について説明します。

記号記号記号記号	説明
[] (角括弧)	メニュー名,画面名,またはフィールド名を表しま
	す。
	メニュー名を表す場合は,上位メニューから下位メ
	ニューへとメニューが階層化されていて、下位のメ
	ニューを示す場合は、上位と下位のメニュー名の間
	をハイフンでつないで表記します。
	例:[ファイル] - [終了]
	画面名を表す場合は、角括弧内に画面名を表記しま
	す。
	例: [IP アドレスの入力] 画面
	フィールド名を表す場合は、角括弧内にフィールド
	名を表記します。
	例: [IP アドレス] 欄
〔 〕 (きっ甲)	ダイアログボックス内のボタン名を表します。
	ダイアログボックス内のボタン名は、括弧内にその
	ボタンのラベル名を表記します。
	例:〔終了〕ボタン

目次

1.	は	じめに1
1	.1	こんなことができます2
1	.2	収容条件10
1	.3	利用環境11
1	.4	注意事項13
2.	準(備16
2	.1	障害復旧サポートツールのインストール17
2	.2	装置の設定を行う19
2	.3	障害復旧管理 PC の設定を行う21
2	.4	ツールの設定を行う23
3.	障領	害の復旧
3	.1	障害復旧ウィザードを利用する68
3	.2	エキスパートメニューを利用する76
4.	ツー	ールの設定ファイル
4	.1	設定ファイル
4	.2	設定項目一覧
5.	ኑ <u>:</u>	ラブルシューティング
5	.1	トラブル発生時の対応100
5	.2	メッセージー覧107
5	.3	ログファイル143

1. はじめに

この章では、障害復旧サポートツールの概要について説明します。

1.1 こんなことができます

<u>1.2 収容条件</u>

- <u>1.3 利用環境</u>
- <u>1.4 注意事項</u>

1.1 こんなことができます

AX-Networker's-Utility(障害復旧サポートツール)は、日常の保守作業(装置 のコンフィグレーションや設定情報、ソフトウェアのバックアップ)と、装置 に障害が発生した際の復旧作業をサポートします。

- 装置のコンフィグレーション (ランニングコンフィグレーション)を即時で 収集することができます (コンフィグレーション収集)。あるいは、スケジ ュールに従って定期収集することができます。また装置一覧テーブル上でコ ンフィグレーション収集を行った日時を確認できます。
- 装置のコンフィグレーション (スタートアップコンフィグレーション) や設 定情報、ソフトウェアを一括してバックアップすることができます (バック アップ収集)。なお、バックアップ対象にソフトウェアを含まないよう設定 を切り替えることもできます。また装置一覧テーブル上でバックアップ収集 を行った日時を確認できます。
- 装置に障害が発生した際には、「障害復旧ウィザード」により復旧に必要な MCを作成することができ、また、ウィザードに従い復旧を行うことで作業 者の負荷を軽減できます。

これにより、日常の保守作業や装置に障害が発生した際の復旧作業を容易に行 えるようになります。

1.1.1 障害復旧サポートツール構成

障害復旧サポートツールの構成を図に示します。

図 1-1 障害復旧サポートツールの構成



装置情報ファイル・スケジュール情報ファイル

構成要素を以下に示します。

① 障害復旧管理 PC

AX-Networker's-Utility (障害復旧サポートツール)をインストールした PCです。各装置のコンフィグレーションや設定情報,ソフトウェアを即時 で、あるいは、スケジュールに従って収集します。また、収集したコンフ ィグレーションや設定情報、ソフトウェアを利用して、装置復旧用の MC を 作成し、障害復旧ウィザードによって障害復旧の作業をサポートします。

② 装置情報ファイル

グループとグループに所属する装置の情報を記載した, CSV 形式のファイル です。障害復旧サポートツールから、グループ、装置の登録を行って作成 するか、スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成し ます。

③ スケジュール情報ファイル

コンフィグレーション収集及びバックアップ収集スケジュールの情報を記載した, CSV 形式のファイルです。障害復旧サポートツールから, スケジュールの登録を行って作成するか, スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成します。

④ グループ

コンフィグレーション収集またはバックアップ収集を実施する操作単位で す。グループへは複数の装置を登録することができます。

⑤ 装置

コンフィグレーション収集またはバックアップ収集を実施する対象の装置 です。

1.1.2 画面構成

障害復旧サポートツールの画面構成を以下に示します。

図 1-2 障害復旧サポートツールの画面構成 (1)

	(ートツール - C:¥装	装置情報.csv	l	
ファイル(<u>E</u>) グル	ループ(<u>G</u>)装置(<u>N</u>)	情報収集(1) 障	害復旧(<u>R</u>) 設定(S) ヘルプ(出)	
 第192.16 192.16 192.16<th>18.0.1(装置1) 18.0.2(装置2) 18.0.3(装置3) 18.0.4(装置4) 18.1.1(装置1) 18.1.2(装置2)</th><th> 注意(初日) 情報品収支援 ブルーブ: グルーブキ 支援(情報) ブリアアドレス ブリ2.168.0.1 ジリ2.168.0.2 ジリ2.168.0.3 ジリ2.168.0.4 </th><th></th><th>ステータス 運用バージョ 運用バージョ 運用バージョ 運用バージョ</th>	18.0.1(装置1) 18.0.2(装置2) 18.0.3(装置3) 18.0.4(装置4) 18.1.1(装置1) 18.1.2(装置2)	 注意(初日) 情報品収支援 ブルーブ: グルーブキ 支援(情報) ブリアアドレス ブリ2.168.0.1 ジリ2.168.0.2 ジリ2.168.0.3 ジリ2.168.0.4 		ステータス 運用バージョ 運用バージョ 運用バージョ 運用バージョ
• 192.16 • 192.16	i8.3.1(装置1) i8.3.2(装置2)		3	
• 192.16 • 192.16	183.1(装置1) 183.2(装置2)		3 4 [Reist	18ウィザード
● 192.16 ● 192.16 ②	183.3.1(装置1) 183.3.2(装置2) 時刻	ΙΡ7۴νλ	3 4 地士ジ	旧ウィザード
● 192.16 ● 192.16 ② 日付 2014/01/26	183.3.1(装置1) 183.2(装置2) 時刻 113.13:25.599	1Pアドレス 192.168.0.3	3 メッセージ 通用バージョン収得を開始にます。	ロロウィザード
 192.16 192.16 192.16 2014/01/26 2014/01/26 	 時刻 13:2:0(装置2) 時刻 13:13:225:599 13:13:225:699 	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4	3 メッセージ 道用パージョン取得を開始にます。 道理用パージョン取得を開始にます。	1日ウィザード
 → 192.16 → 192.16 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 	時刻 (装置1) (第3.2(装置2) (第13.13-25.599 (第13.13-25.599) (第13.13-25.599) (第13.13-26.599) (第13.13-26.599)	IPアドレス 192.168.0.8 192.168.0.4 192.168.0.1	③ メッセージ 通用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。	18ウィザード
● 192.16 ● 192.16 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 1/26 □ □ 1/26 □ □ 2014/01/28	時刻 13:13:25:599 13:13:25:599 13:13:25:599 13:13:25:599 13:13:26:8800 13:13:26:871	IPアドレス 192.168.0.8 192.168.0.4 192.168.0.1 192.168.0.3	(3)	18ウィザード
 → 192.16 → 192.16 ② ○ ○	133.3.1(装置1) 13.3.2(装置2) 13.13.2.25.599 13.13.2.25.599 13.13.2.25.599 13.13.2.65.890 13.13.2.66.880	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.4 192.168.0.3 192.168.0.2	3 3	ופילידייג
 → 192.16 → 192.16 → 192.16 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 	時刻:1(装置1) 18:3 2(装置2) 18:12(支559) 18:12(5599) 18:12(5599) 18:12(5599) 18:12(5599) 18:12(5690) 18:12(5690) 18:12(5690)	IPアドレス 192.168.03 192.168.04 192.168.03 192.168.03 192.168.02 192.168.04	3 3	1日ウィザード

図 1-3 障害復旧サポートツールの画面構成 (2)

🍝 障害復旧サ	ポートツール - C:¥器	提情報.csv			
ファイル(F) ク	ブループ(G) 装置(N)	情報収集(I) 障害復	旧(R) 設定(S) ヘルプ(H)		
装置一覧	5 BE	客復日 情報収集スケ	ジュールー覧		
<u> </u>		清報収集スケジュール一覧			
• 192.	168.0.1(装置1)	ヴループ名	スケジュール	ステータス	
• 192.	168 0 3(装置3)	リループA	毎日 23時00分 にコンフィグレーション収集を実行		
 ● 192.108.048448 (*) ● 192.168.1(装置1) ● 192.168.1(装置2) ● グループ0 ● 192.168.3 ((装置1) ● 192.168.3 ((装置2)) 			5		
			6	追加	
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ		
2014/01/26	13:13:25.699	192.168.0.4	連用バージョン取得を開始します。		
2014/01/26	13:13:26.860	192.168.0.1	運用バージョン取得が正常終了しました。		
2014/01/26	13:13:26.871	192.168.0.3	運用バージョン取得が正常終了しました。		
2014/01/26	13:13:26.888	192.168.0.2	運用バージョン取得が正常終了しました。		
2014/01/26	13:13:26.890	192.168.0.4	運用バージョン取得が正常終了しました。	U	
2014/01/26	13:13:26.997		グループ グループA に対する運用バージョン取得が正常終	7しました。	
2014/01/26	13:14:20.032		以ケシュールを追加しました。	-	

画面を構成する要素の説明を以下に示します。

① メインメニュー

障害復旧サポートツールの操作を行うためのメニュー項目が定義されてい ます。

② 装置一覧ツリー

装置をグループ毎にツリー表示します。グループの追加/変更/削除,装置の追加/変更/削除操作や,運用バージョン取得,コンフィグレーション収集,バックアップ収集,障害復旧ウィザード起動等の各操作を実行できます。

③ 装置情報テーブル

各グループに所属する装置の情報を一覧表示します。テーブルの左から順 に以下の情報を表示します。ヘッダをクリックすると、クリックした列の 内容でソートできます。(ただしチェックボックス列はソートできません。)

- 処理対象かどうか(チェックボックス列)…装置操作ボタンを押下した際,装置が処理対象かどうかを示します。
- ・ IP アドレス…装置へ付与した IPv4 アドレスを示します。
- ・装置名…装置へ付与した装置名を示します。
- 運用バージョン…装置で現在利用しているソフトウェアのバージョンを示します。

- コンフィグレーション収集日時…最新のコンフィグレーション収集
 日時を示します。
- ・ バックアップ収集日時…最新のバックアップ収集日時を示します。
- 更新バージョン…ソフトウェア更新を行う際のソフトウェアファイルのバージョンを示します。
- ステータス…装置の処理状況を示します。処理実行中は緑色で表示 され、処理失敗時はピンク色で表示されます。処理には、運用バージョン取得、コンフィグレーション収集、バックアップ収集、MC 作成、アップロード、ソフトウェア更新、再起動確認があります。状態には、実行待ち、実行中、終了(成功)、終了(失敗)、終了(中止)があります。表示される内容としては、処理および状態の文字列の組み合わせになります。冗長構成を取ることができる装置の場合には、さらに処理を実施している系の文字列、運用系、待機系、 旧運用系も組み合わされます。
- ④ 装置操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・障害復旧ウィザード…装置一覧ツリー上で選択されている装置に対して、障害復旧ウィザードを起動します。
- ⑤ スケジュール情報テーブル

各グループに設定されているスケジュール情報を一覧表示します。テーブ ルの左から順に以下の情報を表示します。ヘッダをクリックすると,クリ ックした列の内容でソートできます。

- ・ グループ名…グループ名を示します。
- スケジュール…対象のグループに設定されているスケジュールの内容を示します。スケジュールには毎日、毎週、毎月、指定日時があり、スケジュール設定が有効な場合には、以下のように表示されます。

毎日 <u>H</u>時 <u>mm</u>分 毎週 <u>E₁[,E₂,...,E_n]</u>曜日 <u>H</u>時 <u>mm</u>分 毎月 <u>d 目</u> <u>H</u>時 <u>mm</u>分 指定日時 <u>YYYY</u>年 <u>M</u>月 <u>D</u>日 <u>H</u>時 <u>mm</u>分 <u>H</u>…0~23, <u>mm</u>…00~55(5 分刻み) E_n…月,火,水,木,金,土,日から1つ以上

- <u>d 日</u>…1~28日,月末のいずれか(29日,30日,31日は指定 できません。また,月末を指定した場合には,月の 最終日を指定したことになります。)
- <u>YYYY</u>…4 桁の年で,指定時から 20 年後まで
- <u>M</u>····1~12
- <u>D</u>…1∼31

スケジュール設定が無効な場合には、なし と表示されます。

ステータス…スケジュールの実行状況を示します。スケジュールダウンロード実行中は緑色で表示されます。また、処理失敗時はピンク色で表示されます。実際には以下が表示されます。

スケジュール実行中…スケジュールでのアップロード実行中

終了(成功)…スケジュールでのアップロード成功

- 終了(失敗)…スケジュールでのアップロード失敗
- ⑥ スケジュール操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・ 追加…装置一覧ツリー上で選択されているグループに対して、コンフィグレーション収集やバックアップ収集を行うスケジュールの登録を行います。
- ・編集…スケジュール一覧上で選択されているスケジュールの内容を 変更します。
- ・ 削除…スケジュール一覧上で選択されているスケジュールを削除します。
- ⑦ ログ情報テーブル

画面操作,処理状況を時系列に表示します。ヘッダをクリックすると,ク リックした列の内容でソートできます。

1.1.3 使用例

本節では,各ユースケースに応じた,障害復旧サポートツールの使用例を説明 します。

例1:装置に対して定期的にバックアップ収集を行い,障害発生 時にリストア用 MC を作成して装置を復旧する(リストアする) 装置に対してバックアップ収集を行うことでリストア用 MC が作成可能となり, 装置に障害が発生した際にはリストア用 MC 1 枚で装置を復旧できます。





例2:アプリケーション起動ツール等から本ツールを起動したい 場合

コマンドライン文字列を登録してアプリケーションを起動するツール(アプリ ケーションランチャ)等から本ツールを起動したい場合には,以下の作業ディ レクトリ(カレントディレクトリ)およびコマンドライン文字列を指定してく ださい。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool

[コマンドライン文字列] ※1行で記述します

"<TARGETDIR>#BackupRecoveryTool#BackupRecoveryTool.bat"

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

1.2 収容条件

障害復旧サポートツールの収容条件を示します。

(1) 同時処理数

同時に処理できる装置台数の上限は5台です。

(2) ログ情報テーブルのレコード数

ログ情報テーブルのレコード数の上限は3000エントリです。

1.3 利用環境

障害復旧サポートツールの利用環境を以下に示します。

表 1-1 装置側環境

対象装置	AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S
	AX3800S/AX3600S/AX2500S/AX2400S
	AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S/AX1230S
対象ソフトウェア	AX6700S/AX6300S…10.8~11.9.U
バージョン	AX6600S…11.1~11.9.U
	AX4600S…11.11.B~11.15.G%1
	AX3800S…11.6~11.14.R※1
	AX3660S…12.0.A~12.1.J※1
	AX3650S…11.5~11.14.R※1
	AX3640S…10.8~11.14.R
	AX3630S…10.8~11.11.E
	AX2500S…3.1.A~4.15%2
	AX2400S…10.8~11.7.N
	AX2200S…2.4~2.10
	AX2100S…2.6~2.12
	AX1250S…2.2~2.10
	AX1240S…2.1~2.10
	AX1230S…1.4~1.4.K

※1 AX4600S/AX3800S/AX3660S/AX3650S のスタック構成時は未サポートです。

※2 AX2500S(スタック構成時)は Ver.4.7 以降がサポート対象です。Ver.4.6 以前のス タック構成時は未サポートです。

表 1-2 障害復旧管理 PC 側環境

推奨 OS	32bit 版 Windows 7 Professional (x86) SP たし SP1
14/2 02	2)hit 性 Windows 7 Entermine (1966) SD (2) [SD]
	5200 ng windows / Enterprise (x80) SP /2 C, SP1
	32bit 版 Windows 7 Ultimate (x86) SP なし, SP1
	32bit版Windows 8.1 Pro(x86)SPなし
	32bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x86) SP なし
	32bit 版 Windows 10 Pro (x86) Version 1809
	64bit 版 Windows Server 2008 R2 Standard (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows Server 2012 R2 Standard (x64) SP なし
	64bit 版 Windows 7 Professional (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows 7 Enterprise (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows 7 Ultimate (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows 8.1 Pro(x64) SP なし
	64bit版 Windows 8.1 Enterprise(x64)SPなし
	64bit 版 Windows 10 Pro (x64) Version 1809
CPU	インテル Core 2 Duo 以上
メモリ	2GB 以上
HDD	1.9GB 以上
Java	JRE 8※1
実行環境	Oracle JDK 11(LTS)※1

※1動作確認済みの Java 実行環境は以下になります。

- JRE 8 Update 241
- JDK 11.0.2~11.0.6

上記より新しいアップデートリリースについては動作保証外になります。

1.4 注意事項

障害復旧サポートツールを利用する上での注意事項を以下に示します。

(1) ファイルパスの最大長

本ツールで扱うファイルについて、そのファイルパスの最大長は、本ツールを 利用するオペレーティングシステムで決まります。そのため、オペレーティン グシステムがサポートしているファイルパスの最大長を越えるようなファイル を指定しないでください。

(2) 障害復旧管理 PC の時刻

障害復旧管理PCの時刻を過去の時刻へ変更しないでください。変更した場合, 本ツールが装置から収集したコンフィグレーションファイル,バックアップフ ァイルの新旧を正しく認識できなくなります。

(3) 装置から収集したコンフィグレーションファイル, バックア ップファイル

以下を行わないでください。変更した場合,本ツールが装置から収集したコン フィグレーションファイル,バックアップファイルの新旧を正しく認識できな くなります。

- ・コンフィグレーション格納先ディレクトリに格納されているコンフィグレーションファイルのファイル名を変更する
- ・コンフィグレーション格納先ディレクトリへディレクトリやファイルを追加 する
- ・バックアップファイル格納先ディレクトリに格納されているバックアップフ ァイルのファイル名を変更する
- ・バックアップファイル格納先ディレクトリへディレクトリやファイルを追加 する

(4) 本ツールが利用するディレクトリ

本ツールでは装置のコンフィグレーションファイルを収集する際に、下記の作 業ディレクトリを利用します。作業ディレクトリの名前の変更、削除およびア クセス権の設定等は行わないでください。なお、ツールインストール時は作業 ディレクトリが存在しないため、初回操作時にツールが自動的に作成します。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool¥file

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

(5) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは AX-Networker's-Utility の他のツールと内容が異なるため, 共用できません。ツール毎に装置情報ファイルの作成および保存を行うように してください。

(6) バックアップ用 MC を利用して装置から装置情報を収集する 際の注意

装置でレイヤ2/レイヤ3のプロトコルによる隣接装置の監視時間や送信間隔を 初期値より短くしている場合,本ツールで作成したバックアップ用 MC を装置 へ挿入し装置から装置情報を収集する際に,レイヤ2/レイヤ3のプロトコルの 切断が発生して通信が途切れる場合があります。

(7) AX1240S Ver.2.4 より前のバージョンで利用する場合の注意

AX1240S Ver.2.4 より前のバージョン間(例: Ver.2.2→Ver.2.3)でソフトウェア更 新または、リストア用 MC を利用したリストアを行う場合、以下のエラーメッ セージが出力されることがあります。

・ソフトウェア更新の場合

[Can't update software. [Hardware rev.x]]

本メッセージが出力された場合,一度 Ver.2.4 以降のソフトウェアに更新し,その後,手動で Ver.2.4 より前のソフトウェアへバージョンダウンする必要があります。詳細については,装置のアップデートガイドをご確認ください。

・リストア用 MC を利用したリストアの場合

(MC内に以下のメッセージが出力されます。)

Restore operation failed.

本メッセージが出力された場合,一度 Ver.2.4 以降のソフトウェアに更新し,その後,リストア用 MC を挿入してください。詳細については,装置のアップデートガイドをご確認ください。

(8) AX2500S(スタック構成時)の未サポート事項

AX2500S(スタック構成時)の場合,以下の操作により作成された MC の使用は サポート対象外となります。

- ・リストア用 MC 作成
- ・バックアップ用 MC 作成
- ・障害復旧ウィザード

(9) ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに AX2500S および AX2500SE のソフトウェアファイルを混在させる場合の注意

装置情報テーブルの[更新バージョン]列にAX2500SおよびAX2500SE両方用の ソフトウェアファイルのバージョンが表示されます。[更新バージョン]列でソ フトウェア更新対象装置用に正しいバージョンを選択してください。

2. 準備

この章では,障害復旧サポートツールを実行するために必要な事前準備につい て説明します。

- 2.1 障害復旧サポートツールのインストール
- 2.2 装置の設定を行う
- 2.3 障害復旧管理 PC の設定を行う
- 2.4 ツールの設定を行う

2.1 障害復旧サポートツールのインストール

(1) インストール

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)を参照し, AX-Networker's-Utility を障害復旧管理 PC ヘインストールしてください。

(2) 起動確認

インストールが完了した後,ツールの起動確認を行います。ツールを起動する には,以下の操作を行ってください。

エクスプローラから以下のファイル(※1)を右クリックし,表示されたポップ アップメニューから[管理者として実行]を選択する。

 $\divideontimes1\cdots < TARGETDIR > \$BackupRecoveryTool \$BackupRecoveryTool.bat$

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

ツールを起動すると,以下の画面が表示されます。

図 2-1 ツール起動時の画面

실 障害復旧サポ	▲ 障害復旧サポートツール - (新規)					
ファイル(F) グ	ファイル(F) グループ(G) 装置(N) 情報収集(I) 障害復旧(R) 設定(S) ヘルプ(H)					
装置一覧	装置一覧 障害割日 情報収集スケジュール一覧					
	ſ	グループ: ソフトウェア 装置情報	ア更新処理方式: ジリアル実行 ▼			
		IPアドレス 装置	置名 運用バージョン コンフィグレーション収集日… バックアップ収集	日時 更新バージョン ステータス		
				障害復日ウィザード		
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ			
2014/01/21	21:41:12.630		アプリケーションが起動しました。			

アプリケーションが起動した旨のログメッセージが表示されることを確認して ください。

ツールの起動を確認した後,[ファイル]-[終了]メニューを選択して,一旦ツー ルを終了してください。

2.2 装置の設定を行う

利用を開始するにあたり、以下の準備、設定を行います。

(1) 障害復旧管理 PC から対象装置へ, IPv4 ネットワーク的に到 達可能とします

障害復旧管理 PC と対象装置が IP 通信できるように、ネットワーク接続してく ださい。そのためには、対象装置上に IPv4 アドレスを設定します。また、障害 復旧管理 PC と対象装置の間にスイッチやルータ等のネットワーク装置が存在 する場合、障害復旧管理 PC と対象装置の間で通信可能なように、それらのネ ットワーク装置に対してルーティング設定を行います。

(2) 対象装置のコンフィグレーションを保存またはバックアップ します

必要に応じて対象装置上で未保存のコンフィグレーションを保存します。また は,対象装置のコンフィグレーションをバックアップします。

(3) 対象装置の情報を収集,およびソフトウェアを更新できるように,netconf機能を有効にします

続いて,装置が障害復旧サポートツールから要求を受け付けられるよう,装置 側の設定を行います。装置を起動し,装置にログイン後,装置の CLI から次の コマンドを入力します。netconf 機能に関するコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド(インストール編)の「5.付録」を ご確認ください。

>enable

configure

!(config)# netconf

!(config-netconf)# top

!(config)# save

(config)# exit

(4) ソフトウェア更新機能用のユーザを登録します

netconf 機能を有効にした後,装置がソフトウェア更新処理を実行できるように, 装置にソフトウェア更新機能用のユーザを登録します。装置を起動し,装置に ログイン後,装置の CLI から次のコマンドを入力します。※1 ソフトウェア更新機能用のユーザ登録のコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)の「5. 付録」を ご確認ください。

なお、この手順はAX1230Sシリーズの装置では不要です。

>enable	…装置管理者モードに移行します
# set software-update user user001	…登録するユーザの名前※2を入力します
	(ここでは user001 です)
New password : xxxxxxxx	…パスワード※3 を入力します
Retype new password : xxxxxxx	…確認のためパスワードを再入力します
# commit software-update user	…登録したユーザを保存します
Commit software-update user data. A	Are you sure? (y/n):y …y を入力します
#	

※1…装置が冗長構成を取っている場合,運用系でコマンドを実行してください。
※2…ユーザ名は 6~16 文字の半角英数字で指定してください。
※3…パスワードは 6~16 文字の半角英数字で指定してください。

(5) 管理対象装置の設定情報が収集できるように, telnet セッションを確保できるようにします

障害復旧サポートツールは管理対象装置から設定情報を収集するために telnet セッションを1つ利用します。そのため、障害復旧サポートツール用に telnet セッションを1つ確保してください。

2.3 障害復旧管理 PC の設定を行う

障害復旧サポートツールの利用を開始するにあたり、以下の準備、設定を行います。

(1) 障害復旧管理 PC 上で, FTP サーバを設定します

監視対象装置が送信してくるバックアップ情報を障害復旧サポートツールで受 信できるように,障害復旧管理 PC上で FTP サーバを設定し,ファイアウォー ル設定で FTP ポート (TCP: 21 および 1024~65535…以下※を参照)の受信 を許可します。設定方法については,障害復旧管理 PC の OS のファイアウォー ル設定,またはご利用のアンチウイルス製品のマニュアルを参照ください。障 害復旧管理 PC に FTP を実行するユーザおよびパスワードについては,「<u>4.2</u>設 定項目一覧」を参照し登録してください。

※FTP サーバを設定する場合,インターネット インフォメーション サービス (IIS)にて行ってください。その他の FTP サーバを設定する場合,事前に障害復 旧サポートツールが正常に動作するか確認してください。なお,FTP クライア ント(監視対象装置)はパッシブ転送モードで動作します。IIS(デフォルト設定) の場合,データ転送用のポート番号は1024~65535の間のポート番号を使用し ます。障害復旧管理 PC 上のファイアウォール設定では,データ転送用のポー ト番号が使用できるように設定してください。

なお, 監視対象装置が AX2500S Ver.3.2.A 以下および

AX2200S/AX2100S/AX1200S シリーズの場合, バックアップ情報の送信先とし て FTP サーバを利用しません。そのため, 監視対象装置が AX2500S Ver.3.2.A 以下および AX2200S/AX2100S/AX1200S シリーズのみである場合, FTP サーバ を設定する必要はありません。

装置モデル バックアップ情報収集先	AX6700S/ AX6600S/ AX6300S	AX4600S/ AX3800S/ AX3600S/ AX2400S	AX2500S	AX2200S/ AX2100S/ AX1200S
障害復旧管理 PC	0	0	〇(Ver.3.2.B 以上)	×
(FTP サーバの設定は必須)			×(Ver.3.2.A 以下)	
MC	×	×	0	0
(FTP サーバの設定は不要)				

表 2-1 装置モデルとバックアップ情報収集先の対応

【凡例】○:サポート,×:未サポート

2.4 ツールの設定を行う

利用を開始するにあたり、以下の準備、設定を行います。

2.4.1 利用可能な最大メモリサイズを変更する

本ツールから大きなコンフィグレーションを持つ装置に対してコンフィグレー ション収集を行うと、ツールが使用するメモリ量が利用可能な最大メモリサイ ズを超える場合があります。対象の装置が大きなコンフィグレーションを持つ 場合※1には、下記の手順で本ツールが利用可能な最大メモリサイズを変更し てください。

※1 目安として,装置のコンフィグレーションの行数が 6000 行を超える場合が該当し ます。(最もメモリを使用する,5 台以上の装置が存在するグループに対してコンフィ グレーション収集を行うケースを想定した場合の目安になります。装置1 台だけのグル ープに対してコンフィグレーション収集を行うケースでは,装置のコンフィグレーショ ンの行数が 30000 行を超える場合が該当します。なお,6 台以上の装置が存在するグル ープに対してコンフィグレーション収集を行うケースは,5 台のケースと同様になりま す。)

[変更手順]

- ①<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool¥BackupRecoveryTool.batをマウスで右ク リックし、表示されたポップアップメニューから[編集]を選択します。
 - <TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

②表示された中身の「set PARAMETERS=<u>-Xmx1024m</u> -jar %JARFILE%」の
 「-Xmx1024m」(上記の下線部)を変更し、上書き保存します。この指定例で
 は、ツールへ割り当てるメモリの量を 1024MB で指定しています。

③<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool¥BackupRecoveryTool.bat をマウスで右ク リックし,表示されたポップアップメニューから[管理者として実行]を選択し て本ツールを起動します。

④「<u>2.4.7 コンフィグレーションや装置情報を収集する</u>」に記載の方法でコンフ ィグレーション収集を行い,正常終了するか確認してください。メッセージ「処 理中にメモリ不足エラーが発生しました。」が表示される場合には,③で指定 する -Xmx1024m の 1024 をより大きな値に設定し直して再度確認してください。

2.4.2 ツール全体の設定を行う

まず,ツール全体の設定を行います。障害復旧サポートツールを起動し,[設 定]-[設定]メニューを選択して, [ツール設定] 画面を表示します。

図 2-2 ツール設定画面(1)

障害復旧サポートツール - ツール設定
ディレクトリ 装置 バックアップ収集
コンフィグレーションファイルの格納場所、バックアップファイルの格納場 所、MO作成時に使用するMCのドライブ、ソフドウェア更新時に使用 するソフトウェアファイルの格納場所を設定します。 コンフィグレーション格納先ディレクトリ設定
*コンフィグレーション格納先ディレクトリ
configuration-files
- バックアップファイル格納先ディレクリ設定 *バックアップファイル格納先ディレクトリ
backup-files
MCのドライブ設定 MCのドライブ
- ソフトウェアファイル格納先ディレクリ設定 *ソフトウェアファイル格納先ディレクトリ
software-files
LOK キャンセル 適用

図 2-3 ツール設定画面(2)

障害復旧サポートツール - ツール設定
ディレクトリ 装置 バックアップ収集
装置のログインユーザ名とパスワード、ソフドウェア更新ユーザ名とパス ワードを設定します。
ログインユーザ名,パスワード設定 *ログインユーザ名
operator
パスワード
ソフドウェア更新ユーザ名,パスワード設定 ソフドウェア更新ユーザ名
パスワード
J
OK キャンセル 適用

図 2-4 ツール設定画面(3)

障害復旧サポートツール - ツール設定
ディレクトリ 装置 バックアップ収集
バックアップ収集時にソフトウェアのバックアップを行うか否かを設定しま す。
「バックアップ収集設定
☑ ソフドウェアをバックアップする
OK キャンセル 適用

[ツール設定] 画面では以下の項目を設定します。

表 2-2 ツール設定画面の設定項目

	項目	指定值
[ディレ クトリ] タブ	コンフィグレーション 格納先ディレクトリ	コンフィグレーション収集によって装置から収集されたコンフィグレーショ ンファイルを格納するディレクトリを 指定します。 デフォルトは configuration-files (= <targetdir>¥BackupRecoveryTool¥co</targetdir>

		nfiguration-files) です。※1※2
	バックアップファイル 格納先ディレクトリ	バックアップ収集によって装置から収 集されたバックアップファイルを格納 するディレクトリを指定します。
		デフォルトは backup-files (= <targetdir>¥BackupRecoveryTool¥ba ckup-files) です。※1</targetdir>
	MC のドライブ	障害復旧管理 PC へ MC リーダ/ライタを 接続した際に, MC 用に割り当てられた ドライブを選択します。
		デフォルトは未設定です。
	ソフトウェアファイル 格納先ディレクトリ	ソフトウェア更新によって利用するソ フトウェアファイルを格納するディレ クトリを指定します。
		デフォルトは software-files (= <targetdir>¥BackupRecoveryTool¥sof tware-files) です。※1</targetdir>
[装置]タ ブ	ログインユーザ名	バックアップ収集時に利用する, telnet 用の装置ログインユーザ名です。
		デフォルトは operator です。
	パスワード	上記 telnet 用装置ログインユーザ名に対応するパスワードです。
		デフォルトは未設定です。
	ソフトウェア更新ユー ザ名	ソフトウェア更新用のユーザ名です。 「 <u>2.2 装置の設定を行う(4)ソフトウェ</u> <u>ア更新機能用のユーザを登録します</u> 」で 指定したユーザ名を指定してください。 デフォルトは未設定です。 AX1230S シリーズの装置では,この設定 項目は使用されません。
	(ソフトウェア更新) パ スワード	ソフトウェア更新用ユーザ名に対応す るパスワードです。「 <u>2.2 装置の設定を</u> 行う(4)ソフトウェア更新機能用のユー <u>ザを登録します</u> 」で指定したパスワード を指定してください。 デフォルトは未設定です。 AX1230S シリーズの装置では,この設定 項目は使用されません。
[バック アップ収 集]タブ	ソフトウェアをバック アップする	バックアップ収集の際, バックアップフ ァイルに装置ソフトウェアを含めるか どうかを指定します。 デフォルトはチェックありです。

※1 <TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

※2 コンフィグレーション収集ツールと本ツールを併用している場合、コンフィグレーション収集ツールのコンフィグレーションの格納先とは別のディレクトリを指定してください。

設定項目を指定した後,〔OK〕ボタンを押下します。設定項目を設定ファイル へ保存し, [ツール設定] 画面を閉じます。

次に,設定ファイルへ装置の管理者モードのパスワードを設定します。装置に 管理者モードのパスワードを設定している場合には,以下の手順を実施してく ださい。

障害復旧サポートツールを停止し,設定ファイル BackupRecoveryTool.properties をエディタなどで開きます。

プロパティ telnet.command.administrator.mode.password へ装置の管理者モードの パスワードを設定してください。このプロパティが設定ファイルに無い場合, 追加してください。

この設定の詳細については、「4.2 設定項目一覧」を参照してください。

2.4.3 装置を登録する

障害復旧サポートツールから装置の障害復旧ができるようにするには,まず始 めに,ツール上で装置の登録を行います。装置の登録方法には,以下の3通り の方法があります。

方法1: GUI から登録する(「<u>2.4.4 GUIから登録する</u>」参照)

- 方法2:装置情報ファイルから登録する(「<u>2.4.5 装置情報ファイルから登録</u> する」参照)
- 方法3:装置情報のインポート・エクスポートで登録する(「<u>2.4.6 装置情報</u> のインポート・エクスポート」参照)

障害復旧サポートツールを起動すると、ツール終了前に正常に読み込んだか保存を行った装置情報ファイルを自動的に読み込み、装置ツリー上に表示します。 なお、GUIからの操作はメニュー、メニューに設定されているキーボードショ ートカット(Ctrl+<u>キー</u>)、ボタンのいずれか任意の方法で行えます。

2.4.4 GUIから登録する

(1) グループを登録する

まず始めに,ツールを起動しグループの登録を行います。ツールの起動方法に ついては,「<u>2.1 障害復旧サポートツールのインストール (2)起動確認</u>」を参照 してください。

グループを登録するには,装置一覧ツリー上で[装置一覧]ノードを選択して,[グ ループ]-[追加]メニューを選択し,[グループ情報設定]画面を開きます。

● ①[グループ]-[追加]メニューを選択します。

		_			
실 障害復日サポ	ートツール - (新規)				
ファイル(F) クル	ループ(G) 装置(N)	情報収集(I) 障害復旧(R) 設定(S) ヘルプ(H)		
装置一覧	追加(1) Ctrl+1	1 1日 情報収集スケジュー	-ルー覧		
	編集(2) Ctrl+2				
	削除(3) Ctrl+3	3 調			
		アドレス 装置名	運用バージョン コンフィグレーション収集日	バックアップ収集日時	更新パージョン ステータス
					障害復旧ウィザード
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ		
2014/01/21	21:45:52.338		アプリケーションが起動しました。		

[グループ情報設定]画面を開いたら, グループ名 (1~32 文字) を入力し, [OK] ボタンを押下します。

[注意事項]

グループ名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグ やタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

図 2-5 グループ登録(1)

2	图 2-6	グループ登録	録(2)	②グルー	-プ名を入力し	ます。
	障害復日 グループ - グルーフ	ヨサポートツール - ク 情報を設定します。グル ク情報設定	ブループ情報設定 ハープ名を入力し, (OK)ボ	タンを押 てください。		
	*グルー	-ブ名	ОК			
					③OK ボタンを	を押下します。

図 2-7 グループ登録(3)

실 障害復 <mark>け</mark> ポ・	- トツール - (新	f規)				
ファイル(F <mark>) ジル</mark> 表置一覧 	, - Ĵ(G) 装置(N) 情報収集(I) 障害 障害(I) 情報収集 ガルーブ: ガルーブA 	復旧(R) 設定(S) スケジュール一覧 ソフトウェア更新め	ヘルプ(H) 処理方式: ジリアル実行	_	
		装置情報 IPアドレス	麦置名 運用バーシ	ジョン コンフィグレーション収集	日… バックアップ収集日時	専 更新バージョン ステータス
						隆吉復日ウィザード
	時刻	IP7FLA		-ÿ		障害復日ウィザード

(2) グループ名を変更する/登録したグループを削除する

グループ名の変更を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グル ープ]-[編集]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

[グループ情報設定]画面を開いたら,グループ名(1~32文字)を入力し,[OK] ボタンを押下します。

グループの削除を行うには,装置一覧ツリー上でグループを選択して,[グループ]-[削除]メニューを選択します。

[注意事項]

グループの削除を行う際に,削除するグループ内の装置がコンフィグレーショ ン収集済み,もしくはバックアップ収集済みである場合,グループ削除の操作 によってこれらの収集情報が削除されることはありません。

これらの収集情報も併せて削除する場合(装置を完全に削除する場合)には、 別途「<u>5.1 トラブル発生時の対応</u>」に記載の方法に従いディレクトリ内の該当 のファイルを削除してください。

(3) 装置を登録する

グループを登録した後,グループに装置を登録します。 装置を登録するには,装置一覧ツリー上でグループを選択して,[装置]-[追加] メニューを選択し,[装置情報設定]画面を開きます。

図 2-8 装置登録(1)

①グループを選択します。 ②[装置]-[追加]メニューを選択します。

		削除(6) Ctrl+6	シノドノエノ是和処理 装置名 運用バージョン	方式: シルアル実行 、	- パックアップ収集日時	更新バージョン ステータフ
A 7						障害復旧ウィザート
上 日付	時刻		メッセージ			障害復旧ウィザート

[装置情報設定]画面を開いたら, IP アドレス(10進ドット記法の IPv4 アドレス),装置名(0~64文字),を入力して,[OK]ボタンを押下します。なお,装置名は入力を省略することができます。
[注意事項]

装置名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタ ブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

図 2-9 装置登録(2)

③装置名, IP アドレスを入力します。 ※装置名は入力を省略することができます。

障害復旧サポートツール - 装置情報設定
装置情報を設定します。グループ、IPアドレス、装置名を入力し、「OK」ボタン・押して ください。
装置情報設定
*ゔルーナ ゔルー ヺ A
装置名
*IPアドレス
OK ++>t/
•

④OK ボタンを押下します。

図 2-10 装置登録(3)

	小一 トツール - (新が	】) \ /告起回告/(1) 应害		a. 11 = 7(11)			
(/イル(ト)/ (置一覧	, βι) 情報収集(I) 障害 障害復日 情報収集;	復旧(K) 設定(S) ペケジュール一覧) /VV/(H)			
ーーの ーー・ ーー・ 192.1	168.0.1(装置1)	グループ: グループA は苦情報	ソフトウェア更新が	処理方式: シリアル実行	•		
		IPアドレス 装置名 19216801 送置1	3 運用バージョン	コンフィグレーション収集日] バックアップ収集日時	更新バージョン	ステータス
						障害	吉復旧ウィザード…
、	時刻	IP7ドレス	луt			〕 「『章?	害復旧ウィザード…
• 3付 114/01/21	時刻」 214552.338	IPアドレス 	メッセ アプリ	ジ ケーションが起動しました。		隆至	書復旧ウィザード

(4) 装置情報を変更する/登録した装置を削除する

装置情報の変更を行うには,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[装置]-[編集] メニューを選択し,[装置情報設定]画面を開きます。[装置情報設定]画面を開い たら,必要な情報を入力し,[OK]ボタンを押下します。

装置の削除を行うには,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[装置]-[削除]メ ニューを選択します。

[注意事項]

装置の削除を行う際に、削除する装置がコンフィグレーション収集済み、もし くはバックアップ収集済みである場合、装置削除の操作によってこれらの収集 情報が削除されることはありません。これらの収集情報も併せて削除する場合 (装置を完全に削除する場合)には、別途「<u>5.1 トラブル発生時の対応</u>」に記 載の方法に従いディレクトリ内の該当のファイルを削除してください。

2.4.5 装置情報ファイルから登録する

グループや装置は、グループや装置の情報を定義した装置情報ファイルを、障 害復旧サポートツールから読み込んで登録することもできます。

(1) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは、[ファイル]-[名前を付けて保存],または、[ファイル]-[上 書き保存]メニューを実行した際に保存される、ツール上のグループ,および、 装置の情報を記録したファイルです。ツールから保存した装置情報ファイルは、 [ファイル]-[開く]メニューから、再びツール上に読み込むことができます。 装置情報ファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。従って、 テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成するこ ともできます。装置情報ファイルの例と、装置情報ファイルをテーブル形式で 表示したイメージを次図および次表に示します。

[注意事項]

装置情報ファイル/<u>スケジュール情報ファイル</u>をスプレッドシートアプリケー ションで編集する場合は,各フィールドの値(例:グループ名や装置名)に「"」 (ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用しないでください。 グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用す ると、ツールからファイルを読み込んだ際に、グループ名や装置名等が正しく

表示されない,または、ファイルの読み込みに失敗する場合があります。 各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。 HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があ ります。

図 2-11 装置情報ファイルの例



表 2-3 装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージ

#	А	В	С	D	Е
1	グループ名	チェックボッ クスのチェッ ク状態	IPアドレス	装置名	装置モデル
2	グループ A	true	192.168.0.1	装置 1	AX6708S
3	グループ A	true	192.168.0.2	装置 2	AX6708S

4	グループ A	true	192.168.0.3		AX6708S
5	グループ A	true	192.168.0.4	装置 4	AX6708S
6	グループ B	false	192.168.1.1	装置1	
7	グループ B	false	192.168.1.2	装置 2	
8	グループC				
9	グループ D	false	192.168.3.1	装置1	

- ・装置情報ファイル作成する場合,1行目にはヘッダ情報を記述し,2行目以降 に各装置の装置情報を記述します。※1※3
- ・A列: グループ名は1~32文字で設定可能です。
- ・B列: チェックボックスのチェック状態は true または false で設定可能です。
- ・C列: IPアドレスは10進ドット記法のIPv4アドレスで設定可能です。
- ・D列:装置名は0~64文字で設定可能です。
- ・E列:装置モデルはツールからの[運用バージョン取得]操作により取得可能 なため、装置情報ファイルを作成し障害復旧サポートツールから読み 込んで登録する際この項目の指定は不要です。
- ・4行目のD列には、装置名の指定がありませんが、このように、装置名は指定を省略することができます。また、6行目~9行目のE列には、装置モデルの指定がありませんが、装置モデルも装置名と同様に指定を省略することができます(その他の項目は指定が必須であり、省略することはできません)。
- ・また,8行目はA列のグループ名のみ指定されていますが、このような装置 情報は、「装置情報のエントリがないグループ」という特別な意味を持ちま す。※2
- ・各列の指定値が不正(範囲外)な場合,装置情報ファイル読み込み時にエラー となります。

※11行目(ヘッダ情報)は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。(上 図の例と同様の記述にする必要はありません。)

※2 グループ名のみ指定した装置情報を、同一のグループ名で複数件登録した場合、2件目以降は無視されます。

※3 装置情報ファイルには空行(改行だけの行)を記述できません。記述した場合には エラーになります。

(2) 作成した装置情報ファイルを読み込む

作成したファイルをツールに読み込むには,[ファイル]-[開く]メニューを選択 し,ファイル選択画面を開きます。

図 2-12 装置情報ファイルの読み込み(1)

→ ①[ファイル]-[開く]メニューを選択します。

_					
🏼 🖉 🍯	🍐 障害復旧サポートツール - (新規)				
ファ	イル(F) グループ(G) 装	置(N) 情報4	集(I) 障害復旧(R) 設定(S) ヘルプ(H)		
	新規作成(N)	Ctrl+N			
	開<(O)	Ctrl+0	リフトウェア更新処理方式: ミルアル実行 →		
	上書き保存(S)	Ctrl+S			
	名前を付けて保存(W) 共通フォーマット(F)	Ctrl+W	ドレス 装置名 運用バージョン	ノ コンフィグレーション収集日… バックアップ収集日時	更新バージョン ステータス
	終了(Q)	Ctrl+Q			
					障害復旧ウィザード
日付 2014/	 時刻 /01/21 22:38:27.20	I 11	アドレス メッセー - アプリケ・	ジ ーションが起動しました。	

ファイル選択画面を開いたら、作成した装置情報ファイルを選択し、[開く]ボ タンを押下します。

図 2-13 装置情報ファイルの読み込み(2)

開く		
ファイルの場所(፤):	: 🚈 ローカル ディスク (C) 🔹 🔊 😳 🖽 -	
最近使oた項 目	 Alaxala PerfLogs Program Files Windows 	
デスクトップ	ユーザー ■ 表置情報.csv ② 作成したファイルを選択します。	
גער איש גער גער איש גער	③[開く]ボタンを押下しま	ます。
くうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	ファイル名(N): 装置情報csv 開((の) ファイルのタイプ(D): 装置情報ファイル(*csv) 取消	

図 2-14 装置情報ファイルの読み込み(3)

→ ④ファイルの内容がツール上に反映されます。

▲ 障害復に サボ ファイル(E) ダ は置一覧! 6 がループA 5 がループA 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16 9 192.16	トツール - C:¥i ループ(G) 装 重(N パープ(G) 装 電(N パープ(G) 装 電(N パープ(G) 装 電(N パープ パー パー	 街報収集(I) 障害復旧(B	□ ■ × ③ 設定(S) ヘルブ(H) →レー覧 F処理方式: シリアル実行 、 運用パージョン コンフィグレーション収集日… パックアップ収集日時 更新パージョン ステータス
		ר, ואקיסו	障害復日ウィザード
	22:44:22.612		アプリケーションが記動しました。
2014/01/21			

[注意事項]

Г

スケジュール情報ファイルに関して:

障害復旧サポートツールから, [ファイル]-[名前を付けて保存], または, [ファ イル]-[上書き保存]メニューを実行すると, 装置情報ファイルと併せてスケジュ ール情報ファイル (ファイル名が, 「[装置情報ファイル名の拡張子(.csv)を除 いた部分]_schedule.csv」のファイル※1)も生成されます。また,[ファイル]-[開 く]メニューから,装置情報ファイルの読み込みを行う際に,同ファイル格納デ ィレクトリ内に,装置情報ファイルと同名のスケジュール情報ファイルが存在 すると,障害復旧サポートツールは,併せてスケジュール情報ファイルの読み 込みも行います。従って,用意した装置情報ファイルの読み込みを行う際には, 同ファイル格納ディレクトリに,同名のスケジュール情報ファイルが存在して いないことを確認するか,存在する場合は,用意した装置情報ファイルと整合 性がとれており,併せて読み込み可能なスケジュール情報ファイルであること を確認してください。(詳しくは,「<u>スケジュール情報ファイル</u>」を参照して ください。)

※1 装置情報ファイル名が node.csv の場合,スケジュール情報ファイルとし て生成されるファイルは node schedule.csv になります。

装置情報ファイル,スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケー ションで編集する場合の注意事項:

装置情報ファイル/スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケー ションで編集する場合は、グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や 「,」(カンマ)を含めないようにしてください。

2.4.6 装置情報のインポート・エクスポート

本ツールに登録したグループや装置の情報は、共通フォーマットファイルを介して、 AX-Networker's-Utilityの他ツールと相互にエクスポート・インポートすることがで きます。つまり、本ツールに登録したグループや装置の情報をAX-Networker's-Utility の他ツール用にエクスポート、および AX-Networker's-Utility の他ツールへ登録した グループや装置の情報を本ツールへインポートできます。

(1) 共通フォーマットファイル

共通フォーマットファイルは、本ツールへ登録した装置情報を AX-Networker's-Utilityの他ツール用にエクスポート,またはAX-Networker's-Utility の他ツールへ登録した装置情報を本ツールへインポートするためのファイルです。 [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択することで、共通 フォーマットファイル形式で装置情報をエクスポートし,[ファイル]-[共通フォーマ ット]-[インポート...]メニューを選択することで,共通フォーマットファイル形式で 装置情報をインポートすることができます。

共通フォーマットファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。 従って、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成す ることもできますが、ツールの共通フォーマットファイルのエクスポートで作成す ることをおすすめします。エクスポート後、必要に応じて、エクスポートした共通 フォーマットファイルをテキストエディタやスプレッドシートアプリケーション で修正することが可能です。

AX-Networker's-Utilityの他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイルか ら本ツールへのインポートを行う際,共通フォーマットファイルに本ツールでの必 須指定項目が指定されていない場合には,その指定されていない項目をテキストエ ディタやスプレッドシートアプリケーションで追加してからインポートを行って ください。

共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値を次表に示します。

表 2-4 共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値

項目	指定值
グループ名	グループ名を 1~32 文字で指定します。 必須指定項目です。
チェックボックスのチェッ ク状態	チェックボックスのチェック状態を true(選択 状態)または false(非選択状態)で指定します。 任意指定項目です。 省略された場合, false が指定されたものと解釈 して動作します。
IP アドレス	IP アドレスを 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで 指定します。 必須指定項目です。
装置名	装置名を 0~64 文字で指定します。 任意指定項目です。
場所	本ツールでは利用しません。
ソフトウェア更新機能アカ ウント	本ツールでは利用しません。
ソフトウェア更新機能パス ワード	本ツールでは利用しません。
Web 認証画面入れ替え機能 アカウント	本ツールでは利用しません。
Web 認証画面入れ替え機能 パスワード	本ツールでは利用しません。
メール通知制限	本ツールでは利用しません。
装置モデル	装置モデルを指定します。 ツールの[運用バージョン取得]操作で取得した 装置モデルが格納されるため,共通フォーマッ トファイルを作成する際には,この項目の指定 は不要です。 任意指定項目です。
省電力モード	本ツールでは利用しません。
電力制御設定	本ツールでは利用しません。
NIF ボード情報	本ツールでは利用しません。
NIF ボード LED 動作	本ツールでは利用しません。
スイッチングユニット設定	本ツールでは利用しません。
スイッチングユニットの枚 数設定	本ツールでは利用しません。

待機系スイッチングユニッ トの給電設定	本ツールでは利用しません。
スイッチ種別	本ツールでは利用しません。
アカウント更新時刻	本ツールでは利用しません。
Web 認証証明書有効期限	本ツールでは利用しません。
Web 認証証明書確認時刻	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択 した証明書のファイルパス	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択 した秘密鍵のファイルパス	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択 した中間 CA 証明書のファ イルパス	本ツールでは利用しません。

[注意事項]

- ・表 2-4 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定値で、[指定値]列が「本 ツールでは利用しません。」になっている項目も、CSV フォーマットとしての列 は必要ですので省略しないでください。
- AX-Networker's-Utilityの他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイル をインポートする際,表 2-4 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定 値で,[指定値]列に「必須指定項目です。」がある項目は、インポートの前にエ ディタやスプレッドシートアプリケーションを利用し、インポート対象の共通フ ォーマットファイルへその項目の指定値を追加してください。
- ・共通フォーマットファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、各フィールドの値(例:グループ名や装置名)に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用しないでください。
 グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用する

と、ツールから共通フォーマットファイルをインポートした際に、グループ名や 装置名等が正しく表示されない、または、共通フォーマットファイルのインポー トに失敗する場合があります。

・各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

(2) 装置情報を共通フォーマットファイルヘエクスポートする

ツールへ登録した装置情報を共通フォーマットファイルへエクスポートするには, [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択し,ファイル選択 画面を開きます。

図 2-15 装置情報のエクスポート(1)

▶① [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択します。 ▲ 違害復旧サポートツール - C:¥装置情報.csv ファイル(F) グループ(G) 装置(N) 情報収集(I) 障害復旧(R) 設定(S) ヘルプ(H) Ctrl+N | 情報収集スケジュール一覧 新規作成(N) 開<(0)... Ctrl+0 ソフトウェア更新処理方式: シリアル実行 🗸 上書き保存(S) Ctrl+S <u>F</u>-名前を付けて保存(W)... Ctrl+W ア<u>アドレス 延戻々 運用バージョン</u> コンフィグレーション収集日 バックアップ収集日時 更新バージョン ステータス 共通フォーマット(F) ・ インポート(0)... Ctrl+0 エクスポート(Y)... Ctrl+Y 終了(Q) Ctrl+Q グループC グループD グループD 192.168.3.1(装置1) ● 192.168.3.2(装置2) 障害復旧ウィザード... 日付 IPアドレス 時刻 メッセージ アプリケーションが起動しました。 ファイルの読み込みが正常終了しました。 2014/01/21 22:44:22.612 2014/01/21 22:44:29.043

ファイル選択画面が表示されたら,エクスポート先の共通フォーマットファイルの 名前を指定し, 〔保存〕ボタンを押します。 図 2-16 装置情報のエクスポート(2)

▲ 保存		
保存:	🛃 אול-או דירא (C) 🔹 🌶 🕬 🖽 דיר	
最近使oた項 目	Alaxala PerfLogs Program Files Windows	
デスクトップ	〕 ユーザー	
マイドキョイント	②エクスポート先ファイルを指定します。	
ער איז	③[保存]ボタンを押下し	ます。
くうし	ファイル名(U): 装置情報エクスポートcsv/ (保存(S) ファイルのタイプ(I): インポート/エクスポートファイル(*csv) → 取消	

装置情報のエクスポートが成功すると、エクスポート成功のメッセージが表示され ます。

図 2-17 装置情報のエクスポート(3)

🎒 障害復旧サポートツール - C	▲ 障害復旧サポートツール - C:¥装置情報.csv					
ファイル(E) グループ(G) 装置(N) 情報収集(I) 障害復旧(R) 設定(S) ヘルプ(H)						
	 障害(夏田 情報板収集スケジュー, グループ: ソフトウェア更新好 装置情報 □ IPアドレス 装置名 	ルー覧 処理方式: ジリアル実行 運用バージョン コンフィグレーション収集日 バックアップ収集日時 更新バージョン ステータス				
		障害復旧ウィザード]			
日付 時刻 2014/01/21 22:44:22:612 2914/01/21 22:44:25:612 2014/01/21 22:49:05:907	IPアドレス 	メッセージ アプリケーションが起動しました。 ファイルの気の足のが正明命でしました。 装置情報をエクスポートしました。				
④「装詞	置情報をエクスポ	ートしました。」が表示されます。				

(3) 装置情報を共通フォーマットファイルからインポートする

共通フォーマットファイルから装置情報をインポートするには,[ファイル]-[共通フ ォーマット]-[インポート...]メニューを選択し,ファイル選択画面を開きます。

図 2-18 装置情報のインポート(1)

➡ ① [ファイル]-[共通フォーマット]-[インポート]メニューを選択します。						
▲ 度害塩旧サポートツール - (新規)						
[ファイル(F)] グ	ブループ(G) 装置(N) 情	報収集(I) 障害復旧(R)) 設定(S) ヘノ <mark>ブ</mark> (H)			
新規作成(開く(O) 上書き保 名前を付 共通フォー 終了(Q)	N) Ctrl+N . Ctrl+O 穿(S) Ctrl+S けて保存(W) Ctrl+W ーマット(F) Ctrl+Q	情報収集スケジュール ソフドウェア更新処 8 - アドリ.2 注要タ、ゴ ト インボート(0) エクスボート(Y).	ルー覧 処理方式: ジ ³ 理田バージョン・ Ctrl+O () Ctrl+Y			
A Y			陸害復日ウィザード_			
日付	時刻	IPアドレス				
2014/01/21	22:58:13.337		アノッグ ーンヨノル単圧動力しました。			

ファイル選択画面が表示されたら,インポート元の共通フォーマットファイルの名 前を指定し, 〔開く〕ボタンを押します。

図 2-19 装置情報のインポート(2)

開く		
ファイルの場所(1):	🕌 ם-אול דיראל (C.) 🔹 🦸 📁 🖽 ד	
最近使-5た項 目	Alaxala PerfLogs Program Files Windows	
デスクトップ	□ ユーザー 型 装置情報インボート.csv	
71 F#1321	②インポート元ファイルを指定します。	
ער בארב	③[開く]ボタンを押下し	_ます。
ネットワーク	ファイル名(M): 装置情報インポートcsv 開(Q) ファイルのタイプ(I): インポート/エクスポートファイル(*csv) → 現2月	

装置情報のインポートが成功すると,装置一覧ツリーが更新され,インポート成功 のメッセージが表示されます。

```
図 2-20 装置情報のインポート(3)
```

	④インポートした装置情報で装置一覧ツリーが更新されます。
🌆 障害復旧サポートツール - (新	規) 🗆 🗆 🔀
ファイル(E) パループ(G) 装置(N) 情報収集(I) 障害復旧(R) 設定(S) ヘルプ(H)
装置一覧	障害復日 情報収集スケジュール一覧
● グループA 192.168.0.1(装置1) 192.168.0.2(装置2)	グループ: ソフトウェア更新処理方式: ジリアル実行 ▼
● 192.168.0.3(装置3) ● 192.168.0.4(装置4)	************************************
□ □ □ □ □ 192.168.1.1(装置1) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	障害復日ウィザード_
·····································	1077/k1.7 Jointrali
0014 /01 /01 00 50 10 007	
2014/01/21 23:00:25.667	装置情報を行っポートしました。
5「装置	賃情報をインポートしました。」が表示されます。

2.4.7 装置の運用バージョンを取得する

「<u>2.4.3 装置を登録する</u>」でツールに登録した装置に対して障害復旧(障害復旧 ウィザードの起動や, MC 作成, ソフトウェア更新)を行うには, 事前に, 対 象装置の現在のソフトウェアバージョン(運用バージョン)を取得しておく必 要があります。本節では, ツール上に登録した装置に対して, 運用バージョン 取得を行う方法について説明します。

図 2-21 運用バージョン情報取得(1)

 装置情報テーブルで、運用バージョン取得を行う装置をチェックします。 テーブルヘッダのチェックボックスをチェックすると、グループ内のすべての装置がチェック状態になります。



[運用バージョン取得確認]ダイアログが表示されたら、 [はい]ボタンを押下します。

③[はい]ボタンを押下します。



図 2-23 運用バージョン情報取得(3)

 ● 障害復旧サポー ファイル(E) グルー ★) 第一日 20.1681 192.1681 	・トツール - C: ープ(<u>G</u>)装置 0.1(装置1)	 ¥装置情報.csv (N) 情報収集(1) 障害復 障害(3日 情報収集2.5) グルーブ: グループA オエア#### 	□ □ × 日(B) 設 (S) ヘルブ(出) ジュールー1 1 リフトウェア「新処理方式: 「シリアル実行 ↓
● 192.168.1 ● 192.168.1 ● 192.168.1 ● 192.168.1 ● 192.168.1 ● グループロ ● グループロ ● 192.168.1 ● 192.168.1	0.3(装置3) 0.4(装置4) 1.1(装置1) 1.2(装置2) 3.1(装置1) 3.2(装置2)	マロ 1970 マアドレス 王信 マ マアドレス 王信 マ 192.168.0.1 装置 マ 192.168.0.3 装置 マ 192.168.0.3 装置 マ 192.168.0.4 装置	 2 ブ運用バージョン ンフィグレーション収集日 バックアップ収集日時 更新バージョン ステータス 1 OS-L3A Ver 2 OS-L3A Ver 3 OS-L3A Ver 3 OS-L3A Ver 3 OS-L3L Ver 3 OS-L3L Ver
			障害復日ウィザード
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ
2014/01/26	13:16:00.763	192.168.0.3	連用バージョン取得を開始します。
2014/01/26	13:16:00.863	192.168.0.4	運用バージョン取得を開始します。
2014/01/26	13:16:02.129	192.168.0.3	運用バージョン取得が正常終了しました。
2014/01/26	13:16:02.160	192.168.0.2	運用バージョン取得が正常終了しました。
2014/01/26	13:16:02.164	192.168.0.1	運用バージョン取得が正常終了しました。
2014/01/26	13:16:02.167	192.168.0.4	運用バージョン取得が正常終了しました。
2014/01/26	13:16:02.362		グループ グループA に対する運用バージョン取得が正常終了しました。

④装置の運用バージョンが表示されます。

2.4.8 コンフィグレーションや装置情報を収集する

(1) 即時実行で収集する

コンフィグレーション収集や装置情報収集(以下バックアップ収集と記す)を 実行するには、まず始めにコンフィグレーションの格納先ディレクトリ、およ びバックアップファイルの格納先ディレクトリを指定します。[設定]-[設定]メ ニューから、[ツール設定]画面を開きます。

図 2-24 コンフィグレーション格納場所の指定(1)

 ▲ 障害復旧サポー ファイル(F) グルー 基 グループA ● 192.168.0. ● 192.168.0. ● 192.168.0. ● 192.168.0. ● 192.168.1. ● 192.168.1. ● 192.168.1. ● ブループB ● ブループC ● ブループD ● 192.168.3. 	トツール - C: -ブ(G) 装置(1(装置1) 2(装置2) 3(装置3) 4(装置1) 2(装置2) 1(装置1) 2(装置2)	¥装置情報.csv (N)情報収集(I)障害復旧(R 障害(3)日 情報収集スケジュ・) グルーブ: グルーブA ソフドウェア3 ジルーブA ソフドウェア3 装置情報 ② IPアドレス 装置名 運用 ③ I92.168.0.1 装置1 ○ I92.168.0.2 装置2 ○ I92.168.0.3 装置3 ○ I92.168.0.4 装置4	E(S)] ヘルブ(H) 設定(E) Ctr 更新処理方式: シ バージョン コンフィク	 ↓ (1) (設) (定) ↓ (1) (設) (定) ↓ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	バックアップ収集日時	更新バージョン	速 /
	時刻	1 19781/2	1017-27				
2014/01/21	23:05:40.027		- アプリケーションが走	副しました。			
2014/01/21	23:05:40.077		ファイルの読み込み	が正常終了しました			
日付 2014/01/21 2014/01/21	日付 時刻 2014/01/21 23:05:40.027 2014/01/21 23:05:40.077		メッセージ アブリケーションが徒 ファイルの読み込み	記動しました。 が正常終了しました			

[ツール設定]画面を開いたら、コンフィグレーション格納先ディレクトリとバ ックアップファイル格納先ディレクトリを指定します。指定できたら、[OK]ボ タンを押下します。

図 2-25 コンフィグレーション格納場P	所の指定(2)
②コンフィグレーション格納場所を 選択します。	③バックアップファイル格納場所を 指定します。
 障害復旧サポートツール - ツール設定 ディレクトリ 装置 パックアップ収集 コンフィグレーションファイルの格納場所、パックアップファイルの格納場所 所、MC作成時に使用するMCのドライブ、ソフトウェア更新時に使用 するソフトウェアファイルの格納場所を設定します。 コンフィグレーション格納先ディレクトリ設定 *コンフィグレーション格納先ディレクトリ設定 *コンフィグレーション格納先ディレクトリ設定 ・パックアップファイル格納先ディレクトリ設定 ・パックアップファイル格納先ディレクトリ 	
MCのドライブ設定 MCのドライブ ソフトウェアファイル格納先ディレクトリ設定 *ソフトウェアファイル格納先ディレクトリ software-files OK キャンセル 適用	

④[OK]ボタンを押下します。

装置から収集されたランニングコンフィグレーション,およびバックアップフ ァイルは,指定した格納場所へ,以下のファイル名で格納されます。

コンフィグレーション:

[コンフィグレーション格納先ディレクトリ]¥

[IPアドレス]-[YYYYMMDD][hhmmss].cfg

[コンフィグレーション格納先ディレクトリ]…

[ツール設定]画面で指定した、コンフィグレーション格納先ディレ クトリ

[IP アドレス]…コンフィグレーション収集対象装置の IP アドレス

[YYYYMMDD]…コンフィグレーション収集日付

[hhmmss]…コンフィグレーション収集時刻

例:装置の IP アドレスが 192.168.0.1, コンフィグレーション収集日 付および時刻が 2009 年 11 月 25 日午前 3 時 0 分 3 秒の場合,フ ァイル名は以下になります。

192.168.0.1-20091125030003.cfg

バックアップファイル:

[バックアップファイル格納先ディレクトリ]

[IP アドレス]-[YYYYMMDD][hhmmss].dat

[バックアップファイル格納先ディレクトリ]…

[ツール設定]画面で指定した,バックアップファイル格納先ディレクトリ

[IP アドレス]…バックアップ収集対象装置の IP アドレス

[YYYYMMDD]…バックアップ収集日付

[hhmmss]…バックアップ収集時刻

例:装置の IP アドレスが 192.168.0.1, バックアップ収集日付および 時刻が 2009 年 11 月 25 日午前 3 時 0 分 3 秒の場合, ファイル名 は以下になります。

192.168.0.1-20091125030003.dat

コンフィグレーションファイルの収集の実施単位はグループです。グループに 対してコンフィグレーションファイルの収集を即時実行するには、装置一覧ツ リー上のグループを選択して[実行]-[実行]メニューを選択するか、装置一覧ツ リー上のグループをマウスで右クリックして、表示されたポップアップメニュ ーから実行を選択します。

図 2-26 即時実行(1)

7 KEL VIEL - 7	(ートツール - C:¥等 ニープ(G) 装置(N)	接置情報.csv 信報収集(T) 障	等復旧(R)	受定(S) へい	レプ(H)		1		
主里	(=) (=) (=)	7/7*27		~~~(-/ ·					
気直一見 白ー <mark>┣ <mark>グループA</mark></mark>	▶ ^p ‡	大クシュ		-1 <u>6</u> ∵≖⊡.r	~~~ > 10/8(p)	Challe D			
÷ 102.16	0.1(装置1)	美行(K)		運用八一	ション#X1를(K)	Ctri+R			
• 192.16	8.0.2(装置2) 👘	置情報		コンフィ	グレーション収集(F	F) Ctrl+F	-		
• 192.16	38.0.3(装置3)	ℤ IPアドレス	装置名	バックア	'ップ収集(B)	Ctrl+B	ップ収集日時	更新バージョン	ステータス
● 192.16 	58.0.4(装置4)	192.168.0.1	装置1						
ーー <u>ー</u> クルーフB	30 1 1/7 注 單 1)	192.168.0.2	装置2						
• 192.10	81.1(後直1)	192.168.0.3	装置3						
	10.1.2(20 11.2)	192.168.0.4	装置4						
 192.16 192.16 	88.3.1(装置1) 58.3.2(装置2)								
								障害復居	ヨウィザード
-				メッセージ	2				
日付	時刻	IPアドレス							
日付 2014/01/21	時刻 23:05:40.027	IPアドレス 		アプリケー	ションが起動しました。				

実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 2-27 即時実行(2)



装置からコンフィグレーションファイルの収集が行われ,装置情報テーブル上 にコンフィグレーション収集日時が表示されます。

図 2-28 即時実行(3)

④装置情報テーブル上にコンフィグレーション収集日時が表示されます。

🍝 障害復旧サポー	- トツール - C:¥	装置情報.csv						- • • ×
ファイル(<u>E</u>) グル	,−プ(<u>G</u>)装置(<u>N</u>	<u>l</u>) 情報収集(<u>I</u>) 障	i書復旧(<u>R</u>)設定(<u>S</u>) へ	レプ(<u>H</u>)				
装置一覧	1	障害復日 情報収	集スケジュール一覧					
□		グループ: グループ	A ソフトウェア更新処理方	च्च*• िय य	加重行 _			
• 192.168	.0.2(装置2)	装置情報						
• 192.168	.0.3(装置3)	IPアドレス	装置名 運用バージョン	コンフィグレー	ーション収集日…	バックアップ収集日時	更新バージョン	ステータス
□	.0.4(2010.4)	192.168.0.1	装置1 OS-L3A Ver	2014/01/26	6 13:16:37			コンフィグレー
192 168	11(法震1)	192.168.0.2	装置2 OS-L3A Ver	2014/01/26	6 13:16:37			コンフィグレー
• 192.168	12(法署2)	192.168.0.3	装置3 OS-L3A Ver	2014/01/26	6 13:16:39			コンフィグレー
	.1.c. telect	192.168.0.4	装置4 OS-L3L Ver	2014/01/26	5 13:16:37			コンフィグレー
···· ♦ 192.168.	3.2(装置2)						【除宝/卸	80/#~%
							P# 0 131	1949 T
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ					_
2014/01/26	13:16:37.272	192.168.0.3	コンフィグレー	ション収集を開	開始します。			
2014/01/26	13:16:37.372	192.168.0.4	コンフィグレー	ション収集を開	開始します。			
2014/01/26	13:16:39.366	192.168.0.2	コンフィグレー:	ション収集が江	E常終了しました	0		
2014/01/26	13:16:39.528	192.168.0.4	コンフィグレー	ション収集が正	E常終了しました			
2014/01/20				 、、山田佳 - 87⁻ 	T 31// P 1 1 1 1			
2014/01/26	13:16:39.871	192.168.0.1		ソヨノ収集が1	上常終了しました			
2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	13:16:39.871 13:16:43.279	192.168.0.1 192.168.0.3	ニュンフィクレー: ニンフィグレー:	ション収集がエ ション収集がエ	上常終了しました 王常終了しました	:• :•		

また,収集したファイルは「<u>2.4.2 ツール全体の設定を行う</u>」で指定したコンフ ィグレーション格納先ディレクトリに格納されます。

図 2-29 即時実行(4)



バックアップ収集の実施単位も、コンフィグレーション収集同様にグループで す。グループに対してバックアップ収集を即時実行するには、装置一覧ツリー 上のグループを選択して[情報収集]-[実行]-[バックアップ収集]メニューを選択 するか、装置一覧ツリー上のグループをマウスで右クリックして、表示された ポップアップメニューから[バックアップ収集]を選択します。

装置からバックアップ収集が行われ、装置情報テーブル上にバックアップ収集 日時が表示されます。

また,収集したファイルは「<u>2.4.2 ツール全体の設定を行う</u>」で指定した格納場 所に格納されます。

なお、収集したバックアップファイルには以下の情報が含まれます。

AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S/AX3800S/AX3600S/AX2400S シリーズ の場合

- ・パスワード情報
- ・コンフィグレーション
- ・電源運用モード
- ・ライセンス情報
- ・Web 認証データベース(内蔵 Web 認証 DB)
- ・Web 認証証明書ファイル
- ・Web 認証用に登録された認証画面ファイル
- ・MAC 認証データベース (内蔵 MAC 認証 DB)
- ・IPv6 DHCP サーバ DUID ファイル
- ・OAN 機能用証明書ファイル
- ・ソフトウェアファイル(含まないように設定することもできます。設定 については、「2.4.2 ツール全体の設定を行う」を参照してください。)

AX2500S シリーズの場合

- ・パスワード情報
- ・スタートアップコンフィグレーション
- ・ライセンスキーファイル
- ・オプションライセンス情報

- ・Web 認証データベース(内蔵 Web 認証 DB)
- ・Web 認証/OAN 機能用証明書ファイル
- ・Web 認証用に登録された認証画面ファイル
- ・MAC 認証データベース(内蔵 MAC 認証 DB)
- ・DHCP snooping バインディングデータベース
- ・セキュア Wake on LAN 端末情報データベース (WOL 端末認証 DB)
- ・ソフトウェアファイル(含まないように設定することもできます。設定 については、「<u>2.4.2 ツール全体の設定を行う</u>」を参照してください。)
- CLI 環境情報(set exec-timeout / set terminal pager)…Ver.3.3.A 以降

[注意事項]

本ツールからバックアップ収集を行った場合,バックアップファイル に格納されている CLI 環境情報のページング設定(set terminal pager)は, 常に「ページングしない(disable)」になります。 スタック構成の場合,ライセンスキーファイルおよびオプションライ

センス情報はバックアップされません。

AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの場合

- ・パスワード情報
- スタートアップコンフィグレーション
- ・オプションライセンス情報
- ・自動ログアウト設定
- ・ページング設定
- CONSOLE ポート速度設定
- ・運用ログのモニタ表示設定
- ・装置の障害ログ情報
- ・Web 認証データベース(内蔵 Web 認証 DB)(*1)
- ・Web 認証/OAN 機能用証明書ファイル(*1)
- ・Web 認証用に登録された認証画面ファイル(*1)
- ・MAC 認証データベース (内蔵 MAC 認証 DB)
- ・DHCP snooping バインディングデータベース
- ・セキュア Wake on LAN 端末情報データベース(WOL 端末認証 DB)(*1)
- ・セキュア Wake on LAN ユーザ認証データベース(WOL ユーザ認証 DB)(*1)

- ・ソフトウェアファイル(含まないように設定することもできます。設定 については、「<u>2.4.2 ツール全体の設定を行う</u>」を参照してください。)
- *1: AX2100S シリーズでは Web 認証およびセキュア Wake on LAN に ついては未サポートのため対象外となります。

AX1230S シリーズの場合

- ・パスワード情報
- ・スタートアップコンフィグレーション
- ・自動ログアウト設定
- ・ページング設定
- CONSOLE ポート速度設定
- ・運用ログのモニタ表示設定
- ・装置の障害ログ情報
- ・Web 認証データベース (内蔵 Web 認証 DB)
- ・Web 認証/OAN 機能用証明書ファイル
- ・Web 認証用に登録された認証画面ファイル
- ・MAC 認証データベース(内蔵 MAC 認証 DB)
- ・DHCP snooping バインディングデータベース
- ソフトウェアファイル(含まないように設定することもできます。設定
 については、「2.4.2 ツール全体の設定を行う」を参照してください。)

(2) 予約実行で収集する

スケジュールの登録を行うことで,指定した間隔(毎日,毎週,毎月)の定刻, または指定した日時にコンフィグレーション収集やバックアップ収集を予約実 行することができます。

スケジュール情報は1つのグループに対して複数設定可能です。スケジュール の登録を行うには、装置一覧ツリー上でスケジュールを登録するグループを選 択して、[スケジュール]-[追加]メニューを選択するか、[情報収集スケジュール 一覧]の下にある〔追加〕ボタンを押下して、[スケジュール設定]画面を開きま す。

図 2-30 予約実行(1)

①グル ー	プを選	択します。	②[→ をj	情報収集]-[スケジュール]-[追加]メニュ 選択します。
실 障害後 ロサポー	トツール - C:	¥装置情報.csv		
ファイル F) グルー	-プ(G) 装置([N) 情報収集(I) 障害復旧(R) 設	定(S) ヘルプ(H)	
装 <mark>を 見</mark> <mark>- ジループA</mark> ● 192.168.0. - ● 192.168.0.	.1(装置1) 2(装置2)	スケジュール(D) → 情 実行(R) → パループ名	追加(7) Ctrl+7 編集(8) Ctrl+8 削除(9) Ctrl+9	27-92
 132.1681. 132.1681. 132.1681. 132.1681. 132.1681. 132.1681. 132.1681. 132.1683. 132.1683. 	4(装置 4) -(镁置 1) 2(装置 2) -((装置 1) 2(装置 2)	2)'または,	「追加」ボタンを押下します。 通加 編集
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ	
2014/01/26	1/26 13:23:23:858		アプリケーションが起動し	ŧした。 ₩4x 7 L ≠ L た
2014/01/20	10.20.20.099		_2 r 1 / vuazo / co // L	

[スケジュール情報設定]画面を開いたら, [スケジュール設定を有効にする]チェ ックボックスにチェックを入れ, スケジュール実行内容を選択したうえで, [毎 日], [毎週], [毎月], [指定日時]の4種類のスケジュールのいずれかを選択しま す。

・毎日のスケジュール

毎日1回,指定した時間にスケジュール実行内容で選択した操作を行います。 「時間:」欄で時間を指定し,[OK]ボタンを押下してください。

・毎週のスケジュール

毎週,指定した曜日の,指定した時間にスケジュール実行内容で選択した操作 を行います。曜日は複数指定できます。

スケジュール実行内容で選択した操作を行う曜日にチェックを入れ,「時間:」 欄で時間を指定して,[OK]ボタンを押下してください。

・毎月のスケジュール

毎月1回,指定した日の,指定した時間にスケジュール実行内容で選択した操作を行います。日には,1日~28日と,「月末」を指定できます。

「日:」欄で日を,「時間:」欄で時間を指定して,[OK]ボタンを押下してください。

・指定日時のスケジュール

指定した年月日の,指定した時間にスケジュール実行内容で選択した操作を行 います。

「年:」欄で年を、「月日:」欄で月と日を、「時間:」欄で時間を指定して、 [OK]ボタンを押下してください。

図 2-31 予約実行(2)



⑤「毎日」「毎週」「毎月」「指定日時」のスケジュールのいずれかを 選択します。ここでは「毎日」のスケジュールを選択しています。

図 2-32 予約実行(3)

🌆 障害復旧サポート	トツール - C:	¥装置情報.csv				
ファイル(E) グルー	·プ(<u>G</u>)装置((<u>N</u>) 情報収集(<u>I</u>) 障害得	复旧(<u>R</u>) 設定() ヘルプ(<u>H</u>)		
装置一覧 ウルーブA 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1(装置1) 2(装置2) 3(装置3)	隆書復旧 情報収集ス√ -情報収集スケジュールー グループ名 グループA	ケジュール一覧 -覧 スケジ 毎日 2	ュール 23時00分 にコンフィグレーション4収集を実行		ステータス
● 192.168.0. ● 192.168.1. ● 192.168.1. ● 192.168.1. ● 192.168.3. ● 192.168.3. ● 192.168.3.	4(装置1) 1(装置1) 2(装置2) 1(装置1) 2(装置2)					
					追加	
日付	時刻	IPアドレス	<i>ب</i> ر <i>k</i>	セージ		
2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	13:23:23.858 13:23:23.899 13:24:36.045	 	アプ ファ- スケ	リケーションが起動しました。 イルの読み込みが正常終了しました。 ・ジュールを追加しました。		
	•					

⑧スケジュール一覧にスケジュールが追加されます。

以上で予約実行の設定は完了です。ここでの例では、この後 22 時 00 分になっ た時点で、グループAに属する4台の装置に対してコンフィグレーション収集 が自動で実行され、その後も、毎日 22 時 00 分にコンフィグレーション収集が 自動で実行されます。なお、[スケジュール設定]画面の[スケジュール実行内容] でバックアップ収集を選択した場合は、バックアップ収集が毎日 22 時 00 分に 自動で実行され、コンフィグレーション収集とバックアップ収集の両方を選択 した場合は、コンフィグレーション収集とバックアップ収集の両方が毎日 22 時 00 分に自動で実行されます。)

なお、予約実行はツールを終了すると実施されません。予約実行を行っている 期間中は、ツールを終了せず起動させたままの状態にしておいてください。

(3) 予約実行によるコンフィグレーション収集, バックアップ収 集を解除する

予約実行によるコンフィグレーション収集,バックアップ収集を解除する方法 には,登録されているスケジュールを無効にする方法と,登録されているスケ ジュールを削除する方法との2通りがあります。

① スケジュールを無効にする

登録されているスケジュールを無効にするには、スケジュール一覧で、無効に したいスケジュールを選択した後,[スケジュール]-[編集]メニューを実行し,[ス ケジュール設定]画面を開きます。

[スケジュール設定] 画面を開いたら,「スケジュール設定を有効にする」チ ェックボックスからチェックを外し,[OK]ボタンを押下します。

無効になったスケジュールは、スケジュール一覧の[スケジュール]列上で「な し」と表示されます。無効になったスケジュールは、定刻になってもコンフィ グレーション収集、バックアップ収集の予約実行の動作を行いません。

図 2-33 スケジュールの無効化

無効になったスケジュールは「なし」が表示されます。

ファイル(E) グ 装置一覧 白-110 <mark>グルーフA</mark>	ループ(<u>G</u>)装置(<u>N</u>) 情 障害	「報収集(I) 障害復 復日 情報収集スケー 副2年フムジュールー系	旧(<u>R</u>) 設定 <mark>S) ヘルプ(<u>H</u>) ジュール一覧</mark>	
192.1 192.1 192.1 192.1 192.1 192.1	88.0.1(装置1) 58.0.2(装置2) 58.0.3(装置3) 58.0.4(装置4)	-ブ名 -ブA	え スケジュール なし	ステータス
• 192.1	68.1.2(装置2)			
● 192.11 グループC ● グループC ● 192.11 ● 192.11	68.1.2(装置2) 68.3.1(装置1) 58.3.2(装置2)			〕這九0
● 192.11 ● グループC ● 2 グループD ● 192.11 ● 192.11 ● 192.11	88.1.2(装置2) 88.3.1(注意置1) 58.3.2(装置2) 1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	IP7/ドレス		送加 編集 首応
● 192.11 ● グループC ● グループC ● 192.11 ● 192	88.1.2(装置 2) 88.3.1(装置 1) 88.3.2(装置 2) 時刻 13.22223.858	IPアドレス	メッセージ アプリケージョンが存む約1ました。	送加 編集 前除
・ 192.11 クループC グループC ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11	68.1.2(装置2) 68.3.1(装置1) 68.3.2(装置2) 86.3.2(装置2) 845页] 13.2.2.2.3.856 13.2.2.2.3.899	IPアドレス 	メッセージ アプリケーションが起動しました。 ファイリの読み込みが正常終了しました。	送加- 《編集- 》 [削除
・ 192.11 グループC グループC グループC 192.11 ・ 192.11 ・ 192.11 ● 192.11 ● 2014/01/26 2014/01/26	88.1.2(装置 2) 58.3.1(装置 1) 58.3.2(装置 2) 845(2) 13.223.3056 13.223.3045	IP7ドレス 	メッセージ アプリケーションが起動しました。 ファイルの読み込みが正常時了しました。 スケジュールを追加しました。	送加

② スケジュールを削除する

登録されているスケジュールを削除にするには、スケジュール一覧で、削除したいスケジュールを選択した後、[スケジュール]-[削除]メニューを実行します。 [削除確認]画面が開いたら、[はい]ボタンを押下します。

図 2-34 スケジュールの削除

登録されていたスケジュールがスケジュール一覧から削除されます。

	≦」障害復旧サポー ファイル(E) グル	- トツール - C:¥ - <mark>ープ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u></mark>			
● 192168.0.2(装置) グループ名 スケジュール スケータス ● 192168.0.2(装置) ● ジループ名 スケジュール スケータス ● 192168.0.2(装置) ● ジループB ● 192168.0.2(装置) ● 192168.0.2(装置) ● 192168.0.2(装置) ● 192168.0.2(装置) ● 192168.0.2(SE) ● 192168.0.2(SE) ● 192168.0.2(SE) ● 192168.0.2(SE) ● 192168.	装置一覧 ロー <mark>ル グループA</mark> - ● 192.168.	0.1(装置1)	障害復旧 情報収集スケ: 情報収集スケジュール一覧	ジュール一覧	
日付 時刻 IPアドレス メッセージ 2014/01/26 132323858 アプリケーションが起動しました。 2014/01/26 132323899 アプリケーションが起動しました。 2014/01/26 13232899 アイルの読み込みが正常終了しました。 2014/01/26 132438045 スケジュールを追加しました。 2014/01/26 13256086 スケジュールを追加しました。 2014/01/26 132524340 スケジュールを削除しました。		0.2(装置2) 0.3(装置3) 0.4(装置4) 1.1(装置1) 1.2(装置2) 8.1(装置1) 8.2(装置2)	グループ名	<i>ス</i> ケジュール	27-92
日付 時刻 IPアドレス メッセージ 2014/01/26 132223556 アウリケーションが起動しました。 2014/01/26 132223999 アイルの扱み込みが正常終了しました。 2014/01/26 1324250045 スケジュールを追加しました。 2014/01/26 132502568 スケジュールを追加しました。 2014/01/26 132502568 スケジュールを追加しました。 2014/01/26 132542440 スケジュールと解測体上でした。					道加
2014/01/26 13 23 23 858 アプリケーションが起動しました。 2014/01/26 13 23 23 899 ファイルの読み込みが正幹終了しました。 2014/01/26 13 24 36 045 スケジュールを追加しました。 2014/01/26 13 25 26 588 スケジュール情報を堅耐しました。 2014/01/26 13 25 24 340 スケジュールを削除しました。	日付	時刻	IPアドレス	メッセージ	
2014/01/26 182828899 ファイルの読み込みが正常終了しました。 2014/01/26 182486046 スケジェールを通知しました。 2014/01/26 182502688 スケジェール情報を置引しました。 2014/01/26 182524340 スケジェール情報を算引しました。	2014/01/26	13:23:23.858		アプリケーションが起動しました。	
2014/01/26 1824-88.045 スクジュールを追加しまた。 2014/01/26 1825-02.688 スクジュール情報を更新またた。 2014/01/26 1825-02.684 スクジュール情報を見た。	2014/01/26	13:23:23.899		ファイルの読み込みが正常終了しました。	
2014/01/26 13:25:02:668 スケジュール情報を更新しました。 2014/01/26 13:25:24:340 スケジュールを削除しました。	2014/01/26	13:24:36.045		スケジュールを追加しました。	
2014/01/26 13:25:24:340 スケジュールを削除しました。	2014/01/26	13:25:02.668		スケジュール情報を更新しました。	
	2014/01/26	13:25:24.340		スケジュールを削除しました。	

(4) スケジュール情報ファイルからスケジュールを登録する

「<u>2.4.5 装置情報ファイルから登録する</u>」では、グループ、および、装置の情報 を定義した装置情報ファイルを用意して、ツールに読み込ませる方法について 説明しました。ここでは、スケジュール情報ファイルを用意して、装置情報フ ァイルと併せて読み込みを行う方法について説明します。

① スケジュール情報ファイル

スケジュール情報ファイルは、[ファイル]-[名前を付けて保存],または、[ファ イル]-[上書き保存]メニューを実行した際に、装置情報ファイルのファイル名 (拡張子.csvを除いた部分)に「_schedule」を付与したファイル名で、装置情報フ ァイルと併せて保存される、ツール上のスケジュール情報を記録したファイル です。例えば、装置情報ファイル名が「node.csv」ならば、対応するスケジュ ール情報ファイルは、「node_schedule.csv」になります。

スケジュール情報ファイルは,直接,[ファイル]-[開く]メニューからファイル

を開くことはできません(ファイル名に「_schedule」が含まれるファイルは, ファイル選択画面に表示されず,選択することができません)。装置情報ファ イルを読み込んだ際に,同じディレクトリに,装置情報ファイルと同名のスケ ジュール情報ファイルも存在していれば,併せて読み込まれます。つまり,ス ケジュール情報ファイルは,直接編集したり,作成したりするといったことを しなければ,普段は,存在を意識することのないファイルです。

スケジュール情報ファイルのフォーマットは,装置情報ファイル同様,CSV形 式のテキストファイルであり,装置情報ファイルと同様に,テキストエディタ やスプレッドシートアプリケーションを利用して作成し,ツールに読み込ませ ることができます。ただし,上述したように,スケジュール情報ファイルの読 み込みは,装置情報ファイルの読み込み操作によって行います。

スケジュール情報ファイルの例を下記表に示します。

図 2-35 スケジュール情報ファイル

グループ名,スケジュール有効,コンフィグレーション収集有効,バックアップ収集有効, 繰り返し期間,毎日時間,毎日分,毎週月曜有効,毎週火曜有効,毎週水曜有効,毎週木曜有効, 毎週金曜有効,毎週土曜有効,毎週日曜有効,毎週時間,毎週分,毎月日,毎月時間,毎月分,指 定年,指定月,指定日,指定時間,指定分

1 行目

(ヘッダ)

グループ A,true,true,false,毎日,0,0,false,false,false,false,false,false,false,false,0,0,0,0,0,2009,1,1,0,0

グループ A,true,true,false,毎週,0,0,false,false,true,false,false,false,false,false,12,0,0,0,2009,1,1,0,0

グループ A, true, false, true, 毎月, 0, 0, false, false, false, false, false, false, false, false, 0, 0, 1, 16, 0, 2009, 1, 1, 0, 0

- ・1 行目にはヘッダ情報を記述し,2 行目以降にグループのスケジュール情報を 記述します。※1※2
- ・各指定値が不正(範囲外)な場合,スケジュール情報ファイル読み込み時にエ ラーとなります。
- ・スケジュール情報の各項目は、すべて指定が必須であり、省略することはできません。各項目の指定値は次表の通りです。

表 2-5 スケジュール情報ファイルの指定値

項目	指定值
グループ名	スケジュール対象のグループの名前を1~32 文字で指定します。
スケジュール有効	このスケジュールを有効にするか無効にする かを指定します。 ・true…スケジュールが有効 ・false…スケジュールが無効
コンフィグレーション収 集有効	このスケジュールでコンフィグレーション収 集を行うかどうかを指定します。 ・true…コンフィグレーション収集を行う ・false…コンフィグレーション収集を行わな い
バックアップ収集有効	このスケジュールでバックアップ収集を行う かどうかを指定します。 ・true…バックアップ収集を行う ・false…バックアップ収集を行わない
繰り返し期間	スケジュール実行内容で選択した操作を実施 する間隔を指定します。 ・毎日…毎日指定の時刻に実施 ・毎週…毎週指定の曜日・時刻に実施 ・毎月…毎月指定の日・時刻に実施 ・指定日時…指定の日・時刻に実施
毎日時間	繰り返し期間が毎日の場合,選択した操作を実 行する時刻の時間を0~23の値で指定します。 繰り返し期間が毎日以外の場合には0を指定 してください。
毎日分	繰り返し期間が毎日の場合,選択した操作を実 行する時刻の分を0~55の値で指定します。設 定可能な値は5分単位になります。 繰り返し期間が毎日以外の場合には0を指定 してください。
 毎週月曜有効 毎週火曜有効 毎週水曜有効 毎週木曜有効 毎週金曜有効 毎週土曜有効 	 繰り返し期間が毎週の場合,選択した操作を実行する曜日かどうかを指定します。 ・true…入れ替えを実行する曜日 ・false…入れ替えを実行しない曜日 繰り返し期間が毎週以外の場合には false を指定してください。
毎週日曜有効 毎週時間	繰り返し期間が毎週の場合, 選択した操作を実

	行する時刻の時間を0~23の値で指定します。 繰り返し期間が毎週以外の場合には0を指定 してください。
毎週分	繰り返し期間が毎週の場合,選択した操作を実 行する時刻の分を0~55の値で指定します。設 定可能な値は5分単位になります。 繰り返し期間が毎週以外の場合には0を指定 してください。
毎月日	繰り返し期間が毎月の場合, 選択した操作を実 行する日を0~28の値で指定します。0は月末 を表す値です。 繰り返し期間が毎月以外の場合には0を指定 してください。
毎月時間	繰り返し期間が毎月の場合,選択した操作を実 行する時刻の時間を0~23の値で指定します。 繰り返し期間が毎月以外の場合には0を指定 してください。
毎月分	繰り返し期間が毎月の場合,選択した操作を実 行する時刻の分を0~55の値で指定します。設 定可能な値は5分単位になります。 繰り返し期間が毎月以外の場合には0を指定 してください。
指定日時年	繰り返し期間が指定日時の場合,選択した操作 を実行する年月日の年を現在の年から20年先 までの値で指定します。※3 ※4※5 繰り返し期間が指定日時以外の場合には2009 を指定してください。
指定日時月	繰り返し期間が指定日時の場合,選択した操作 を実行する年月日の月を1~12の値で指定し ます。※3※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には1を 指定してください。
指定日時日	繰り返し期間が指定日時の場合,選択した操作 を実行する年月日の日を1~31の値で指定し ます。※3※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には1を 指定してください。
指定日時時間	繰り返し期間が指定日時の場合,選択した操作 を実行する時刻の時間を0~23の値で指定し ます。※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には0を 指定してください。
指定日時分	繰り返し期間が指定日時の場合,選択した操作 を実行する時刻の分を0~55の値で指定しま す。設定可能な値は5分単位になります。※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には0を

指定してください。

※11行目(ヘッダ情報)は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。(図 2-29と同様の記述にする必要はありません。)

※2 スケジュール情報ファイルには空行(改行だけの行)を記述できません。記述した 場合にはエラーになります。

※3 年月日の組み合わせがカレンダ上に存在しない日(例:2009年2月31日や2009年2月29日)の場合にはエラーになります。

※4 過去の年月日時刻を入力した場合には、スケジュールが無効の状態で登録されます。
※5 20 年以上先を指定した場合、過去の年月日時刻指定時同様にスケジュールが無効の状態で登録されます。(例:2009 年ならば 2009~2029 が指定可能、2030 年1月1日 0:00 以降は無効状態で登録されます。)

[装置情報ファイルとの整合性に関する注意事項]

 ・スケジュール情報は、装置情報ファイル上に存在しないグループに対して 定義しないでください。このような定義があるスケジュール情報ファイル を読み込むと、ツール上からスケジュール情報を正常に扱えなくなります。 (逆のケース、つまり、スケジュール情報が未定義のグループを、装置情 報ファイルに定義することは問題ありません。)

[その他の注意事項]

- ・文字列「_schedule」は、スケジュール情報ファイルのファイル名に予約されているため、装置情報ファイル名に文字列「_schedule」を含めることはできません。
- ・グループ数がそれほど多くない場合(数グループ程度以内の場合)は、ツールからの操作でスケジュールを登録することをお勧めします。(ツールからの操作でスケジュールを登録する方がより簡単です。)
- ・スケジュール情報ファイルの各フィールドの値として HTML タグやタブ文
 字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール
 上で正しく表示されない場合があります。

② 作成したスケジュール情報ファイルを読み込む

スケジュール情報ファイルの読み込みは,装置情報ファイルの読み込み操作に よって行います。用意したスケジュール情報ファイルを,対応する装置情報フ ァイルと同じディレクトリに配置し、「<u>2.4.5 装置情報ファイルから登録する</u> (2)作成した装置情報ファイルを読み込む」に記載の手順で、装置情報ファイル の読み込みを行ってください。

2.4.9 MCから装置情報を収集する

ここでは、MCから装置情報を収集する方法について説明します。

(1) バックアップ用 MC を作成する

装置から最新の装置情報を収集するために、まず、バックアップ用 MC を作成 します。バックアップ用 MC として利用する、フォーマット済みの MC を1 枚 用意してください。障害復旧管理 PC に接続された MC リーダ/ライタへフォー マット済みの MC を挿入します。MC リーダ/ライタへアクセスできる状態にな ったら、「<u>3.2.2 バックアップ用 MC 作成</u>」を参照し、バックアップ用 MC を 作成してください。

(2) 装置から装置情報を収集する

「(1) バックアップ用 MC を作成する」で作成したバックアップ用 MC を装置 に挿入すると,自動的に装置情報のバックアップが行われ,収集された装置情 報がバックアップ用 MC に格納されます。装置で MC へのアクセスが完了した 後,バックアップ用 MC を取り出します。MC の中に格納されている詳細ログ ax_mlog.txt のメッセージ内容を確認し,装置情報のバックアップが正常終了し たことを確認してください。詳細については,「<u>5.2 メッセージ一覧 (3) MC</u> <u>の詳細ログに格納されるメッセージ一覧</u>」を参照してください。

(3) MC から装置情報を収集する

「(2) 装置から装置情報を収集する」でバックアップ用 MC を利用して装置か ら装置情報を収集できたら、収集した装置情報を障害復旧サポートツールへ読 み込み、保存します。ここで保存した装置情報は、装置障害発生時、代替機用 のリストア用 MC を作成するのに利用できます。

装置から装置情報を収集したバックアップ用 MC を、障害復旧管理 PC に接続

された MC リーダ/ライタへ挿入します。MC リーダ/ライタへアクセスできる状態になったら、「<u>3.2.4 MC からバックアップ収集</u>」を参照し、バックアップ用MC から、収集した装置情報を障害復旧サポートツールへ読み込み、保存してください。
3. 障害の復旧

この章では、障害復旧サポートツールの操作方法について説明します。

3.1 障害復旧ウィザードを利用する3.2 エキスパートメニューを利用する

3.1 障害復旧ウィザードを利用する

この節では,障害復旧ウィザードを利用して装置の復旧を行う方法について説 明します。

装置が故障した際, 故障前にコンフィグレーション収集, バックアップ収集の いずれか, または両方の実施実績がある場合には, 障害復旧ウィザードを起動 して代替機の復旧を行うことができます。

障害復旧ウィザードを起動する前に、復旧対象装置のコンフィグレーション収 集日時とバックアップ収集日時が表示されていることを確認してください。

※コンフィグレーション収集日時とバックアップ収集日時が表示されていない 場合は, 〔障害復旧ウィザード〕ボタンおよび[障害復旧ウィザード]メニュー は非活性状態になっており, ウィザードを起動することはできません。

※コンフィグレーション収集日時とバックアップ収集日時が表示されていない 場合は、実際に収集実績がないケースと、コンフィグレーション格納先ディレ クトリとバックアップファイル格納先ディレクトリが正しく設定されていない ケースの2つが考えられますので、収集実績があるにもかかわらず収集日時が 表示されていない場合は、[ツール設定]画面を開きディレクトリの設定を確認 してください。

図 3-1 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(1)

①復旧対象の装置を選択します。



コンフィグレーション収集日時とバックアップ収集日時のいずれか,または両 方が表示されていることを確認した後,[ツール設定]画面を開き MC のドライ ブ設定を選択します。

図 3-2 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(2)

障害復旧サポートツール - ツール設定	
ディレクトリ 装置 バックアップ収集	
コンフィグレーションファイルの格納場所、バックアップファイルの格納場 所、MO作成時に使用するMCのドライブ、ソフトウェア更新時に使用 するソフトウェアファイルの格納場所を設定します。 コンフィグレーション格納先ディレクトリ設定 *コンフィグレーション格納先ディレクトリ	
configuration-files	
 バックアップファイル格納先ディレクトリ設定 *バックアップファイル格納先ディレクトリ 	
backup-files	
MCのドライブ 	③MC のドライブを
 ソフドウェアファイル格納先ディレクドリ設定 *ソフドウェアファイル格納先ディレクドリ 	選択します。
software-files	
OK キャンセル 適用	

④ [OK] ボタンを押下します。

MCのドライブを選択した後、〔障害復旧ウィザード〕ボタンを押下しウィザ ードを起動します。ウィザードを起動した後、画面の指示に従い復旧を行いま す。下記に障害復旧ウィザードを利用した復旧の流れを示します。

なお、障害復旧ウィザードの流れは、対象装置の構成(冗長構成装置であるか 否か)や、コンフィグレーション収集、バックアップ収集の有無等により幾通 りかのパターンがあります。以下に示す例は、冗長構成装置の待機系を復旧す る場合の例になります。 図 3-3 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(3)



⑥〔はい〕ボタンを押下します。

対象装置が冗長構成の場合は、リストアを行う系の選択画面が表示されます。

(対象装置が冗長構成でない場合、本画面は表示されません。)

図 3-4 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(4)

障害復旧サポートツール - 障害復旧ウィザード
リストア(バックアップ収集情報による復旧)を行う系を選択して〔次へ〕ボタンを押してくださ い。
- リストアを行う系の選択
🔲 運用系をリストアします。
♥ 待機系をリストアします。
⑦リストアを行う系を選択します。
次へ キャンセル

⑧ 〔次へ〕 ボタンを押下します。

次画面で復旧の流れが表示されます。この例では、リストア用 MC とコンフィ グレーション復帰用 MC との2 種類の MC を作成するため、空の MC を2 枚用 意してください。用意ができたら〔次へ〕ボタンを押下して先に進みます。

図 3-5 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(5)

障害復旧サポートツール - 障害復旧ウィザード
復日の流れ
ステップ1
リストアくバックアップ収集情報による復旧)用のMCを作成します。
ステップ2
コンフィグレーション復帰用のMCを作成します。
ನ್ರಾಲ್3
作成したリストア用MCを待機系のスロットに挿入し、待機系のリストアを行いま す。
ステップ4
作成したコンフィグレーション復帰用Moを運用系のスロットへ挿入し、コンフィグ レーションを復帰します。(装置が冗長構成の場合は,運用系に適用することで 運用系,待機系の両系のコンフィグレーションが復帰します。)
復旧にMCを2枚使用しますので,空のMCを2枚用意してください。 用意ができたらじ次へ〕ボタンを押してください。

⑨空の MC を 2 枚用意して次へボタンを押下します。

図 3-6 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(6)

障害復旧サポートツール - 障害復旧ウィザード(1/4)
リストア用MCを作成します。MCドライブに空のMCを挿入し〔次へ〕ボタンを押してください。
なへ キャンセル

⑩次ヘボタンを押下します。

図 3-7 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(7)

障害復旧サポートツール – 障害復旧ウィザード(1/4)
リストア用MCの作成が完了しました。MCドライブからMCを取り外してC次へJボタンを押してください。

⑪次ヘボタンを押下します。

リストア用の MC 作成が完了した後,引き続きコンフィグレーション復帰用 MC を作成します。

図 3-8 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(8)



12次ヘボタンを押下します。

図 3-9 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(9)

障害	复旧サポートツール - 障害復旧ウィザード(2/4)
山剣	なグレーション/観帰用MCの作成が完了しました。MCドライブからMCを取り外してC次へJボ ま押してください。
	「次へ」「キャンセル」

③次へボタンを押下します。

MCの作成が完了した後、作成した MC を装置のスロットに挿入して復旧を行います。

図 3-10 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(10)

障害復旧	サポートツール – 障害復旧ウィザード(3/4)	x
待機系。 ンを押し	Dリストアを行います。作成したリストア用MCを待機系のスロットに挿入しC次へ てください。	〕ボタ
	次へ キャン・	ชม 🛛

⑭次ヘボタンを押下します。

次画面でリストアの実行結果を選択します。実行結果に応じてラジオボタンを 選択し〔次へ〕ボタンを押下してください。 図 3-11 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(11)



16〔次へ〕ボタンを押下します。

選択結果に応じて以下の画面が表示されます。

「MC アクセスランプの消灯を確認して MC をスロットから取り出した後,待 機系の起動完了を確認しました。」を選択した場合は,引き続きコンフィグレ ーション復帰を行います。

図 3-12 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(12)

障害復旧サポートツール – 障害復旧ウィザード(4/4)
コンフィグレーションの復帰を行います。作成したコンフィグレーション復帰用MCを運用系のスロッドに挿入しC次へJボタンを押してください。

①〔次へ〕ボタンを押下します。

「以下のいずれかの状態になりました。」を選択した場合は、エラーメッセージの確認指示画面が表示されますので、MCの中にエラーメッセージが出力されているかどうか、MCの中に格納されている詳細ログ ax_mlog.txt のメッセージ内容を確認してください。また装置のコンソール画面を開いている場合は、コンソール画面上にエラーメッセージが出力されているかどうか確認してください。詳細ログにエラーメッセージが出力されている場合は、本マニュアルのトラブルシューティングかもしくは「5.2 メッセージ一覧 (3) MCの詳細ログに格納されるメッセージ一覧」を参照してエラーが発生した理由を調べてください。

本画面で〔OK〕ボタンを押下するとウィザードは終了します。

図 3-13 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(13)



⑪'〔OK〕ボタンを押下します。→ウィザードが終了します。

「図 3-12 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(12)」の画面で 〔次へ〕ボタンを押下すると、コンフィグレーション復帰の実行結果確認画面 が表示されますので、実行結果を選択し、〔次へ〕ボタンを押下してください。

図 3-14 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(14)



19〔次へ〕ボタンを押下します。

リストアの実行結果確認画面同様,「以下のいずれかの状態になりました。」 を選択した場合は,エラーメッセージの確認指示画面が表示されますので,MC の中にエラーメッセージが出力されているかどうか,MCの中に格納されてい る詳細ログ ax_mlog.txtのメッセージ内容を確認してください。また装置のコン ソール画面を開いている場合は,コンソール画面上にエラーメッセージが出力 されているかどうか確認してください。詳細ログにエラーメッセージが出力さ れている場合は、本マニュアルのトラブルシューティングかもしくは「<u>5.2 メ</u> <u>ッセージー覧 (3) MC の詳細ログに格納されるメッセージー覧</u>」を参照してエ ラーが発生した理由を調べてください。

「MC アクセスランプの消灯を確認して MC をスロットから取り出した後,待 機系の起動完了を確認しました。」を選択した場合は,下記の画面が表示され, でウィザードが正常終了します。

図 3-15 障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧(15)



⑳ [OK] ボタンを押下します。→ウィザードが終了します。

3.2 エキスパートメニューを利用する

前節では障害復旧ウィザードを利用した装置の復旧方法を説明しました。本節 では、エキスパートメニューの利用方法について説明します。 エキスパートメニューでは、障害復旧ウィザードが一連の流れで実施する復旧 操作を単独で行えることの他、障害復旧ウィザードでは実施されない、装置の バックアップ用 MC 作成、MC からのバックアップ収集や、ソフトウェア更新 といった操作を行うことができます。

3.2.1 リストア用 MC 作成

リストア用 MC 作成は装置に対して実施可能な操作です。グループを選択して 操作を行うことはできません。

ツールに登録した装置に対してリストア用 MC 作成を行うには,事前に,装置 の運用バージョンの取得と,バックアップ収集を実施しておく必要があります。 ここでは,これらの操作が既に実施されている前提とします。

リストア用 MC を作成するには、障害復旧管理 PC の MC ドライブに空の MC を挿入した後、装置一覧ツリー上で装置を選択して、[障害復旧]-[エキスパート]-[リストア用 MC 作成]メニューを選択します。

図 3-16 リストア用 MC 作成(1)

①装置を選択します。 ②[障害復旧]-[エキスパート]-[リストア用 MC 作成]を選 択します。 🍐 障害復旧サポ・ ツール - C:¥装罟情報.c 唐胡収 (I) [障害復旧(R)] 設定(S) ヘルプ(H) 装置一覧 □-----● グルー <u>障害復旧ウィザード(Z)...</u> Ctrl+Z 障害復 轠 ープA エキスパート(P) リストア用MC作成(T). Ctrl+T グルー: ներ バックアップ用MC作成(K) Ctrl+K ġ₩ ● 192.168.0.3(装置3)
 ● 192.168.0.4(装置4) コンフィグ復帰用MC作成(G)... Ctrl+G 装置名 運用バージョン コンフィグレーション収算 装置1 OS-L3A Ver... 2014/01/26 13:29:14 IPアドレス MCからバックアップ収集(M) Ctrl+M ● 192.168.1.1(装置1)
 ● 192.168.1.2(装置2) ジョン取.. ゔル 192.168.0.1 装置1 ソフトウェア更新(U) Ctrl+U ♪ グループC ♪ グループD ● 192.168.3.1(装置1)
 ● 192.168.3.2(装置2) 障害復旧ウィザード... メッセージ 連用バージョン収得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常結ます。 運用バージョン取得が正常終了しました。 運用バージョン取得が正常終了しました。 日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 時刻 13:39:52.335 13:39:52.432 IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 13:39:52.791 192.168.0.1 2014/01/26 13:39:52 925 192 168 0 3 192.168.0.3 192.168.0.4 014/01/2 13:39:52 944 運用パージョン取得が正常終了しました。 運用パージョン取得が正常終了しました。 グループ グループA に対する運用パージョン取得が正常終了しました。 014/01/9 19-20-52.02 13:39:53.114 2014/01/26

[リストア用 MC 作成]画面が開いたら、使用するバックアップファイルを選択 します。

図 3-17 リストア用 MC 作成(2)

暗実復旧サポートツール - リストア用MC作成	
「クストア用MOEFERGES」。UEHSのパックアップアイルの指定」Cパックアップアイルを指定し、 [OK]ボタンを押してください。	
┌使用するバックアップファイルの指定────	
◎ 最新のバックアップファイルを使用	
◎ 使用するバックアップファイルを選択	
「バックアップファイル選択	
使用するバックアップファイルを選択します。	
OK キャンセル	
↓ ④使用するバックアップ	プファイルを選択します
③使用するバックアップファイルを選択します。	

実行確認ダイアログが表示されたら,[はい]ボタンを押下します。

図 3-18 リストア用 MC 作成(3)



以上の操作でリストア用 MC が作成されます。障害復旧管理 PC の MC ドライ ブから MC を取り出し,取り出した MC を対象装置のスロットに挿入すると装 置のリストアが自動で開始されます。

バックアップ用 MC 作成 3.2.2

バックアップ用 MC 作成は装置に対して実施可能な操作です。グループを選択 して操作を行うことはできません。

ツールに登録した装置に対してバックアップ用 MC 作成を行うには、事前に、 装置の運用バージョンの取得を実施しておく必要があります。ここでは、これ らの操作が既に実施されている前提とします。

バックアップ用 MC を作成するには、障害復旧管理 PC の MC ドライブに空の MCを挿入した後,装置一覧ツリー上で装置を選択して, [障害復旧]-[エキスパ ート]-[バックアップ用 MC 作成]メニューを選択します。

図 3-19 バックアップ用 MC 作成(1)

①装置を選択します。 ニューを選択します。 - • **·** × 🏽 🙆 障害復旧サ<mark>ポートツール - C:¥装置情報.csv</mark> 情報収付 · 障害復旧ウィザード(Z)... Ctrl+Z 装置一覧 隆宇復 - 情報 兄 グループA リストア用MC作成(T). エキスパート(P) Ctrl+T グレ グルー 102 168 0 2(注理) バックアップ用MC作成(K) Ctrl+K 署也 膈 ● 192.168.0.3(装置3)
 ● 192.168.0.4(装置4) IP7F コンフィグ復帰用MC作成(G)... Ctrl+G 装置名 運用バージョン コンフィグレーション収測 装置1 OS-L3A Ver.... 2014/01/26 13:29:14 ス .0.1 ● 192.1680.4(装置4)
 ● グループB
 ● 192.168.1.1(装置1)
 ● 192.168.1.2(装置2)
 ● グループC
 ● グループD MCからバックアップ収集(M) Ctrl+M 装置1 ジョン取.. 192.16 ソフトウェア更新(U) Ctrl+U ● 192.168.3.1(装置1) ● 192.168.3.2(装置2) 障害復旧ウィザード... メッセージ 運用バージョン取得を開始とはす。 運用バージョン取得を開始とはす。 運用バージョン取得が正常終了しました。 運用バージョン取得が正常終了しました。 運用バージョン取得が正常終了しました。 運用バージョン取得が正常終了しました。 グループ グループA におする運用バージョン取得が正常終了しました。 日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 8寺亥] 13:41:19.729 13:41:19.826 IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 13:41:20.218 192.168.0.1 13:41:20.218 13:41:20.234 13:41:20.418 13:41:20.430 13:41:20.608 2014/01/26 192,168.0.2 2014/01/20 192 168 0 192.168.0.4 2014/01/26 2014/01/26

②[障害復旧]-[エキスパート]-[バックアップ用 MC 作成]メ

実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-20 バックアップ用 MC 作成(2)

障害復旧サポートツール	- 実行確認
).1(装置1) のバックアップ用MCを作成しますか?
	$(\sharp \iota \cdot (\underline{Y}) \qquad \qquad \iota \cdot \iota \cdot \widehat{\mathcal{Z}}(\underline{N})$

続けてバックアップ種別(装置情報のバックアップに加えて装置のソフトウェ アもバックアップするか否か)の確認ダイアログが表示されたら,バックアッ プ種別に応じて〔はい〕ボタンまたは〔いいえ〕ボタンを押下します。

装置のソフトウェアもバックアップする場合

- …〔はい〕 ボタンを押下します。
- 装置のソフトウェアはバックアップしない場合
 - …〔いいえ〕 ボタンを押下します。

図 3-21 バックアップ用 MC 作成(3)



[注意事項]

バックアップ対象装置の装置モデルが AX6700S, AX6600S, AX6300S, AX4600S, AX3800S, AX3600S, AX2400S の場合,装置名に英数字と"-"(ハイフン),"_" (アンダースコア),"."(ピリオド)以外の文字を使用していると,バックア ップ用 MC によりバックアップ収集を行うことができません(バックアップ用 MC を装置に挿入した際に MC アクセスランプが点滅します)。この場合は, 装置名をコンフィグレーションコマンド hostname で変更してください。詳細は 装置のマニュアルを参照してください。

3.2.3 コンフィグレーション復帰用 MC 作成

コンフィグレーション復帰用 MC 作成は装置に対して実施可能な操作です。グ ループを選択して操作を行うことはできません。

ツールに登録した装置に対してコンフィグレーション復帰用 MC 作成を行うに は、事前に、装置の運用バージョンの取得と、バックアップ収集を実施してお く必要があります。ここでは、これらの操作が既に実施されている前提としま す。

コンフィグレーション復帰用 MC を作成するには,障害復旧管理 PC の MC ド ライブに空の MC を挿入した後,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[障害復 旧]-[エキスパート]-[コンフィグレーション復帰用 MC 作成]メニューを選択し ます。

図 3-22 コンフィグレーション復帰用 MC 作成(1)

①装置を選択します。

マーノー(ロ) F 装置一覧 ロー・ジループF ロー・1921 ロー・1921 ロー・ジループE ロー・ジループE ロー・ジループE ロー・ジループE ロー・ジループE ロー・ジループE ロー・ジループE ロー・1921 ロー・シック ロー・ション ロー・シック ロー・ション ロー・シック ロー・ション ロー・シック ロー・ション ロー・ション ロー・シック ロー・ション ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・	(ページール・C:・ (、 (、		③ 認定(5) ヘルブ(H) 劇田ウィザード(Z) Ctrl+Z スパート(P) 用パージョン コンフィグレーションル(3) -13A Ver	リストア用MC作成(T) バックアップ用MC作成(K) コンフィグ復帰用MC作成(G) MCからバックアップ収集(M) ソフトウェア更新(U) パート]-[コンン	Ctrl+T Ctrl+K Ctrl+G Ctrl+M - 5 Ctrl+U	∃→服 ∃→服 レーシ	ィョン復
		//////			障害復旧ウイ	ザード	
		IPアドレス	メッセージ				
日付	時刻						
日付 2014/01/26	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	192.168.0.3	運用バージョン取得を開始します。				
日付 2014/01/26 2014/01/26	時刻 13:42:19.548 13:42:19.645	192.168.0.3 192.168.0.4	連用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。	<u>, </u>			
日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	8時刻 13:42:19.548 13:42:19.645 13:42:20.020	192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1	連用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。	, , ,ました。			
日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	時刻 13:42:19.548 13:42:19.645 13:42:20.020 13:42:20.115	192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1 192.168.0.2	連用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了し 運用バージョン取得が正常終了し	, , ました。 ました。			
日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	時刻 13:42:19.548 13:42:19.645 13:42:20.020 13:42:20.115 13:42:20.177	192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1 192.168.0.2 192.168.0.2	道用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了し 運用バージョン取得が正常終了し 運用バージョン取得が正常終了し	, ました。 ました。 ました。		^	
日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	時刻 13.42:19.548 13.42:19.645 13.42:20.020 13.42:20.115 13.42:20.177 13.42:20.232	192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1 192.168.0.2 192.168.0.3 192.168.0.3	連用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得か正常終了し 運用バージョン取得か正常終了し 運用バージョン取得が正常終了し 運用バージョン取得が正常終了し	、 ました。 ました。 ました。 ました。			

[コンフィグレーション復帰用 MC 作成]画面が開いたら,使用するバックアップファイルを選択します。

図 3-23 コンフィグレーション復帰用 MC 作成(2)

障害復旧サポートツール - コンフィグレーション復帰用MC作成
コンフィグレーション(製骨用MCを作成します。[使用するコンフィグレーションの指定]でコンフィグレー ションを指定し、[OK)ボタンを押してください。
─使用するコンフィグレーションの指定
◎ 最新のコンフィグレーションを使用
◎ 使用するコンフィグレーションを選択
「コンフィグレーション選択
使用するコンフィグレーションを選択します。
OK キャンセル
●使用するバックアップファイルを選択
③使用するバックアップファイルを選択します。

実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-24 コンフィグレーション復帰用 MC 作成(3)



以上の操作でコンフィグレーション復帰用 MC が作成されます。障害復旧管理 PC の MC ドライブから MC を取り出し,取り出した MC を対象装置のスロッ トに挿入すると装置のコンフィグレーション復帰が自動で開始されます。

ます。

3.2.4 MC からバックアップ収集

バックアップ済み MC からバックアップ収集を行うには,障害復旧管理 PC の MC ドライブにバックアップ済み MC を挿入した後,装置一覧ツリー上で対象 の装置を選択して[障害復旧]-[エキスパート]-[MC からバックアップ収集]を実 施します。

図 3-25 MC からバックアップ収集(1)

①対象の装置を選択します。 ②[障害

②[障害復旧]-[エキスパート]-[MC からバックアップ収集]を選択します。

שולי (י)שויירכ	ヽツール - C:¥装 ン(い) 装置(N)	置情報。CSV 情報収集(I) [障害犯	圓田(R)) 設定(S) ヘルプ(H)			ι <mark>- Σ</mark>
装置一覧 □ □ ジルーブA □ □ ジルーブA □ □ 192.168.0 □ □ 192.168.0 □ □ ジルーブB □ □ 192.168.1 ○ ジルーブB	(装置1) (装置1) (装置3) (装置4) 1(装置1) (装置1)	害復 日 <u>情報</u> パルー1: グルー 装置情報 Pアドス 装置名 92.16 0.1 注置1	障害項旧ウィザード(2) Ctrl+Z エキスパート(P) 運用パージョン コンフィグレーションル(3) OS-L3A Ver_ 2014/01/26 132914	リストア用MC作成(T) バックアップ用MC作成(K) コンフィグ復帰用MC作成(G) MCからバックアップ収集(M) ソフトウェア更新(U)	Ctrl+T Ctrl+K Ctrl+G Ctrl+M Ctrl+M	心取
グループC □	1(装置1) 2(装置2)					
					障害復日ウィザ	<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>
日付	時刻	IP7ドレス	メッセージ		障害復旧ウィザ	<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>
■付 2014/01/26	·····································	IPアドレス 192.168.0.3	メッセージ)運用バージョン収得を開始します。		障害復日ウィザ	<u>-۴</u>
日付 2014/01/26 2014/01/26	時刻] 13:43:51.889 13:43:51.990	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4	メッセージ メ第日パージョン取得を開始します。 連用パージョン取得を開始します。		障害復日ウィザ	-٣
日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	#寺友J 13:43:51.889 13:43:51.990 13:43:52.315	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1	メッセージ 1度用バージョン収得を開始します。 1度用バージョン収得を開始します。 1度用バージョン収得が正常終了し	elte.	障害復旧ウィザ	<u>-۲</u>
日付 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	8寺友) 13:43:51.889 13:43:51.889 13:43:51.990 13:43:52.315 13:43:52.419	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1 192.168.0.1	メッセージ 連用パージョン収得を開始します。 運用パージョン収得が正常終了し 運用パージョン取得が正常終了し 運用パージョン取得が正常終了し	ل چارکہ چارکہ	障害復旧ウィザ	<u>–۲</u>
Elft 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26 2014/01/26	時気川 13:43:51.889 13:43:51.990 13:43:52.315 13:43:52.419 13:43:52.400 13:43:52.400	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.1 192.168.0.1 192.168.0.2 192.168.0.3	メッセージ 、運用パージョン取得を開始します。 運用パージョン取得を開始します。 運用パージョン取得が正常終了し 運用パージョン取得が正常終までし 運用パージョン取得が正常終までし	ました。 ました。 ました。	障害復日ウィザ	۳

実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-26 MC からバックアップ収集(2)



続けてバックアップ種別(MC に収集されているバックアップ情報に装置のソ フトウェアが含まれるか否か)の確認ダイアログが表示されたら,バックアッ プ種別に応じて〔はい〕ボタンまたは〔いいえ〕ボタンを押下します。

装置のソフトウェアが含まれる場合

…〔はい〕 ボタンを押下します。

装置のソフトウェアが含まれない場合

…〔いいえ〕 ボタンを押下します。

図 3-27 MC からバックアップ収集(3)

障害復旧	サポートツール - バックアップ種別確認						
?	MC内のバックアップ情報には装置のソフトウェアが含まれますか?						
	はい(Y) いいえ(N) キャンセル						

以上の操作でバックアップ済み MC からバックアップ収集が行われます。

[注意事項]

・「バックアップ用 MC」を装置に続けて挿入すると MC 内にバックアップフ ァイルが複数出力されます。このような MC に対して「MC からバックアップ 収集」操作を行う場合は, MC 内のバックアップファイルを退避し MC 内にバ ックアップファイルが1つだけ存在するようにしてから操作を行ってください。

・装置一覧から対象装置を選択する際に,誤って異なる装置を選択したとして も,装置とバックアップ情報の不一致はチェックアウトされず,誤選択した装 置のバックアップ情報としてツール内に取り込まれます。

装置一覧から対象装置を選択する際には選択を誤らないよう十分注意してくだ さい。

3.2.5 ソフトウェア更新

ここでは、装置のソフトウェア更新を行う方法について説明します。

まず始めに,装置の新しいソフトウェアファイルの一式を,障害復旧管理 PC 上の任意のディレクトリに配置します。他のマシン上にあるソフトウェアファ イル格納先ディレクトリを,ソフトウェア更新サーバ上からネットワークドラ イブを経由して参照できる場合は,本手順は省略できます。

ソフトウェアファイルのファイル名や、ファイル圧縮形式は変更することはで きません。ソフトウェアファイルのファイル名と圧縮形式は、以下に従ってい る必要があります。※1

ファイル名:

AX6700S シリーズ, AX6600S シリーズ, AX6300S シリーズの場合

AX63S[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番

号].img.gz

AX4600S シリーズの場合

AX46L3C[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].img.gz

AX3800S シリーズ, AX3650S シリーズの場合

AX36L3S[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].img.gz

AX3660S シリーズの場合

AX36L3M[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].img.gz

AX3640S シリーズ, AX3630S シリーズの場合

AX36L3[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番 号].img.gz

AX2500S シリーズの場合

AX2530L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX2500SE シリーズの場合

AX2530EL2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド 番号].bin

AX2200S シリーズの場合

AX2230L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX2100S シリーズの場合

AX2130L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX2400S シリーズの場合

AX24L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番

号].img.gz

AX1240S シリーズの場合

AX1240L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX1250S シリーズの場合

AX1250L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].bin

メジャーバージョン・・・2桁の整数

マイナーバージョン・・・2桁の整数

リビジョン (オプション)・・・AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの装置の場合は1~3桁のアルファベット(1~2桁目 は大文字,3桁目は小文字),その他の装置の場合は1~2桁 の大文字のアルファベット

ビルド番号・・・AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの装 置の場合は1~4桁,その他の装置の場合は1~6桁の整数(ビ ルド番号が1~9の場合のみ,前に0が付きます…例:09)

ファイル圧縮形式:

gzip形式(AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S/AX3800S/AX3600S/AX2400Sシ リーズの場合) 非圧縮形式(AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの場合)

※1 ファイル名が上記の形式に従っていない場合,ツールがソフトウェアファ イルを正しく認識できません。

ソフトウェアファイルを配置した後,配置先のディレクトリ(以下,ソフトウ ェアファイル格納先ディレクトリと記す)の指定を行います。指定の方法につ いては,「2.4.2 ツール全体の設定を行う」を参照してください。

続いて装置の運用バージョンを取得します。運用バージョンの取得方法については,「2.4.6 装置の運用バージョンを取得する」を参照してください。

以上の手順を実施すると、装置情報テーブルの「更新バージョン」列のプルダ ウンメニューから、ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに配置したソフ トウェアファイルのバージョンを選択できるようになります。「更新バージョ ン」カラムの、対象装置のセルをクリックすると、プルダウンメニューに、対 象装置に対して更新可能なファイルの一覧が表示されます※1。

※1 以下のソフトウェアファイルはフィルタリングされ,「更新バージョン」 カラムのプルダウンメニューには表示されません。

・対象装置の機種と異なるソフトウェアファイル

・対象装置の運用バージョンよりも古いバージョンのソフトウェアファイル(ビルド番号によるフィルタリングは行われず,運用バージョンと同じバージョンのソフトウェアファイルは一覧に表示されます。)

ソフトウェア更新はグループ単位に実施します。選択中のグループ(ここでの 例ではグループA)内の,チェックを入れているすべての装置に対して更新バ ージョンを指定します。

図 3-28 ソフトウェア更新(1)



ここまで実施すると、ツールは、装置に対してソフトウェア更新が可能な状態 となります。ソフトウェア更新を行うには、ソフトウェア更新処理方式を選択 し、[障害復旧]-[エキスパート]-[ソフトウェア更新]メニューを選択します。

ソフトウェア更新処理方式には、シリアル実行と、パラレル実行の2つがあります。シリアル実行は、グループ内の装置に対して1台ずつソフトウェア更新を実施していくモードで、ソフトウェア更新を実施し、装置再起動後、装置が更新後のバージョンで正常に起動完了したことを確認してから、次の装置のソフトウェア更新を行います。一方、パラレル実行は、グループ内の装置に対して、一斉にソフトウェア更新を実施するモードです。

図 3-29 ソフトウェア更新(2)

三 译言後にリッ ファイル(F) ク	ガループ(G) 装置(N) 情報収集(I)	障害復旧(R)) 設定(S) ヘルプ(H)	
	168.0.1(装置1) 168.0.2(装置2) 168.0.3(装置3) 168.0.4(装置4) 3 168.1.1(装置1) 168.1.2(装置2) 5	障害[期日 情報 グループ: グルー 装置情報 ✓ IPアドレス ✓ 192.168.0.1 ✓ 192.168.0.2 ✓ 192.168.0.3	障害塩田ウィザード(Z) Ctrl+Z エキスパート(P) リストア用MC作成(C) Ctrl+T バックアップ用MC作成(K) にtrl+K コンフィグ塩陽用MC作成(C) Ctrl+G 株置1 OS-L3A Ver2014/01/28 13 ソフトウェア更新(U) Ctrl+U そこのS-L3A Ver2014/01/28 13 ソフトウェア更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフィグ塩陽用MC作成(S) Ctrl+G MCからパックアップ収集(M) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェア更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェア更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェア更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェアの更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェアの更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェアの更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェアの更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェアの更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 ンフトウェアの更新(U) Ctrl+U このS-L3A Ver2014/01/28 13 2014/01/28 14 2014/01/28 2014/01/28 14 2014/01/28 2014/01	F ータス 用バージョ 用バージョ 用バージョ 用バージョ
■ グループ[● 192.1 ● 192.1) 168.3.1(装置1) 168.3.2(装置2)		[陳書]期日ウ	ィザード
■ グループC ● 192.1 ● 192.1) 168.3.1(装置1) 168.3.2(装置2) 時刻	IP77FL2	障害(知ら)	ィザード…
○ グループC 192.1 ● 192.1 ● 192.1) 168.3.1(装置 1) 168.3.2(装置 2) 時刻 13.45.39.216	IPアドレス 1921680.03	検索(別日ウ メッセージ 海球13(-マジ) 7項件を開始とします。 海球13(-マジ) 7項件を開始とします。	イザード
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・) 168.3.1(装置 1) 168.3.2(装置 2) 時刻 13.45.39.216 13.45.39.216 13.45.39.220	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.4	陸吉(知日ウ) 進井)(-ジョン取得を開始にします。) 運用)(-ジョン取得を開始にします。) 運用(-ジョン取得を開始にします。)	ィザード
 → <i>f</i>/µ→70 → 192.1 → 192.1) 168.3.1(装置 1) 168.3.2(装置 2) 168.3.2(装置 2) 13.45.39.2.16 13.45.39.2.16 13.45.39.3.20 13.45.39.5.13 13.45.5.39.13	IPアドレス 192.168.03 192.168.04 192.168.04	陸吉田中ウ メッセージ)運用バージョン取得を開始します。)運用バージョン取得を開始します。)運用バージョン取得が正常終了しました。)運用にいたが、内容が正常終了しました。)運用にいたが、内容が正常後でしました。	ィザード
E→ 5/μ→70 192.1 → 192.1 →) 168.3.1(装置 1) 168.3.2(装置 2) 168.3.2(装置 2) 13.45.39.216 13.45.39.220 13.45.39.20 13.45.39.20 13.45.39.700 13.45.39.700	IPアドレス 192.166.03 192.166.04 192.166.02 192.166.02 192.168.03	陸舎(別日ウ メッセージ))運用バージョン取得を開始にます。)運用バージョン取得が固定にます。)運用バージョン取得が正常終了しました。)運用バージョン取得が正常終了しました。)運用バージョン加得が正常終了しました。	ィザード
E→ 5/μ→70 192:1 ● 192:1 ● 192:1 ■) (68.3.1(装置1) (68.3.2(装置2) (結3.2(装置2) (結3.3.2(装置2) (結5.3.9.216 13.445.39.216 13.445.39.513 13.445.39.740 13.445.39.932	IР7ドレス 192.168.03 192.168.04 192.168.04 192.168.02 192.168.03 192.168.04	陸吉(別日ウ) 連邦/トージョン取得を開始します。) 運用/トージョン取得を開始します。) 運用/トージョン取得特定正常終了しました。) 運用/トージョン取得が正常終了しました。) 運用/トージョン取得が正常終了しました。) 運用/トージョン取得が正常終了しました。	ィザード

④[障害復旧]-[エキスパート]-[ソフトウェア更新]メニューを選択します。 ↑

実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-30 即時実行(2)

障害復旧サポートツール - 実行		
🋕 グループ グループA	に対して, ソフトウェア更新を行いますか?	
(tu	(Y) しいいえ(N)	
	► 5[はv	ー コボタンを押下しる

図 3-31 ソフトウェア更新(3)

⑥ソフトウェア更新が正常終了すると、ステータスが「再起動確認終 了(成功)」に遷移し、運用バージョンが更新されます。

▲ 障害復旧サポー	トツール - C	:¥装置情	眼.csv									1 x
 ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u>) 情報収集(<u>I</u>) 障害復旧(<u>R</u>) 設定(<u>S</u>)						ヘルプ(<u>H</u>)				_	
装置一覧 ロー <mark>ル グルーフA</mark>		障害復	目情報は	収集スケジュ	ール一覧	788-1	Saura antaé	1				
192.1680 192.1680 192.1680 92.1680 92.1681 92.1681 9192.1683 9192.1683 9192.1683 9192.1683	1.2(装置2) 1.3(装置3) 1.4(装置4) 1.1(装置1) 1.2(装置2) 2.2(装置2) 1.1(装置1) 1.2(装置2)	· 装置情 ▼ 19 ▼ 19 ▼ 19 ▼ 19	解 アドレス 2.168.0.1 2.168.0.2 2.168.0.3 2.168.0.4	装置, 装置1 装置2 装置3 装置4	運用バージ OS-L3A V OS-L3A V OS-L3A V OS-L3A V	/ョン コン er 2014 er 2014 er 2014 er 2014	マグレーション収集日 (01/26 13:29:14 (01/26 13:29:14 (01/26 13:29:15 (01/26 13:29:14	- バックアップル 2014/01/20 2014/01/20 2014/01/20 2014/01/20	収集日時 3 18:27:22 3 18:27:21 3 18:27:22 3 18:27:22 3 18:27:22 3 18:27:22	更新パージョ OS-L3 Ver. OS-L3 Ver. OS-L3 Ver. OS-L3 Ver.	/ ステ _ 再起 _ 再起 _ 再起	-夕ス 動確認 動確認 動確認 動確認
A T										障害	復旧ウイ	ザード
日付	時刻)	マアドレス		メッセー	ジ						
2014/01/26	14:01:11.315	1	92.168.0.4		ソフトウェ	アファイル	のアップロードを開始し	ます。				
2014/01/26	14:01:52.053	1	92.168.0.4		ソフトウェ	アファイル	Dアップロードが正常終	了しました。				
2014/01/26	14:01:52.054	1	92.168.0.4		בליוכע	ア更新を	開始します。					
2014/01/26	14:02:30.251	1	2.168.0.4		<u>עלירע</u>	ア更新が	正常終了しました。					
2014/01/26	14:03:00.264	1	32.168.0.4		装置の用	起動確	公を開始します。					
2014/01/26	14:04:06.785	1	92.168.0.4		装置の#	月起動曜!	2か止常終了しました。) 티슈드라이다 2006년 7월 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11월	71 = 1 = 1			C
2014/01/20	114-04-00.801	-			211-7	9W-7F	NEX19027PJIPS	巴利尔止市旅。	040/20			

4. ツールの設定ファイル

この章では、障害復旧サポートツールの設定ファイルについて説明します。

4.1設定ファイル4.2設定項目一覧

4.1 設定ファイル

障害復旧サポートツールは,起動時に設定ファイルの読み込みを行います。従 って,障害復旧サポートツールを起動する前に,設定ファイルの内容を変更す ることで,ツールの動作を変更することができます。 設定ファイルは以下に格納されています。

<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool¥BackupRecoveryTool.properties

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

4.2 設定項目一覧

障害復旧サポートツールの設定ファイルに定義されている項目には,以下があ ります。なお,本表で記載されていない設定項目は,編集しないでください。 設定ファイルの編集はツールが起動していない時に行います。ツール起動中に 設定ファイルの設定項目を編集した場合には,[ツール設定]画面で[OK]ボ タンを押下した時,およびツールを終了した時に上書きされますので,ご注意 ください。

項 番	項目	意味
1	LOG_FILE_NAME	動作ログファイルのファイル名です。※1※2 ※3 デフォルトは Table.log です。
2	LOG_FILE_SIZE	動作ログファイルのサイズです[単位:MB]。 デフォルトは 8[MB]です。半角数値 0~16 を 指定可能です。0 を指定した場合はログが出 力されません。上記以外の場合は 10[MB]で 動作します。
3	LOG_KEEP_AMOUNT	動作ログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達 すると、タイムスタンプが付与されたファイ ル名にリネームされて退避されますが、本項 目は、動作ログファイル数の上限を定義しま す[単位:個]。ディレクトリ内に退避され蓄 積したファイル数が、本項目の定義値に達す ると、次回ログ退避時には、最古の退避ファ イルが上書されます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1~50 を 指定可能です。上記以外の場合はデフォルト 値で動作します。

表 4-1 障害復旧サポートツールの設定項目一覧

4	LOG_OUTPUT_DIR	動作ログ出力先ディレクトリです。
		デフォルトは table-log です。※1※2※3
5	TRACE_LOG_FILE_NAME	デバッグログファイルのファイル名です。
		デフォルトは Trace.log です。※1※2※3
6	TRACE_LOG_FILE_SIZE	デバッグログファイルのサイズです[単位 : MB]。
		デフォルトは8[MB]です。半角数値0~16を 指定可能です。0を指定した場合はログが出 力されません。上記以外の場合は10[MB]で 動作します。
7	TRACE_LOG_KEEP_AMOUNT	デバッグログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達 すると、タイムスタンプが付与されたファイ ル名にリネームされて退避されますが、本項 目は、デバッグログファイル数の上限を定義 します[単位:個]。ディレクトリ内に退避さ れ蓄積したファイル数が、本項目の定義値に 達すると、次回ログ退避時には、最古の退避 ファイルが上書されます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1~50 を 指定可能です。上記以外の場合はデフォルト 値で動作します。
8	TRACE_LOG_LEVEL	プログラムの中で指定したデバッグログの 出力レベルがこの項目で指定した値と同じ か高い場合にログを出力します。ログ出力レ ベルは高い順に次の3つがあります。 ・ERROR ・INFO ・DEBUG デフォルトは INFO です。
9	TRACE_LOG_OUTPUT	デバッグログを出力するかどうかを指定し ます。ON に設定するとログが出力され, OFF

		に設定するとログは出力されません。
		デフォルトは ON です。
10	TRACE_LOG_OUTPUT_DIR	デバッグログ出力先ディレクトリです。
		デフォルトは trace-log です。※1※2※3
11	config.difference.detection	コンフィグレーション収集時,前回収集した コンフィグレーションと比較して内容が変 更されているかを検知するかどうかを指定 します。 ON に設定すると前回収集と今回収集のコン フィグレーションを比較し,内容が変更され ている場合のみ今回収集のコンフィグレー ションを保存します。内容が変更されていな い場合にはコンフィグレーションを保存し ません。OFF に設定すると前回収集と今回収 集のコンフィグレーションの比較は行わず に,今回収集したコンフィグレーションファ イルを保存します。
		デフォルトは OFF です。
11	execute.duplex.system.update.mode	 冗長構成を取れる装置に対するソフトウェ ア更新方法を設定します。 「ACTIVE」を設定… 運用系に対してソフトウェア更新を実施します。 「STANDBY」を設定… 待機系に対してソフトウェア更新を実施します。 「AUTO」を設定… 待機系,運用系の順に、両系に対してソフトウェア更新を行います。 デフォルトは AUTO です。 [注意事項] ・冗長構成で運用不可の装置に対して、本設

		定値は無効です。 ・「AUTO」指定でソフトウェア更新を実施 した場合,旧待機系が運用系に,旧運用系 が待機系になりますので,必要に応じて, 装置のCLIから系の切戻しを実施してくだ さい。
		た場合,待機系が実装されていない場合に はエラーで終了します。
12	telnet.command.administrator.mode.password	装置の管理者モードのパスワードを指定します。※2
13	ftpserver.login.username	障害復旧管理 PC に搭載されている FTP サー バのユーザ名を半角英数字記号で指定しま す。※2
14	ftpserver.login.password	障害復旧管理 PC に搭載されている FTP サー バのユーザ名のパスワードを半角英数字記 号で指定します。※2
15	ftpserver.home.directory	装置から障害復旧管理 PC にバックアップ情報を送付するディレクトリを指定します。※ 2
		(ネットワークドライブは指定できません。)
		ftpserver.login.username および
		ftpserver.login.password で指定したユーザが,
		このアイレクトリに対して読み取り・書さ込みできるよう。アクセス権を設定しておく必
		要があります。
16	ftpserver.ipaddress	障害復旧管理PCのIPv4アドレスを指定します。
17	common.appinstcheck.port	本ツールが既に起動しているかどうかを確 認する際に利用する TCP ポート番号です。 5001~65535 の範囲から指定します。デフォ ルトは 9481 です。本ツールのデフォルトで ある TCP ポート 9481 が既に使用されてお

		り,別のTCP ポート番号へ変える場合,他 のアプリケーションで利用しているTCP ポ ート番号と重ならないように設定してくだ さい。他のアプリケーションが使用している TCP ポート番号を確認するには,コマンドプ ロンプト上で"netstat -an"コマンドを実行し て,使用しているポートを確認してくださ い。※4
18	backup.destination	AX2500S シリーズの装置に対してバックア ップを行った際のバックアップ収集先を指 定します。 「SERVER」を設定…
		装置から障害復旧用 PC 上にバックアップフ ァイルを取得します。取得したファイルはバ ックアップファイル格納先ディレクトリに 格納され,本ツールの管理下に置かれます。 ※5
		「MC」を設定… 装置のスロットに挿入された MC にバック アップファイルを出力します。MC に格納さ れたバックアップファイルは、別途「MC か らバックアップ収集」操作を実施することで 本ツールの管理下に置くことができます。 ※6 デフォルトは SERVER です。
19	telnet.pager.enable	 AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S/ AX3800S/AX3600S/AX2400S シリーズ,および AX2500S Ver.3.3.A 以降の装置に対してバックアップ収集を行った後,装置のページャ設定を有効に設定するかどうかを指定します。 「ON」を設定…装置のページャ設定を有効にします 「OFF」を設定…装置のページャ設定を無効

		にします
		デフォルトは ON です。
		 AX2500S Ver.3.3 以前 /AX2200S/AX2100S/AX1200S シリーズでは、 本設定項目の内容にかかわらず、以下の動作 となります。 AX2500S シリーズ Ver.3.3 以前…装置のページャ設定は常に有効になります。 AX2200S/AX2100S/AX1200S シリーズ…set terminal pager {enable disable} save コマンドの設定に従います。
20		
20	common.format.nodeinfo.import.duplicate.entry	装置情報のインポートを行う際,インポート対象の装置情報の IP アドレスが,ツールが保持 している既存の装置情報の IP アドレスと同じ 場合,インポート対象の装置情報を読み飛ばす か,既存の装置情報をインポート対象の装置情 報で入れ替えるかを指定します。 ・SKIP…インポート対象の装置情報を読み飛ば

※1…ディレクトリ名およびファイル名として利用できない文字を設定した場 合にはログが出力されなくなりますのでご注意ください。

※2…設定ファイル上では,指定値に以下の文字を含む場合,その文字の前に ¥(半角円記号)を追加して指定してください。

[対象の文字]

¥ # ! = :

例:値 C:¥Documents and Settings¥operator#1¥trace を指定する場合

→設定ファイルでの指定値(下線部が追加指定分)

C<u>¥</u>:<u>¥</u>¥Documents and Settings<u>¥</u>¥operator<u>¥</u>#1<u>¥</u>¥trace

※3…AX-Networker's-Utilityの他のツールを利用している場合,

共通のディレクトリ名およびファイル名を指定しないでください。

※4…本ツール用の TCP ポート番号が使用されているかどうかを確認するには コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr ":9481"

本ツール用の TCP ポート番号が使用されている場合には,以下のように 表示されます。左から2番目の文字列の末尾が "<u>:9481</u>" になります。

TCP127.0.0.1:94810.0.0.0:0LISTENING本ツール用のTCP ポート番号が使用されていない場合には、何も表示されません。

本ツールおよび他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号を 確認するには, コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してくださ い。

netstat -an | findstr "TCP"

本ツールおよび他のアプリケーションで利用しているポート番号は,以下 のように表示されます。左から2番目の文字列の:文字の後ろが TCP ポ ート番号です。

ТСР	0.0.0:135	0.0.0.0:0	LISTENING
ТСР	0.0.0.0:445	0.0.0.0:0	LISTENING
ТСР	127.0.0.1:9481	0.0.0:0	LISTENING
:	:	:	:

(以下省略)

本ツールで利用する TCP ポート番号をデフォルトから変更する場合には 上記の利用しているポート番号以外を指定してください。

- ※5…AX2500S Ver.3.2.A 以下, AX2200S/AX2100S/AX1200S シリーズの装置に 対しては、「SERVER」を設定している場合であっても MC へのバックア ップを行います。
- ※6…AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S/AX3800S/AX3600S/AX2400S シリ ーズの装置に対しては「MC」を設定している場合であっても障害復旧用 PC 上へのバックアップを行います。

5. トラブルシューティング

この章では,障害復旧サポートツールのトラブルシューティングについて説明 します。

 5.1
 トラブル発生時の対応

 5.2
 メッセージー覧

5.3 ログファイル

5.1 トラブル発生時の対応

本ツールの操作中に発生するトラブルへの対応方法を解説します。

表 5-1 トラブル発生時の対応方法

項番	現象
	原因
	対応方法
1	ツールの操作により,[装置情報設定]画面や,[グループ情報設定]画面等の画面を開いた
	ところ、入力項目のないグレーの画面が表示された。
	ツールの操作により画面を開いた際、まれに、入力項目のないグレーの画面が表示され
	る場合があります。
	一度[×]ボタンで画面を閉じ,操作を再度行って画面を開き直してください。
2	運用バージョン取得操作/コンフィグレーション収集操作/バックアップ収集操作/ソフト
	ウェア更新操作を行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操
	作が失敗終了した。
	メッセージ:
	・「[操作名]に失敗しました。(エラーメッセージ:[エラーメッセージ])」
	または、コンフィグレーション収集/バックアップ収集の予約実行が実施されたところ、
	ログ情報テーブルに上記アップロード失敗のメッセージが表示された。
	以下が原因として考えられます。
	①ツールに登録した装置の IP アドレスが誤っている。
	②「2.2 装置の設定を行う」に記載の設定が行われていない。
	③装置側の設定,もしくは,障害復旧管理 PC(本ツールを起動しているサーバ)側のネ
	ットワーク設定に起因して,障害復旧管理 PC と,装置間が,通信不可の状態になってい
	る。
	④障害復旧管理 PC(本ツールを起動しているサーバ)と,装置間の回線が物理的に切断
	している。
	①または②に問題が無いかどうか、確認してください。
	①が原因の場合は,[装置]-[編集]操作により,装置の IP アドレスを修正したのち,操作
	を再度実行してください。
	②が原因の場合は、「 <u>2.2 装置の設定を行う</u> 」の内容に従って装置の設定を行った後、操
	作を再度実行してください。

	①,②に問題が無い場合は、③または④について確認し、障害復旧管理 PC と、装置間を
	通信可能な状態に復旧してください。
3	「リストア用 MC 作成」操作で作成したリストア用 MC を装置のスロットに挿入し, MC
	アクセスランプが消灯してから MC を装置のスロットから取り外したがリストアが行わ
	れない(装置がリブートしない)。なお,MC 内に出力されたログ,および装置のコンソ
	ール画面には下記のメッセージが表示されている。
	・MC内に出力されたログ(ファイル名は「ax_mlog.txt」)には、「Succeeded to restore.」の
	メッセージが出力されている。(リストアは正常終了している。)
	・装置のコンソール画面には、「Maintenance Script ax_restore is finished with errors」のメ
	ッセージが出力されている。
	リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報に含まれるソフトウェアファ
	イルが破損している可能性があります。
	リストア用 MC は本ツールからの「バックアップ収集」または「MC からバックアップ収
	集」操作により収集した情報から作成しますが、バックアップ収集を行ったときに、バッ
	クアップ収集対象の1つである装置のソフトウェアファイル※1が破損しており、その結
	果, 破損したソフトウェアファイルを含んだリストア用 MC が作成されたことが原因の
	可能性があります。
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには,装置に格納されている下記のログファイルの内
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt,または、/var/log/ax_mlog2.txt
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt, または、/var/log/ax_mlog2.txt
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt, または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因で
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt、または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因です。
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt, または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因です。
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt, または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因です。 この場合、作成したリストア用 MC、および、リストア用 MC 作成時に指定した装置のバ
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt, または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因です。 この場合、作成したリストア用 MC、および、リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには,装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt,または,/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は,上記が原因です。 この場合,作成したリストア用 MC,および,リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報がない場を指定してリストア用 MC を再度作成してください。代替のバックアップ情報がない場
	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには,装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt,または,/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は,上記が原因です。 この場合,作成したリストア用 MC,および,リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報がない場を指定してリストア用 MC を再度作成してください。代替のバックアップ情報がない場合は,「ソフトウェア更新」操作により装置のソフトウェア更新を行い,「コンフィグ
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt、または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因です。 この場合、作成したリストア用 MC、および、リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報がない場合は、「ソフトウェア更新」操作により装置のソフトウェア更新を行い、「コンフィグ復帰用 MC 作成」操作により装置のコンフィグレーションを復帰してください。(なお、
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには、装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt、または、/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は、上記が原因です。 この場合、作成したリストア用 MC、および、リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報がない場を指定してリストア用 MC を再度作成してください。代替のバックアップ情報がない場合は、「ソフトウェア更新」操作により装置のソフトウェア更新を行い、「コンフィグ 復帰用 MC 作成」操作により装置のコンフィグレーションを復帰してください。(なお、コンフィグレーション以外の設定情報は別途復旧する必要があります。)
4	 ※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには,装置に格納されている下記のログファイルの内容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt, または, /var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は,上記が原因です。 この場合,作成したリストア用 MC,および,リストア用 MC 作成時に指定した装置のバックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報がない場を指定してリストア用 MC を再度作成してください。代替のバックアップ情報がない場合は,「ソフトウェア更新」操作により装置のソフトウェア更新を行い,「コンフィグ復帰用 MC 作成」操作により装置のコンフィグレーションを復帰してください。(なお,コンフィグレーション以外の設定情報は別途復旧する必要があります。) 「バックアップ用 MC 作成」操作で作成したバックアップ用 MC を装置のスロットに挿
4	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。 上記が原因であることを確認するには,装置に格納されている下記のログファイルの内 容を確認します。 /var/log/ax_mlog.txt,または,/var/log/ax_mlog2.txt ログファイルにメッセージ「Failed to ppupdate.」が出力されている場合は,上記が原因で す。 この場合,作成したリストア用 MC,および,リストア用 MC 作成時に指定した装置のバ ックアップ情報は破損している為使用することができません。代替のバックアップ情報 を指定してリストア用 MC を再度作成してください。代替のバックアップ情報がない場 合は,「ソフトウェア更新」操作により装置のソフトウェア更新を行い,「コンフィグ 復帰用 MC 作成」操作により装置のコンフィグレーションを復帰してください。(なお, コンフィグレーション以外の設定情報は別途復旧する必要があります。) 「バックアップ用 MC 作成」操作で作成したバックアップ用 MC を装置のスロットに挿 入したが,MC アクセスランプが点滅しバックアップが行われない。なお,MC 内に出力

	ている。		
	• Failed to backup.		
	• Error at run insert script. script ax_backup return 1.		
	Maintenance Script ax_backup is finished with errors.		
	装置モデルが AX6700S, AX6600S, AX6300S, AX4600S, AX3800S, AX3600S, AX2400S		
	の場合は、以下が原因として考えられます。(装置モデルが AX2500S, AX2200S, AX2100S,		
	AX1200Sの装置の場合は以下が原因でバックアップに失敗することはありません。)		
	①作成したバックアップ用MCはソフトウェアをバックアップ対象とするMCであるが、		
	装置にソフトウェアファイル※1が格納されていないことが原因の可能性があります。		
	②装置の装置名に英数字と"-"(ハイフン), "_"(アンダースコア), "."(ピリオド)以		
	外の文字を使用しているとバックアップ収集に失敗します。		
	※1 格納場所は/usr/var/update/k.img です。		
	装置モデルが AX6700S, AX6600S, AX6300S, AX4600S, AX3800S, AX3600S, AX2400S		
	の場合、以下を行います。		
	①装置にソフトウェアファイル※2 を格納してからバックアップ用 MC を装置のスロッ		
	トに挿入してください。		
	②装置の装置名に英数字と"-"(ハイフン), "_"(アンダースコア), "."(ピリオド)以		
	外の文字を含めないよう、装置名を修正してください。		
	※2 格納場所は/usr/var/update/k.img です。		
5	本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセ		
	ージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。		
	・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。 (エラーメッセージ: An error		
	occurred in update.)		
	・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」		
	装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されて		
	いる等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセー		
	ジが表示される場合があります。		
	※1 /usr/var/update 配下です。		
	ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。		
6	本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア		
	更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラ		
	一終了した。		
	・「待機系のソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in		
	update.) 」		
	・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」		
	なお,ソフトウェアファイル転送先※1の空き容量には問題がない。		
---	--	--	--
	※1 /usr/var/update 配下です。		
	待機系の空き容量が不足している可能性があります。待機系のソフトウェア更新を行う		
	際には、本ツールが運用系に転送したソフトウェアファイルが待機系の /usr/var/update		
	配下にコピーされますが、待機系のソフトウェアファイル転送先※1に、ソフトウェアフ		
	ァイルをコピーするだけの空き容量がない可能性があります。		
	※1 待機系の/usr/var/update 配下です。		
	待機系のソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してく		
_	ださい。		
7	グループまたは装置の削除操作,装置の IP アドレスの変更操作を行うと,操作前に格納		
	されていたコンフィグレーションファイル、バックアップファイルが残留する。		
	グループまたは装置の削除操作,装置の IP アドレスの変更操作を実施した際,操作対象		
	のグループまたは装置がコンフィグレーション収集済み、バックアップ収集済みである		
	場合、収集済みの情報を格納したファイルは削除されません。		
	削除したグループに所属していた装置,削除した装置, IP アドレスを変更した装置の収		
	集済みのコンフィグレーションファイルおよびバックアップファイルを手動で削除して		
	ください。コンフィグレーションファイル,バックアップファイルのファイル名は「 <u>2.4.7</u>		
	<u>コンフィグレーションや装置情報を収集する (1) 即時実行で収集する</u> 」を参照してくだ		
	さい。なお,装置の IP アドレスを変更した場合,削除するコンフィグレーションファイ		
	ル,バックアップファイルのファイル名は変更前の IP アドレスを含むものになりますの		
	で、間違えないよう注意してください。		
8	障害復旧ウィザードで以下のメッセージが表示され、操作がエラー終了した。		
	「MC を取り出し, MC の中にエラーログが出力されているかどうか確認してください。		
	また、装置のコンソール画面上にエラーメッセージが表示されているかどうか確認して		
	ください。MCの中にエラーログが出力されている場合や,装置のコンソール画面上にエ		
	ラーメッセージが表示されている場合は、ユーザーズガイドのトラブルシューティング		
	または、エラーメッセージー覧の、出力されたメッセージに関する説明を参照してくだ		
	さい。」		
	MC の処理が失敗している可能性があります。		
	以下を確認してください。		
	・MC の中にエラーログが出力されている場合		
	「 <u>5.2 メッセージー覧 (3)MC の詳細ログに格納されるメッセージー覧</u> 」を参照し,		
	出力されているエラーログがメッセージテキストにあるかを確認します。		
	・装置のコンソール画面上にエラーメッセージが出力されている場合(装置のコンソー		
	ル画面上にエラーメッセージが出力されない場合もありますが, MC アクセスランプが点		
	滅していればこちらに該当します)		

	以下の情報を確認してください。		
	①ログファイル /var/log/ax_mlog.txt および /var/log/ax_mlog2.txt のエラーログ		
	②運用コマンド show logging の表示結果に含まれるエラーログ		
9	運用バージョン取得操作/コンフィグレーション収集操作/ソフトウェア更新操作を行		
	たところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。		
	メッセージ:		
	・「[操作名]に失敗しました。(要因:オペレーションに失敗,エラーメッセージ:ERR0300 :		
	Fatal error. Cannot generate 'message ID' for connection.)		
	または、コンフィグレーション収集の予約実行が実施されたところ、ログ情報テーブル		
	に上記アップロード失敗のメッセージが表示された。		
	ツールと装置間の通信時に利用するファイルの内容が不正な内容になっていることが原		
	因として考えられます。		
	以下のファイルを削除して、実施した操作を再度行ってください。		
	<targetdir>¥BackupRecoveryTool¥message.count</targetdir>		
	<targetdir>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ</targetdir>		
	デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility		
10	AX2500S, AX2200S, AX2100S および AX1200S シリーズの装置を管理対象にしてい		
	合,以下の画面操作を実施した際や以下の事象が発生した際に,以下のエラーメッセー		
	ジが表示される。		
	[画面操作]		
	・[バックアップ収集]を行った		
	[事象]		
	・スケジュール実行で AX2500S, AX2200S, AX2100S および AX1200S シリーズ装置か		
	らバックアップ収集を実施した		
	[エラーメッセージ]		
	バックアップ収集に失敗しました。 (エラーメッセージ: The command execution failed,		
	because "xxx" is executing.)		
	xxx…console, vty0~vty15 のいずれか		
	上記[画面操作]を行った際または[事象]が発生した際, AX2500S, AX2200S, AX2100S お		
	よび AX1200S シリーズの装置の CLI 上で,以下のように他のコマンドが実行されている		
	最中だったことが考えられます。		
	①表示結果が1画面に収まらない場合にページングのための入力待ちになっている(例:		
	show running-config 等)		
	②ページングのための入力待ち以外の場合、コマンドの実行に時間がかかっている		
	③バックアップコマンドが終了しないため、装置に対して操作ができない状態になって		

	いる		
	以下の条件をすべて満たす場合,装置に対しての操作ができなくなります。		
	・ 対象装置が AX2500S Ver.3.2.B および Ver.3.2.C である		
	・ 設定ファイル BackupRecoveryTool.properties で, backup.destination=SERVER を		
	指定している		
	 本操作の前回操作時,通信断等の原因でバックアップ収集に失敗している 		
	その結果、障害復旧サポートツールからの操作が失敗します。		
	①および②の場合、まず、他のコマンドの実行を終了させてください。		
	③の場合,対象装置 AX2500S の電源を切断後,再度電源を投入してください。		
	①,②,③の対処の後,以下を実行してください。		
	画面操作時に本エラーが発生した場合には、その画面操作を再実施してください。		
	事象発生時に本エラーが発生した場合には、画面操作から[バックアップ収集]を行ってく		
	ださい。		
11	以下の画面操作を実施した際や以下の事象が発生した際に、以下のエラーメッセージが		
	出力される。		
	[画面操作]		
	・[バックアップ収集]を行った。		
	[事象]		
	・スケジュール実行でバックアップ収集を実施した。		
	[エラーメッセージ]		
	バックアップ収集に失敗しました。 (エラーメッセージ: Connection is closed by the peer.)		
	以下が原因として考えられます。		
	①対象装置が AX2500S, AX2200S, AX2100S および AX1200S シリーズの装置の場合,		
	ツール設定画面から設定した装置のログインユーザ名が装置仕様の文字数を超過してい		
	る可能性があります。		
	②対象装置と通信中に通信が切断された可能性があります。		
	①装置のログインユーザ名とツール設定画面のログインユーザ名が一致するように修正		
	したのち,操作を再度実行してください。		
	②障害復旧管理 PC と、装置間を通信可能な状態に復旧してください。		
12	ツールのメインメニューから[障害復旧]-[エキスパート]-[ソフトウェア更新]操作を		
	行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。		
	・「装置の再起動確認に失敗しました。(エラーメッセージ:装置が障害中です。)」		
	ツールが起動状態の確認を行った際、装置が初期化処理を実行しており、装置状態が一		
	中央にアナシャウにも、アンナランド国コンアオンシャナト		

	ツールのメインメニューから[情報収集]-[実行]-[運用バージョン取得]操作を行い,装置の
	ソフトウェアバージョンを確認してください。表示された装置の「運用バージョン」が、
	ソフトウェア更新時の「更新バージョン」と異なる場合、再度ツールのメインメニュー
	から[障害復旧]-[エキスパート]-[ソフトウェア更新]操作を実施してください。
13	ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに AX2500S および AX2500SE 用のソフトウェ
	アファイルを混在して格納させた状態で、AX2500S または AX2500SE に対してソフトウ
	ェア更新の[実行]操作を行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示さ
	れ、操作が失敗終了した。
	・「ソフトウェアファイルのアップロードに失敗しました。(エラーメッセージ:'[ソフ
	トウェアファイルのパス名]' not found.)」
	ソフトウェア更新対象装置用に装置情報テーブルの[更新バージョン]列で選択したバー
	ジョンに対応する装置のソフトウェアファイルが存在しません。
	ソフトウェアファイル格納先ディレクトリの内容を確認し、ソフトウェア更新対象装置
	用のソフトウェアファイルが存在することを確認してください。ソフトウェアファイル
	のファイル名については「 <u>3.2.5 ソフトウェア更新</u> 」を参照してください。ソフトウェア
	ファイルが存在することを確認できたら、再度ソフトウェア更新の[実行]操作を実施して
	ください。

5.2 メッセージー覧

(1) 障害復旧サポートツールのダイアログ表示メッセージー覧

障害復旧サポートツールのダイアログ上で表示されるメッセージの一覧を次の 表に示します。

表 5-2 ダイアログ表示メッセージー覧

項番	メッセージ	内容
1	グループ名は 1~32 文字の文字列で	グループ名の入力値が不正です。
	入力してください。	
2	そのグループ名を持つグループは既	グループ名はツール上で一意にする必要
	に存在します。	があります。
3	IPアドレスは10進ドット記法のIPv4	IP アドレスの入力値が不正です。
	アドレスで入力してください。	
4	その IP アドレスを持つ装置は既に存	IPアドレスはツール上で一意にする必要
	在します。	があります。
5	装置名は 0~64 文字の文字列で入力	装置名の入力値が不正です。
	してください。	
6	その IP アドレスは装置に設定できな	以下の IP アドレスは入力できません。
	いアドレスです。 再度入力してくださ	• 0.*.*.*
	<i>د</i> ، .	• 127.*.*.*
		• 224~255.*.*.*
		*…0~255
7	ユーザは 1 文字以上の半角文字で入	装置ユーザ名の入力値が不正です。
	力してください。	
8	ユーザは 6~16 文字の半角英数字で	ソフトウェア更新用ユーザ名の入力値が
	入力してください。	不正です。
9	パスワードは 6~16 文字の半角英数	ソフトウェア更新用パスワードの入力値
	字で入力してください。	が不正です。
10	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定ファイル
		「BackupRecoveryTool.properties」の保存
		に失敗しました。本メッセージが表示さ
		れた場合は、設定ファイルを外部のエデ
		ィタ等で開いたままの状態にしていない

		か、あるいは、設定ファイルが読み取り
		専用属性になっていないかを確認してく
		ださい。
11	本ツールは同時に2つ以上起動でき	本ツールがすでに起動しているか、本ツ
	ません。またはポートが使用されてい	ールが使用する TCP ポート (デフォルト
	ます。終了します。	は 9481)が使用されています。
		別のアプリケーションで TCP ポート
		9481 が利用されている場合は, そのアプ
		リケーションを終了させるか, 「 <u>4.2 設</u>
		定項目一覧」記載の
		common.appinstcheck.portの値を変更して
		本ツールを起動させてください。
12	本ツールの起動チェックに失敗しま	本ツールの2重起動チェックに失敗しま
	した。終了します。	した。本メッセージが表示された場合,
		再度操作を行ってください。再度操作を
		行っても表示される場合は、販売元に問
		い合わせてください。
13	現在よりも過去の日時を指定したス	[スケジュール] 画面から過去の日時を
	ケジュールを登録します。このスケジ	指定したスケジュールを登録しようとし
	ュールは[スケジュール設定を有効に	た際に表示されるメッセージです。
	する]チェックを OFF にした状態で登	
	録します。宜しいですか?	
14	装置情報ファイルの上書き保存に失	装置情報ファイルの上書き保存に失敗し
	敗しました。	ました。本メッセージが表示された場合
		は、装置情報ファイルを外部のエディタ
		等で開いたままの状態にしていないか,
		あるいは、装置情報ファイルが読み取り
		専用属性になっていないかを確認してく
		ださい。
15	装置情報ファイルの保存に失敗しま	装置情報ファイルの保存に失敗しまし
	した。	た。本メッセージが表示された場合は、
		装置情報ファイルを外部のエディタ等で
		開いたままの状態にしていないか、ある
		いは、装置情報ファイルが読み取り専用
		属性になっていないか、確認してくださ
		۷ ^۰ ۰

16	スケジュール情報ファイルの上書き	スケジュール情報ファイルの上書き保存
	保存に失敗しました。	に失敗しました。本メッセージが表示さ
		れた場合は、スケジュール情報ファイル
		を外部のエディタ等で開いたままの状態
		にしていないか, あるいは, スケジュー
		ル情報ファイルが読み取り専用属性にな
		っていないか、確認してください。
17	スケジュール情報ファイルの保存に	スケジュール情報ファイルの保存に失敗
	失敗しました。	しました。本メッセージが表示された場
		合は、スケジュール情報ファイルを外部
		のエディタ等で開いたままの状態にして
		いないか,あるいは,スケジュール情報
		ファイルが読み取り専用属性になってい
		ないか,確認してください。
18	装置情報ファイル名に「_schedule」を	装置情報ファイル名に「_schedule」を含
	含めることはできません。	めることはできません。
	他のファイル名を指定してください。	
19	曜日を少なくとも 1 つ選択してくだ	[スケジュール設定]画面で,「毎週」の
	さい。	スケジュールを選択しているが「曜日」
		を1つも選択していない状態で, [OK]ボ
		タンを押下した場合に、本メッセージが
		表示されます。
20	同一のスケジュールが既に登録され	同一のグループに対して、同一のスケジ
	ています。異なるスケジュールを登録	ュールを複数登録することはできませ
	してください。	h.
21	グループ指定,スケジュール実行内	同一のグループに対して、実行内容、実
	容,スケジュール実行日時の全てが重	行日時が重なるスケジュールを複数登録
	なるスケジュールが登録されていま	することはできません。
	す。	
	同一グループに対してコンフィグレ	
	ーション収集を同時に実行,または,	
	バックアップ収集を同時に実行する	
	ことはできない為, グループ指定, ス	
	ケジュール実行内容,スケジュール実	
	行日時の全てが重ならないようスケ	
	ジュールを登録してください。	

22	スケジュール実行内容を少なくとも1	スケジュール実行内容を未選択のまま登
	つ選択してください。	録しようとした場合に本メッセージが表
		示されます。
23	ディレクトリの作成に失敗しました。	[ツール設定]画面で,コンフィグレーシ
	再度入力してください。	ョン格納先ディレクトリまたはバックア
		ップファイル格納先ディレクトリの作成
		に失敗した場合に本メッセージが表示さ
		れます。
24	コンフィグレーション格納先ディレ	[ツール設定]画面で,コンフィグレーシ
	クトリの記述に使用できない文字が	ョン格納先ディレクトリに、使用不可文
	含まれます。	字「*」,「?」,「"」,「<」,「>」,「 」の
	再度入力してください。	いずれかが含まれている状態で, [OK],
		または,[適用]ボタンを押下した場合に
		本メッセージが表示されます。
25	バックアップファイル格納先ディレ	[ツール設定]画面で, バックアップファ
	クトリの記述に使用できない文字が	イル格納先ディレクトリに、使用不可文
	含まれます。	字「*」,「?」,「"」,「<」,「>」,「 」の
	再度入力してください。	いずれかが含まれている状態で, [OK],
		または,[適用]ボタンを押下した場合に
		本メッセージが表示されます。
26	ソフトウェアファイル格納先ディレ	[ツール設定]画面で,ソフトウェアファ
	クトリの記述に使用できない文字が	イル格納先ディレクトリに、使用不可文
	含まれます。	字「*」,「?」,「"」,「<」,「>」,「 」の
	再度入力してください。	いずれかが含まれている状態で, [OK],
		または,[適用]ボタンを押下した場合に
		本メッセージが表示されます。
27	コンフィグレーション格納先ディレ	[ツール設定]画面で,コンフィグレーシ
	クトリを入力してください。	ョン格納先ディレクトリが未指定のま
		ま, [OK], または, [適用]ボタンを押下
		した場合に本メッセージが表示されま
		す。
28	バックアップファイル格納先ディレ	[ツール設定]画面で, バックアップファ
	クトリを入力してください。	イル格納先ディレクトリが未指定のま
		ま, [OK], または, [適用]ボタンを押下
		した場合に本メッセージが表示されま
		す。

29	ソフトウェアファイル格納先ディレ	[ツール設定]画面で, ソフトウェアファ
	クトリを入力してください。	イル格納先ディレクトリが未指定のま
		ま, [OK], または, [適用]ボタンを押下
		した場合に本メッセージが表示されま
		す。
30	装置情報が保存されていません。保存	ツール上の情報が装置情報ファイルに未
	しますか?	保存の状態で、新規作成、開く、終了を
		実行しようとした場合に表示されるメッ
		セージです。
31	グループ [グループ名] を削除しま	グループの削除を行う際に表示される確
	すか?	認メッセージです。
32	グループ [グループ名] を削除しま	スケジュールが登録されているグループ
	す。 グループ [グループ名] に設定さ	を削除する際に表示される確認メッセー
	れているスケジュール情報も合わせ	ジです。
	て削除します。よろしいですか?	
33	装置 [IP アドレス(装置名)] を削除し	装置の削除を行う際に表示される確認メ
	ますか?	ッセージです。
34	[ディレクトリ]に削除する装置の[フ	装置を削除する際, コンフィグレーショ
	ァイル]が格納されています。	ン格納先ディレクトリやバックアップフ
	これらのファイルは装置を削除した	ァイル格納先ディレクトリ内にコンフィ
	後もディレクトリ内に残りますので、	グレーションやバックアップファイルが
	装置を完全に削除する場合はファイ	残留することを確認するメッセージで
	ルを手動で退避または削除してくだ	す。
	さい。	
	宜しいですか?	
35	[ディレクトリ]に削除するグループ	グループを削除する際、コンフィグレー
	内の装置の[ファイル]が格納されて	ション格納先ディレクトリやバックアッ
	います。	プファイル格納先ディレクトリ内にコン
	これらのファイルはグループを削除	フィグレーションやバックアップファイ
	した後もディレクトリ内に残ります	ルが残留することを確認するメッセージ
	ので,グループを完全に削除する場合	です。
	はファイルを手動で退避または削除	
	してください。	
	宜しいですか?	
36	装置の IP アドレスを変更する場合,	装置の IP アドレスを変更する際, 収集済
	これまでに収集した[ファイル]は同	みのコンフィグレーションやバックアッ

	装置のファイルとして使用できなく	プファイルが IP アドレス変更後のファ
	なります。	イルとして利用できなくなることを確認
	これらのファイルは装置の IP アドレ	するメッセージです。
	スを変更した後もディレクトリ内に	
	残りますので,変更前 IP アドレスの	
	装置を完全に削除する場合はファイ	
	ルを手動で退避または削除してくだ	
	さい。 宜しいですか?	
37	[ディレクトリ]に装置の[ファイル]が	装置情報ファイル新規作成の際に、旧装
	格納されています。	置情報ファイルに対応したコンフィグレ
	これらのファイルは装置情報をクリ	ーション,バックアップファイルがコン
	アした後もディレクトリ内に残りま	フィグレーション格納先ディレクトリ,
	すので,装置を完全に削除する場合は	バックアップファイル格納先ディレクト
	ファイルを手動で退避または削除し	リに残留することを知らせるメッセージ
	てください。	です。
	宜しいですか?	
38	選択されたスケジュールを削除しま	スケジュールの削除を行う際に表示され
	すか?	る確認メッセージです。
39	グループ [グループ名] に対して,運	運用バージョン取得を行う際に表示され
	用バージョン取得を行いますか?	る確認メッセージです。
40	グループ [グループ名] に対して, コ	グループに対してコンフィグレーション
	ンフィグレーション収集を行います	収集を行う際に表示される確認メッセー
	か?	ジです。
41	グループ [グループ名] に対して, バ	グループに対してバックアップ収集を行
	ックアップ収集を行いますか?	う際に表示される確認メッセージです。
42	装置 [IP アドレス(装置名)] のリスト	リストア用 MC 作成を行う際に表示され
	ア用 MC を作成しますか?	る確認メッセージです。
43	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	バックアップ用 MC 作成を行う際に表示
	アップ用 MC を作成しますか?	される確認メッセージです。
44	装置 [IP アドレス(装置名)] のコンフ	コンフィグレーション復帰用 MC 作成を
	ィグレーション復帰用 MC を作成し	行う際に表示される確認メッセージで
	ますか?	す。
45	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	バックアップ済 MC からバックアップ収
	アップ済 MC からバックアップ収集	集を行う際に表示される確認メッセージ
	を行いますか?	です。
46	グループ [グループ名] に対して, ソ	グループに対してソフトウェア更新を行

	フトウェア更新を行いますか?	う際に表示される確認メッセージです。
47	MC の作成を中止しました。障害復旧	実行中画面で〔キャンセル〕ボタンを押
	ウィザードを終了します。	下して MC の作成を中止した際に表示さ
		れる確認メッセージです。
48	障害復旧ウィザードを中止します。宜	障害復旧ウィザードで〔キャンセル〕ボ
	しいですか?	タンを押下した際に表示される確認メッ
		セージです。
49	指定されたコンフィグレーション格	[ツール設定] 画面で指定されたコンフ
	納先ディレクトリは存在しません。作	ィグレーション格納先ディレクトリが存
	成しますか?	在しない場合に表示される確認メッセー
		ジです。
50	指定されたバックアップファイル格	[ツール設定] 画面で指定されたバック
	納先ディレクトリは存在しません。作	アップファイル格納先ディレクトリが存
	成しますか?	在しない場合に表示される確認メッセー
		ジです。
51	グループ内に装置情報が存在しませ	空のグループに対して,ダウンロード/
	\mathcal{N}_{\circ}	アップロードを行う際に表示されるエラ
		ーメッセージです。
52	MC 内にディレクトリまたはファイ	リストア用 MC 作成, バックアップ用
	ルが存在します。フォーマット済で中	MC 作成, コンフィグレーション復帰用
	身が空の MC を用意した後, 再度実行	MC 作成の際, MC リーダ/ライタに挿入
	してください。	された MC の中にディレクトリまたはフ
		ァイルが存在する場合に表示されるメッ
		セージです。
53	MC 内にバックアップファイルが格	MC からバックアップ収集を行おうとし
	納されていないか, 複数のバックアッ	ましたが, MC 内にバックアップファイ
	プファイルが格納されています。バッ	ルが存在しない、または複数のバックア
	クアップファイルが 1 つだけ格納さ	ップファイルが存在し, バックアップ収
	れた MC に対して操作を行ってくだ	集に失敗した場合に表示されるメッセー
	さい。	ジです。
54	MC のドライブが選択されていませ	障害復旧ウィザード,リストア用 MC 作
	ん。[ツール設定]画面で MC のドライ	成, バックアップ用 MC 作成, コンフィ
	ブを指定した後, 操作を再実行してく	グレーション復帰用 MC 作成, MC から
	ださい。	バックアップ収集の際, [ツール設定]画
		面で MC のドライブが未設定の場合に表
		示されるメッセージです。

55	使用するバックアップファイルを選	バックアップファイルの選択時,バック
	択してください。	アップファイルが未指定の場合に表示さ
		れるメッセージです。
56	バックアップファイルのパスの記述	バックアップファイルの選択時,バック
	に使用できない文字が含まれます。	アップファイルのバス名に使用できない
	再度入力してください。	文字が含まれる場合に表示されるメッセ
		ージです。
57	バックアップファイルが存在しませ	バックアップファイルの選択時,指定し
	ん。再度入力してください。	たバックアップファイルが存在しない場
		合に表示されるメッセージです。
58	最新のバックアップファイルが存在	バックアップファイルの選択時,指定し
	しないか,または,最新のバックアッ	たバックアップファイルが存在しない
	プファイルにアクセスできません。	か,バックアップファイルにアクセスで
		きない場合に表示されるメッセージで
		す。
59	使用するコンフィグレーションを選	コンフィグレーションの選択時, コンフ
	択してください。	ィグレーションが未指定の場合に表示さ
		れるメッセージです。
60	コンフィグレーションのパスの記述	コンフィグレーションの選択時, コンフ
	に使用できない文字が含まれます。	ィグレーションのバス名に使用できない
	再度入力してください。	文字が含まれる場合に表示されるメッセ
		ージです。
61	コンフィグレーションが存在しませ	コンフィグレーションの選択時,指定し
	ん。再度入力してください。	たコンフィグレーションが存在しない場
		合に表示されるメッセージです。
62	最新のコンフィグレーションが存在	コンフィグレーションの選択時,指定し
	しないか, または, 最新のコンフィグ	たコンフィグレーションが存在しない
	レーションにアクセスできません。	か,コンフィグレーションにアクセスで
		きない場合に表示されるメッセージで
		す。
63	MC の作成に失敗しました。障害復旧	MC 作成処理に失敗した場合に表示され
	ウィザードを終了します。	るメッセージです。
64	実行結果を選択してください。	障害復旧ウィザードで、実行結果が未選
		択の場合に表示されるメッセージです。
65	装置のログインユーザが未設定です。	バックアップ収集を即時実行した際,[ツ
	[ツール設定]画面で装置のログイン	ール設定]画面で装置のログインユーザ

	ユーザを設定した後,操作を再実行し	が未設定の場合に表示されるメッセージ
	てください。	です。
66	ソフトウェア更新ユーザが未設定で	ソフトウェア更新を実行した際,[ツール
	す。[ツール設定]画面でソフトウェア	設定]画面でソフトウェア更新ユーザが
	更新ユーザを設定した後,操作を再実	未設定の場合に表示されるメッセージで
	行してください。	す。
67	ソフトウェア更新ユーザのパスワー	ソフトウェア更新を実行した際, [ツール
	ドが未設定です。[ツール設定]画面で	設定]画面でソフトウェア更新ユーザの
	ソフトウェア更新ユーザのパスワー	パスワードが未設定の場合に表示される
	ドを設定した後, 操作を再実行してく	メッセージです。
	ださい。	
68	MC にアクセスできません。	MC からバックアップ収集を行った際,
		MC にアクセスできない場合に表示され
		るメッセージです。
69	リストアを行う系を選択してくださ	装置が冗長構成の場合、リストア対象の
	<i>د</i> ، .	系を未選択の場合に表示されるメッセー
		ジです。
70	装置 [IP アドレス(装置名)] は待機系	ソフトウェア更新を実施しようとしまし
	が[状態]のため[系]のソフトウェア更	たが、ソフトウェア更新を実行できない
	新を実行できません。	装置状態の場合に表示されるメッセージ
	※ツールが保持する装置の状態が最	です。
	新でない可能性もあります。	
	ツールが保持する装置の状態を更新	
	してからソフトウェア更新を実行す	
	る場合は,1度運用バージョン取得操	
	作を行ってから再度実行してくださ	
	<i>۷</i> ۰ ₀	
71	装置 [IP アドレス(装置名)] はソフト	ソフトウェア更新を実施しようとしまし
	ウェア更新実行可能な状態ではあり	たが、ソフトウェア更新を実行できない
	ません。(装置状態={[状態 1], [状態	装置状態の場合に表示されるメッセージ
	2]})	です。
	※ツールが保持する装置の状態が最	
	新でない可能性もあります。	
	ツールが保持する装置の状態を更新	
	してからソフトウェア更新を実行す	
	る場合は、1度運用バージョン取得	

	操作を行ってから再度実行してくだ	
	さい。	
72	装置 [IP アドレス(装置名)] は[状態]	ソフトウェア更新を実施しようとしまし
	のためソフトウェア更新を実行でき	たが、ソフトウェア更新を実行できない
	ません。	装置状態の場合に表示されるメッセージ
	※ツールが保持する装置の状態が最	です。
	新でない可能性もあります。	
	ツールが保持する装置の状態を更新	
	してからソフトウェア更新を実行す	
	る場合は,1度運用バージョン取得操	
	作を行ってから再度実行してくださ	
	<i>د</i> ، .	
73	処理中です。処理終了後に操作を再実	予約実行処理中にメニュー操作を行った
	施してください。	場合に表示されるメッセージです。
74	指定したコンフィグレーション格納	[ツール設定]画面のコンフィグレーショ
	先ディレクトリは有効なディレクト	ン格納先ディレクトリ欄に、ファイルや
	リではありません。	ショートカット等, ディレクトリ以外を
	再度選択してください。	指定して[OK]ボタンを押下した場合に,
		本メッセージが表示されます。
75	指定したバックアップファイル格納	[ツール設定]画面のバックアップファイ
	先ディレクトリは有効なディレクト	ル格納先ディレクトリ欄に、ファイルや
	リではありません。	ショートカット等, ディレクトリ以外を
	再度選択してください。	指定して[OK]ボタンを押下した場合に,
		本メッセージが表示されます。

(2) 障害復旧サポートツールのログ情報テーブルに表示されるメ ッセージー覧

障害復旧サポートツールのログ情報テーブル上に表示されるメッセージの一覧 を次の表に示します。

項番	メッセージ	内容
1	装置の移動に失敗しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ&ドロップ
		操作により、装置をあるグループから他
		のグループに移動した際、エラーが発生

表 5-3 ログ情報テーブル表示メッセージー覧

		しました。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
2	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定ファイル
		「BackupRecoveryTool.properties」の保存
		に失敗しました。設定ファイルが外部の
		エディタで開かれており、ロックがかか
		っている状態か、ファイルが読み取り専
		用属性になっている可能性があります。
		設定ファイルを外部のエディタで開いて
		いる場合は閉じてください。読み取り専
		用属性になっている場合はアクセス権を
		設定してください。
3	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルの内容が不正です。ファイルの
	しました。(ファイルの内容が不正で	内容を確認してください。
	す。ファイル名=[ファイル名])	
4	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルの区切り文字が不正です。ファ
	しました。(デリミタが不正です。デ	イルの内容を確認してください。
	リミタ=[デリミタ])	
5	ファイル読み込み中に不正な値を検	ファイルの内容が不正です。該当の項目
	出しました。(ファイル名=[ファイル	の値を修正した後、ファイルの読み込み
	名],行番号=[行番号],[項目名]=[値])	を行ってください。
6	ファイル読み込み中に重複登録エラ	ファイルで[項目名]で示される項目の値
	ーを検出しました。(ファイル名=[フ	の重複を検知しました。[項目名]の[値]
	ァイル名], 行番号=[行番号], [項目	を確認および修正した後、ファイルの読
	名]=[値])	み込みを行ってください。
7	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルを読み込んだ際,指定したファ
	しました。(ファイル [ファイル名]	イルが見つからなかった場合に本メッセ
	が見つかりません。)	ージが表示されます。
		再度読み込むファイルの選択を行ってく
		ださい。
8	ファイル読み込み時にデフォルト値	インポートファイルを読み込んだ際, [IP
	を適用しました。(IP アドレス=[IP ア	アドレス]のエントリについて,[項目名]
	ドレス], 装置名=[装置名], [項目	のデータが指定されていませんでした。

	名]=[値])	当該装置のフィールドにはデフォルト値
		を適用します。
9	ファイル読み込み時に登録済みの装	インポートファイルを読み込んだ際、既
	置を検出しました。読み込みをスキッ	に登録済みの装置と同一の IP アドレス
	プします。(IPアドレス=[IPアドレス],	を持つエントリを発見しました。登録済
	装置名=[装置名])	み装置の情報を優先し、インポートファ
		イルの内容を読み飛ばします。
10	ファイル読み込み時に登録済みの装	インポートファイルを読み込んだ際、既
	置を検出しました。登録済み装置を更	に登録済みの装置と同一の IP アドレス
	新します。(IPアドレス=[IPアドレス],	を持つエントリを発見しました。登録済
	装置名=[装置名])	み装置の情報を上書きします。
11	ファイル読み込み中にエラーを検出	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイ
	しました。(毎週繰り返しのスケジュ	ルを読み込んだ際、併せて行われるスケ
	ールに曜日が指定されていません。フ	ジュール情報ファイル読み込み時に,曜
	ァイル名=[ファイル名], 行番号=[行番	日の指定が1つもない「毎週繰り返し」
	号])	のスケジュール情報を検出しました。
		スケジュール情報ファイルの該当行を修
		正した後,[ファイル]-[開く]操作で再度
		装置情報ファイルの選択・読み込みを行
		ってください。
12	ファイル読み込み中にエラーを検出	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイ
	しました。(実行日時が重なるスケジ	ルを読み込んだ際、併せて行われるスケ
	ュールが登録されています。同一グル	ジュール情報ファイル読み込み時に,実
	ープに対して複数のスケジュールを	行日時が重なるスケジュール登録をチェ
	同時に実行することはできないため、	ックアウトしました。行番号1,行番号2
	実行日時が重ならないスケジュール	には、最初にチェックアウトされた、実
	を設定してください。ファイル名=[フ	行日時が重なる2件のスケジュール情報
	ァイル名],行番号=[行番号 1],[行番号	の行番号が表示されます。
	2])	
13	ファイル読み込み中に重複登録エラ	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイ
	ーを検出しました。(同一のスケジュ	ルを読み込んだ際,併せて行われるスケ
	ールが既に登録されています。同一グ	ジュール情報ファイル読み込み時に、同
	ループに対して複数のスケジュール	ーのスケジュール登録(重複登録)をチ
	を同時に実行することはできないた	ェックアウトしました。行番号 1, 行番
	め,異なるスケジュールを設定してく	号2には,最初にチェックアウトされた,
	ださい。ファイル名=[ファイル名],	2 件の同一スケジュール情報の行番号が

	行番号=[行番号 1], [行番号 2])	表示されます。
14	処理中にエラーが発生しました。前提	AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド
	ソフトウェア, または, インストール	(インストール編)および本ユーザーズ
	時に展開された JAR ファイルが所定	ガイドを参照し、前提ソフトウェアのフ
	のディレクトリに存在しない可能性	ァイルおよびインストール時に展開され
	があります。	たファイルがインストール先ディレクト
		リに存在するかどうかを確認してくださ
		い。ファイルが存在しない場合には、再
		度インストール作業を行う必要がありま
		す。
15	処理中にエラーが発生しました。	処理中に予期しないエラーが発生しまし
		た。本メッセージが表示された場合は,
		販売元に問い合わせてください。
16	装置を移動しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ&ドロップ
		操作により、装置をあるグループから他
		のグループに移動した際に表示される操
		作イベントログです。
17	現在よりも過去の日時を指定したス	スケジュール情報ファイルを読み込んだ
	ケジュール情報が存在します。これら	際,現在よりも過去の日時を指定したス
	のスケジュール情報は[スケジュール	ケジュール情報が存在することを検知し
	設定を有効にする]チェックを OFF に	ました。
	した状態で登録します。	
18	現在よりも [年] 年以上先の日時を	スケジュール情報ファイルを読み込んだ
	指定したスケジュール情報が存在し	際,現在よりも[年]年間未来の日時を指
	ます。これらのスケジュール情報は	定したスケジュール情報が存在すること
	[スケジュール設定を有効にする]チ	を検知しました。
	ェックを OFF にした状態で登録しま	
	<i>t</i> .	
19	ファイルの読み込みに失敗しました。	[ファイル]-[開く]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「ファイル読み込み中にエラーを検出し
		ました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に不正な値を検出

		しました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に重複登録エラー
		を検出しました。(エラーメッセージ)」
		上記メッセージが出力されていない場合
		は以下の対処を行ってください。指定し
		た装置情報ファイルまたはスケジュール
		情報ファイルを外部のエディタで開いて
		いる場合は閉じてください。
20	ファイルの上書き保存に失敗しまし	[ファイル]-[上書き保存]操作に失敗した
	た。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「装置情報ファイルの保存に失敗しまし
		た。」
		「スケジュール情報ファイルの保存に失
		敗しました。」
21	ファイルの保存に失敗しました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作に失
		敗した場合に表示される操作イベントロ
		グです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「装置情報ファイルの保存に失敗しまし
		te. J
		「スケジュール情報ファイルの保存に失
		敗しました。」
22	アプリケーションが正常終了しませ	本ツール終了時に,ツールの設定情報や
	んでした。	装置情報をファイルに保存できなかった
		場合に、本メッセージが表示されます。
		本メッセージが出力された場合は、ツー
		ルの設定ファイルや装置情報ファイル
		が、読み取り専用になっている可能性が
		あります。
		設定ファイルや装置情報ファイルを外部

		のエディタで開いている場合は閉じてく
		ださい。読み取り専用属性になっている
		場合はアクセス権を設定してください。
23	装置情報のクリアに失敗しました。	[ファイル]-[新規作成]操作に失敗した場
		合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
24	装置情報のインポートに失敗しまし	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
	た。	ート]操作に失敗した場合に表示される
		操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「ファイル読み込み中にエラーを検出し
		ました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に不正な値を検出
		しました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に重複登録エラー
		を検出しました。(エラーメッセージ)」
		上記メッセージが出力されていない場合
		は以下の対処を行ってください。
		指定したファイルを外部のエディタで開
		いている場合は閉じてください。
25	装置情報のエクスポートに失敗しま	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス
	した。	ポート]操作に失敗した場合に表示され
		る操作イベントログです。
		エクスポート先のファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ
		い。読み取り専用属性になっている場合
		はアクセス権を設定してください。
26	グループの追加に失敗しました。	[グループ]-[追加]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って

		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
27	グループ情報の更新に失敗しました。	[グループ]-[編集]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
28	グループの削除に失敗しました。	[グループ]-[削除]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
29	装置の追加に失敗しました。	[装置]-[追加]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
30	装置情報の更新に失敗しました。	[装置]-[編集]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
31	装置の削除に失敗しました。	[装置]-[削除]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
32	グループ [グループ名] に対する運	[情報収集]-[実行]-[運用バージョン取得]
	用バージョン取得に失敗しました。	操作に失敗した場合に表示される操作イ
		ベントログです。
		グループ内の装置が1台でも失敗した場

		合に出力されます。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「運用バージョン取得に失敗しました。」
33	グループ [グループ名] に対するコ	[情報収集]-[実行]-[コンフィグレーショ
	ンフィグレーション収集に失敗しま	ン収集]操作に失敗した場合に表示され
	した。	る操作イベントログです。
		グループ内の装置が1台でも失敗した場
		合に出力されます。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「コンフィグレーション収集に失敗しま
		した。」
34	グループ [グループ名] に対するバ	[情報収集]-[実行]-[バックアップ収集]操
	ックアップ収集に失敗しました。	作に失敗した場合に表示される操作イベ
		ントログです。
		グループ内の装置が1台でも失敗した場
		合に出力されます。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「バックアップ収集に失敗しました。」
35	装置 [IP アドレス(装置名)] のリスト	[障害復旧]-[エキスパート]-[リストア用
	ア用 MC 作成に失敗しました。	MC作成]操作に失敗した場合に表示され
		る操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「リストア用 MC 作成に失敗しました。」
36	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	[障害復旧]-[エキスパート]-[バックアッ
	アップ用 MC 作成に失敗しました。	プ用 MC 作成]操作に失敗した場合に表
		示される操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「バックアップ用 MC 作成に失敗しまし
		た。」
37	装置 [IP アドレス(装置名)] のコンフ	[障害復旧]-[エキスパート]-[コンフィグ
	ィグレーション復帰用 MC 作成に失	復帰用 MC 作成]操作に失敗した場合に

	敗しました。	表示される操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「コンフィグレーション復帰用 MC 作成
		に失敗しました。」
38	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	[障害復旧]-[エキスパート]-[MCからバッ
	アップ済 MC からのバックアップ収	クアップ収集]操作に失敗した場合に表
	集に失敗しました。	示される操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「コンフィグレーション復帰用 MC 作成
		に失敗しました。」
39	グループ [グループ名] に対するソ	[障害復旧]-[エキスパート]-[ソフトウェ
	フトウェア更新に失敗しました。	ア更新]操作に失敗した場合に表示され
		る操作イベントログです。
		グループ内の装置が1台でも失敗した場
		合に出力されます。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「ソフトウェア更新に失敗しました。」
40	装置 [IP アドレス(装置名)] の障害復	[障害復旧]-[障害復旧ウィザード]操作に
	旧ウィザードの実行に失敗しました。	失敗した場合に表示される操作イベント
		ログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		メッセージの内容を確認してください。
		「障害復旧ウィザード実行中にエラーが
		発生しました。」
41	ツール設定の更新に失敗しました。	[設定]-[設定]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが出力された場合は、設定
		ファイルが外部のエディタで開かれてお
		り、ロックがかかっている状態か、ファ
		イルが読み取り専用属性になっている可
		能性があります。
		設定ファイルを外部のエディタで開いて
		いる場合は閉じてください。読み取り専

		用属性になっている場合はアクセス権を
		設定してください。
42	スケジュールの追加に失敗しました。	[スケジュール]-[追加]操作に失敗した場
		合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
43	スケジュール情報の更新に失敗しま	[スケジュール]-[編集]操作に失敗した場
	した。	合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
44	スケジュールの削除に失敗しました。	[スケジュール]-[削除]操作に失敗した場
		合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
45	運用バージョン取得に失敗しました。	運用バージョン取得に失敗した場合に表
		示されます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
46	コンフィグレーション収集に失敗し	コンフィグレーション収集に失敗した場
	ました。	合に表示されます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
47	バックアップ収集に失敗しました。	バックアップ収集に失敗した場合に表示
		されます。

		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
48	リストア用 MC 作成に失敗しました。	リストア用 MC 作成に失敗した場合に表
		示されます。
		MC のドライブに対して書き込み可能か
		確認してください。それでもエラーが解
		消されない場合には販売元に問い合わせ
		てください。
49	バックアップ用 MC 作成に失敗しま	バックアップ用 MC 作成に失敗した場合
	した。	に表示されます。
		MC のドライブに対して書き込み可能か
		確認してください。それでもエラーが解
		消されない場合には販売元に問い合わせ
		てください。
50	コンフィグレーション復帰用 MC 作	コンフィグレーション復帰用 MC 作成に
	成に失敗しました。	失敗した場合に表示されます。
		MC のドライブに対して書き込み可能か
		確認してください。それでもエラーが解
		消されない場合には販売元に問い合わせ
		てください。
51	バックアップ済 MC からのバックア	バックアップ済 MC からのバックアップ
	ップ収集に失敗しました。	収集に失敗した場合に表示されます。
		バックアップファイル格納先に対して書
		き込み可能か確認してください。それで
		もエラーが解消されない場合には販売元
		に問い合わせてください。
52	ソフトウェアファイルのアップロー	ソフトウェアファイルのアップロードに
	ドに失敗しました。	失敗した際に出力されます。本メッセー
		ジは装置単位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場

		合には販売元に問い合わせてください。
53	ソフトウェア更新に失敗しました。	ソフトウェア更新に失敗した際に出力さ
		れます。本メッセージは装置単位に出力
		されます。
		本メッセージが表示された場合は、「5.1
		トラブル発生時の対応」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
54	待機系のソフトウェア更新に失敗し	装置が冗長構成の場合、待機系のソフト
	ました。	ウェア更新に失敗した際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
55	運用系のソフトウェア更新に失敗し	装置が冗長構成の場合,運用系のソフト
	ました。	ウェア更新に失敗した際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
56	装置の再起動確認に失敗しました。	ソフトウェア更新後の,装置の再起動確
		認に失敗した際に出力されます。本メッ
		セージは装置単位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は,「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
57	待機系の再起動確認に失敗しました。	装置が冗長構成の場合、ソフトウェア更

		新後の、装置の再起動確認に失敗した際
		に出力されます。本メッセージは装置単
		位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
58	旧運用系の再起動確認に失敗しまし	装置が冗長構成の場合、ソフトウェア更
	た。	新後の、装置の再起動確認に失敗した際
		に出力されます。本メッセージは装置単
		位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
59	運用系の再起動確認に失敗しました。	装置が冗長構成でない場合、ソフトウェ
		ア更新後の,装置の再起動確認に失敗し
		た際に出力されます。本メッセージは装
		置単位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
60	障害復旧ウィザード実行中にエラー	障害復旧ウィザード処理に失敗した場合
	が発生しました。	に表示されます。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
61	装置情報ファイルの保存に失敗しま	[ファイル]-[保存]操作や,[ファイル]-[上
	した。	書き保存]操作を行うと、「装置情報ファ
		イル」と「スケジュール情報ファイル」
		の2つのファイルに,それぞれこの順で,

		ツール上の情報が保存されますが、最初
		の「装置情報ファイル」への装置情報の
		保存に失敗した場合に、本メッセージが
		表示されます。(この場合、「スケジュ
		ール情報ファイル」へのスケジュール情
		報の保存は行われません。)
		保存先の装置情報ファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ
		い。読み取り専用属性になっている場合
		はアクセス権を設定してください。
62	スケジュール情報ファイルの保存に	スケジュール情報ファイルの保存に失敗
	失敗しました。	しました。
		本メッセージが表示された場合は、スケ
		ジュール情報ファイルを外部のエディタ
		等で開いたままの状態にしていないか,
		あるいは, スケジュール情報ファイルが
		読み取り専用属性になっていないか、確
		認してください。
63	コンフィグレーション格納先ディレ	コンフィグレーション格納ディレクトリ
	クトリの作成に失敗しました。	作成に失敗した場合に表示されます。
		コンフィグレーション格納ディレクトリ
		の上位ディレクトリが読み取り専用属性
		になっていないか,確認してください。
64	バックアップファイル格納先ディレ	バックアップファイル格納ディレクトリ
	クトリの作成に失敗しました。	作成に失敗した場合に表示されます。
		バックアップファイル格納ディレクトリ
		の上位ディレクトリが読み取り専用属性
		になっていないか,確認してください。
65	グループ [グループ名] に装置が存	装置が存在しないグループに対するスケ
	在しないため, グループ [グループ	ジュール実行は行われません。
	名] のスケジュール実行をスキップ	
	しました。	
66	ファイル読み込み中にエラーを検出	スケジュール情報ファイルの内容が不正
	しました。(コンフィグレーション収	です。ファイルの内容を確認してくださ
	集とバックアップ収集の両方を無効	لv₀
	にすることはできません。ファイル名	

	=[ファイル名],行番号=[行番号])	
67	ファイル読み込み中にエラーを検出	スケジュール情報ファイルの内容が不正
	しました。 (グループ指定, スケジュ	です。ファイルの内容を確認してくださ
	ール実行内容,スケジュール実行日時	۷ ۲ _۰
	の全てが重なるスケジュールが登録	
	されています。これらの3項目全てが	
	重ならないようスケジュールを登録	
	してください。ファイル名=[ファイル	
	名], 行番号=[行番号1],[行番号2)	
68	ファイル読み込み中に重複登録エラ	スケジュール情報ファイルの内容が不正
	ーを検出しました。(同一のスケジュ	です。ファイルの内容を確認してくださ
	ールが複数登録されています。異なる	ل <i>۲</i> ۰
	スケジュールを登録してください。フ	
	ァイル名=[ファイル名], 行番号=[行番	
	号 1], [行番号 2])	
69	アプリケーションが起動しました。	アプリケーション起動時に必ず出力され
		ます。
70	ファイルの読み込みが正常終了しま	[ファイル]-[開く]操作が正常終了した場
	した。	合に表示される操作イベントログです。
71	ファイル読み込みをキャンセルしま	[ファイル]-[開く]操作をキャンセルした
	した。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
72	ツール上の情報をファイルに上書き	[ファイル]-[上書き保存]操作が正常終了
	保存しました。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
73	ツール上の情報をファイルに保存し	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作が正
	ました。	常終了した場合に表示される操作イベン
		トログです。
74	ファイルの保存をキャンセルしまし	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作をキ
	t∈₀	ャンセルした場合に表示される操作イベ
		ントログです。
75	アプリケーションを終了しました。	[ファイル]-[終了]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
76	アプリケーションの終了をキャンセ	[ファイル]-[終了]操作をキャンセルした
	ルしました。	場合に表示される操作イベントログで
		す。

77	装置情報をクリアしました。	[ファイル]-[新規作成]操作が正常終了し
		た場合に表示される操作イベントログで
		す。
78	装置情報のクリアをキャンセルしま	[ファイル]-[新規作成]操作をキャンセル
	した。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
79	装置情報をインポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
		ート]操作が正常終了した場合に表示さ
		れる操作イベントログです。
80	装置情報のインポートをキャンセル	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
	しました。	ート]操作をキャンセルした場合に表示
		される操作イベントログです。
81	装置情報をエクスポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス
		ポート]操作が正常終了した場合に表示
		される操作イベントログです。
82	装置情報のエクスポートをキャンセ	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス
	ルしました。	ポート]操作をキャンセルした場合に表
		示される操作イベントログです。
83	グループを追加しました。	[グループ]-[追加]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
84	グループの追加をキャンセルしまし	[グループ]-[追加]操作をキャンセルした
	₹	場合に表示される操作イベントログで
		す。
85	グループ情報を更新しました。	[グループ]-[編集]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
86	グループ情報の更新をキャンセルし	[グループ]-[編集]操作をキャンセルした
	ました。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
87	グループを削除しました。	[グループ]-[削除]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
88	グループの削除をキャンセルしまし	[グループ]-[削除]操作をキャンセルした
	た。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
89	装置を追加しました。	[装置]-[追加]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
90	装置の追加をキャンセルしました。	[装置]-[追加]操作をキャンセルした場合

		に表示される操作イベントログです。
91	装置情報を更新しました。	[装置]-[編集]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
92	装置情報の更新をキャンセルしまし	[装置]-[編集]操作をキャンセルした場合
	t≈.₀	に表示される操作イベントログです。
93	装置を削除しました。	[装置]-[削除]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
94	装置の削除をキャンセルしました。	[装置]-[削除]操作をキャンセルした場合
		に表示される操作イベントログです。
95	グループ [グループ名] に対する運	指定グループ内の装置に対して運用バー
	用バージョン取得を開始します。	ジョン取得を開始する際に出力されま
		す。
96	グループ [グループ名] に対する運	指定グループ内の装置に対する運用バー
	用バージョン取得が正常終了しまし	ジョン取得が正常終了した際に出力され
	₹E₀	ます。
97	グループ [グループ名] に対する運	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指
	用バージョン取得をキャンセルしま	定グループ内の装置に対する運用バージ
	した。	ョン取得をキャンセルした際に出力され
		ます。
98	グループ [グループ名] に対するコ	指定グループ内の装置に対してコンフィ
	ンフィグレーション収集を開始しま	グレーション収集を開始する際に出力さ
	す。 	れます。
99	グループ [グループ名] に対するコ	指定グループ内の装置に対するコンフィ
	ンフィグレーション収集が正常終了	グレーション収集が正常終了した際に出
	しました。	力されます。
100	グループ [グループ名] に対するコ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指
	ンフィグレーション収集をキャンセ	定グループ内の装置に対するコンフィグ
	ルしました。	レーション収集をキャンセルした際に出
		力されます。
101	グループ [グループ名] に対するバ	指定グループ内の装置に対してバックア
	ックアップ収集を開始します。	ップ収集を開始する際に出力されます。
102	グループ [グループ名] に対するバ	指定グループ内の装置に対するバックア
	ックアップ収集が正常終了しました。	ップ収集が正常終了した際に出力されま
		す。
103	グループ [グループ名] に対するバ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指
	ックアップ収集をキャンセルしまし	定グループ内の装置に対するバックアッ

	た。	プ収集をキャンセルした際に出力されま
		す。
104	装置 [IP アドレス(装置名)] のリスト	装置に対してリストア用 MC 作成を開始
	ア用 MC 作成を開始します。	する際に出力されます。
105	装置 [IP アドレス(装置名)] のリスト	装置に対してリストア用 MC 作成が正常
	ア用 MC 作成が正常終了しました。	終了した際に出力されます。
106	装置 [IP アドレス(装置名)] のリスト	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	ア用 MC 作成をキャンセルしました。	置に対するリストア用 MC 作成をキャン
		セルした際に出力されます。
107	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	装置に対してバックアップ用 MC 作成を
	アップ用 MC 作成を開始します。	開始する際に出力されます。
108	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	装置に対してバックアップ用 MC 作成が
	アップ用 MC 作成が正常終了しまし	正常終了した際に出力されます。
	た。	
109	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	アップ用 MC 作成をキャンセルしま	置に対するバックアップ用 MC 作成をキ
	した。	ャンセルした際に出力されます。
110	装置 [IP アドレス(装置名)] のコンフ	装置に対してコンフィグレーション復帰
	ィグレーション復帰用 MC 作成を開	用 MC 作成を開始する際に出力されま
	始します。	す。
111	装置 [IP アドレス(装置名)] のコンフ	装置に対してコンフィグレーション復帰
	ィグレーション復帰用 MC 作成が正	用 MC 作成が正常終了した際に出力され
	常終了しました。	ます。
112	装置 [IP アドレス(装置名)] のコンフ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	ィグレーション復帰用 MC 作成をキ	置に対するコンフィグレーション復帰用
	ャンセルしました。	MC 作成をキャンセルした際に出力され
		ます。
113	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	装置に対してバックアップ済 MC からの
	アップ済 MC からのバックアップ収	バックアップ収集を開始する際に出力さ
	集を開始します。	れます。
114	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	装置に対してバックアップ済 MC からの
	アップ済 MC からのバックアップ収	バックアップ収集が正常終了した際に出
	集が正常終了しました。	力されます。
115	装置 [IP アドレス(装置名)] のバック	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	アップ済 MC からのバックアップ収	置に対するバックアップ済 MC からのバ
	集をキャンセルしました。	ックアップ収集をキャンセルした際に出

		力されます。
116	グループ [グループ名] に対するソ	指定グループ内の装置に対してソフトウ
	フトウェア更新を開始します。	ェア更新を開始する際に出力されます。
117	グループ [グループ名] に対するソ	指定グループ内の装置に対するソフトウ
	フトウェア更新が正常終了しました。	ェア更新が正常終了した際に出力されま
		す。
118	グループ [グループ名] に対するソ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指
	フトウェア更新をキャンセルしまし	定グループ内の装置に対するソフトウェ
	た。	ア更新をキャンセルした際に出力されま
		す。
119	装置 [IP アドレス(装置名)] の障害復	装置に対して障害復旧ウィザードを開始
	旧ウィザードを開始します。	する際に出力されます。
120	装置 [IP アドレス(装置名)] の障害復	装置に対して障害復旧ウィザードが正常
	旧ウィザードが正常終了しました。	終了した際に出力されます。
121	装置 [IP アドレス(装置名)] の障害復	装置に対する障害復旧ウィザードをキャ
	旧ウィザードをキャンセルしました。	ンセルした際に出力されます。
122	ツール設定を更新しました。	[設定]-[設定]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
123	ツール設定の更新をキャンセルしま	[設定]-[設定]操作をキャンセルした場合
	した。	に表示される操作イベントログです。
124	スケジュールを追加しました。	[スケジュール]-[追加]操作が正常終了し
		た場合に表示される操作イベントログで
		す。
125	スケジュールの追加をキャンセルし	[スケジュール]-[追加]操作をキャンセル
	ました。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
126	スケジュール情報を更新しました。	[スケジュール]-[編集]操作が正常終了し
		た場合に表示される操作イベントログで
		す。
127	スケジュール情報の更新をキャンセ	[スケジュール]-[編集]操作をキャンセル
	ルしました。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
128	スケジュールを削除しました。	[スケジュール]-[削除]操作が正常終了し
		た場合に表示される操作イベントログで
		す。

129	スケジュールの削除をキャンセルし	[スケジュール]-[削除]操作をキャンセル
	ました。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
130	処理を中止します。	装置に対する処理を中止する場合に表示
		されます。
131	運用バージョン取得を開始します。	指定グループ内の装置に対して運用バー
		ジョン取得を開始する際に出力されま
		す。
132	運用バージョン取得が正常終了しま	指定グループ内の装置に対する運用バー
	した。	ジョン取得が正常終了した際に出力され
		ます。
133	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指
		定グループ内の装置に対する運用バージ
		ョン取得をキャンセルした際に出力され
		ます。
134	コンフィグレーション収集を開始し	指定グループ内の装置に対してコンフィ
	ます。	グレーション収集を開始する際に出力さ
		れます。
135	コンフィグレーション収集が正常終	指定グループ内の装置に対するコンフィ
	了しました。	グレーション収集が正常終了した際に出
		力されます。
136	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指
		定グループ内の装置に対するコンフィグ
		レーション収集をキャンセルした際に出
		力されます。
137	バックアップ収集を開始します。	装置に対してバックアップ収集を開始す
		る際に出力されます。
138	バックアップ収集が正常終了しまし	装置に対するバックアップ収集が正常終
	た。	了した際に出力されます。
139	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対するバックアップ収集をキャンセ
		ルした際に出力されます。
140	リストア用 MC 作成を開始します。	装置に対してリストア用 MC 作成を開始
		する際に出力されます。
141	リストア用 MC 作成が正常終了しま	装置に対するリストア用 MC 作成が正常
	した。	終了した際に出力されます。

142	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対するリストア用 MC 作成をキャン
		セルした際に出力されます。
143	バックアップ用 MC 作成を開始しま	装置に対してバックアップ用 MC 作成を
	す。	開始する際に出力されます。
144	バックアップ用 MC 作成が正常終了	装置に対するバックアップ用 MC 作成が
	しました。	正常終了した際に出力されます。
145	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対するバックアップ用 MC 作成をキ
		ャンセルした際に出力されます。
146	コンフィグレーション復帰用 MC 作	装置に対してコンフィグレーション復帰
	成を開始します。	用 MC 作成を開始する際に出力されま
		す。
147	コンフィグレーション復帰用 MC 作	装置に対してコンフィグレーション復帰
	成が正常終了しました。	用 MC 作成が正常終了した際に出力され
		ます。
148	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対するコンフィグレーション復帰用
		MC 作成をキャンセルした際に出力され
		ます。
149	バックアップ済 MC からのバックア	バックアップ済 MC からのバックアップ
	ップ収集を開始します。	収集を開始する際に出力されます。
150	バックアップ済 MC からのバックア	バックアップ済 MC からのバックアップ
	ップ収集が正常終了しました。	収集が正常終了した際に出力されます。
151	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,バ
		ックアップ済 MC からのバックアップ収
		集をキャンセルした際に出力されます。
152	ソフトウェアファイルのアップロー	ソフトウェアファイルのアップロードを
	ドを開始します。	開始する際に出力されます。
153	ソフトウェアファイルのアップロー	ソフトウェアファイルのアップロードが
	ドが正常終了しました。	正常終了した際に出力されます。
154	処理を中止しました。(ソフトウェア	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、ソ
	ファイルのアップロードおよびソフ	フトウェアファイルのアップロードをキ
	トウェア更新は行われませんでし	ャンセルした際に出力されます。
	た。)	
155	ソフトウェア更新を開始します。	ソフトウェア更新を開始する際に出力さ

		れます。
156	ソフトウェア更新が正常終了しまし	ソフトウェア更新が正常終了した際に出
	t≥.₀	力されます。
157	処理を中止しました。(ソフトウェア	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,ソ
	ファイルのアップロードまで行われ	フトウェア更新をキャンセルした際に出
	ソフトウェア更新は行われませんで	力されます。
	した。)	
158	待機系のソフトウェア更新を開始し	装置が冗長構成の場合、待機系のソフト
	ます。	ウェア更新を開始する際に出力されま
		す。
159	待機系のソフトウェア更新が正常終	装置が冗長構成の場合、待機系のソフト
	了しました。	ウェア更新が正常終了した際に出力され
		ます。
160	処理を中止しました。(ソフトウェア	装置が冗長構成の場合,実行中画面の[中
	ファイルのアップロードまで行われ	止]ボタンを押下し, 待機系のソフトウェ
	待機系のソフトウェア更新は行われ	ア更新をキャンセルした際に出力されま
	ませんでした。)	す。
161	運用系のソフトウェア更新を開始し	装置が冗長構成の場合,運用系のソフト
	ます。	ウェア更新を開始する際に出力されま
		す。
162	運用系のソフトウェア更新が正常終	装置が冗長構成の場合,運用系のソフト
	了しました。	ウェア更新が正常終了した際に出力され
		ます。
163	処理を中止しました。(ソフトウェア	装置が冗長構成の場合,実行中画面の[中
	ファイルのアップロードまで行われ	止]ボタンを押下し, 運用系のソフトウェ
	運用系のソフトウェア更新は行われ	ア更新をキャンセルした際に出力されま
	ませんでした。)	す。
164	装置の再起動確認を開始します。	装置の再起動確認を開始する際に出力さ
		れます。
165	装置の再起動確認が正常終了しまし	装置の再起動確認が正常終了した際に出
	t∈₀	力されます。
166	処理を中止しました。(ソフトウェア	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	更新まで行われ装置の再起動確認は	置の再起動確認をキャンセルした際に出
	行われませんでした。)	力されます。
167	待機系の再起動確認を開始します。	装置が冗長構成の場合、待機系の再起動
		確認を開始する際に出力されます。

168	待機系の再起動確認が正常終了しま	装置が冗長構成の場合、待機系の再起動
	した。	確認が正常終了した際に出力されます。
169	処理を中止しました。(待機系のソフ	装置が冗長構成の場合,実行中画面の[中
	トウェア更新まで行われ待機系の再	止]ボタンを押下し, 待機系の再起動確認
	起動確認は行われませんでした。)	をキャンセルした際に出力されます。
170	処理を中止しました。(待機系の再起	装置が冗長構成の場合,実行中画面の[中
	動確認まで行われ運用系のソフトウ	止]ボタンを押下し, 運用系のソフトウェ
	ェア更新は行われませんでした。)	ア更新をキャンセルした際に出力されま
		す。
171	旧運用系の再起動確認を開始します。	装置が冗長構成の場合、旧運用系の再起
		動確認を開始する際に出力されます。
172	旧運用系の再起動確認が正常終了し	装置が冗長構成の場合、旧運用系の再起
	ました。	動確認が正常終了した際に出力されま
		す。
173	処理を中止しました。(運用系のソフ	装置が冗長構成の場合,実行中画面の[中
	トウェア更新まで行われ旧運用系の	止]ボタンを押下し, 旧運用系の再起動確
	再起動確認は行われませんでした。)	認をキャンセルした際に出力されます。
174	運用系の再起動確認を開始します。	装置が冗長構成の場合,運用系の再起動
		確認を開始する際に出力されます。
175	運用系の再起動確認が正常終了しま	装置が冗長構成の場合,運用系の再起動
	した。	確認が正常終了した際に出力されます。
176	処理を中止しました。(運用系のソフ	装置が冗長構成の場合,実行中画面の[中
	トウェア更新まで行われ運用系の再	止]ボタンを押下し,運用系の再起動確認
	起動確認は行われませんでした。)	をキャンセルした際に出力されます。
177	コンフィグレーションが変更されて	本 ツー ル の 設 定 ファイ ル で,
	いないため保存をスキップしました。	「config.difference.detection」の設定値を
		「ON」に設定している場合は, コンフィ
		グレーション収集時に,前回収集したコ
		ンフィグレーションと比較して内容が変
		更されていなければ,保存をスキップし
		ます。
178	処理中にメモリ不足エラーが発生し	メモリ不足エラーが発生しました。
	ました。	「 <u>2.4.1 利用可能な最大メモリサイズを</u>
		変更する」記載の手順でツールが使用す
		る利用可能な最大メモリサイズを変更し
		てください。
179	ログのファイル出力に失敗しました。	動作ログのファイルへの出力に失敗した
-----	-------------------	--------------------
		場合に出力されるエラーメッセージで
		す。動作ログの格納ディレクトリの作成
		に失敗したか、動作ログファイルの書き
		込みに失敗しました。
		動作ログファイルを外部のエディタで開
		いている場合は閉じてください。動作ロ
		グファイルおよび出力先ディレクトリが
		読み取り専用属性になっている場合はア
		クセス権を設定してください。
		動作ログファイルおよび出力先ディレク
		トリについては設定ファイル内容を参照
		ください。

(3) MC の詳細ログに格納されるメッセージー覧

MC の詳細ログに出力されるメッセージの一覧を次の表に示します。 詳細ログは MC のルートディレクトリに ax_mlog.txt として出力されます。 下記はメッセージテキスト中に表示されるパラメータ類です。 <script_name> : 実行中のメンテナンスファイル名 <meta_script_name> : ファイル名メタデータ <err_val> : メンテナンスファイルが返したエラー番号 (MMMM_)yyyymmdd:装置名_年年年年月月日日,又は年年年年月月日日

表 5-4 操作共通:正常時のメッセージ

項番	メッセージテキスト	内容
1	Maintenance Script <script_name> is</script_name>	メンテナンスファイルの処理を開始し
	started.	た。
2	Maintenance Script <script_name> is</script_name>	メンテナンスファイルの処理を正常終了
	finished.	した。

表 5-5 操作共通:異常時のメッセージ

項番	メッセージテキスト	内容
1	Maintenance Script <script_name> is</script_name>	メンテナンスファイルの処理実行でエラ

	finished with errors.	ーが発生した。
2	Maintenance Script <script_name> is not</script_name>	エラー発生で、メンテナンスファイルの
	executed.	処理が実行されなかった。
3	Error at Media check. Media is	MC がライトプロテクト状態である。
	write-protected.	
4	Error at copy script. Can't open SD	MC のディレクトリオープンでエラーが
	Directory.	発生した。
5	Error at copy script. Can't open SD	MC のディレクトリ情報獲得でエラーが
	Directory entry.	発生した。
6	Error at copy script. Script name's length	メンテナンスファイル名が間違ってい
	longer than limit.	る。
7	Error at copy script. Script file size is 0.	メンテナンスファイルのサイズが0であ
		る。
8	Error at copy script. Script not found.	メンテナンスファイルが存在しない。
9	Error at copy script. 2nd Script file	メンテナンスファイルが複数存在する。
	found.	
10	Error at copy script. No space left on	本装置の空きディスクスペースが足りな
	memory.	<i>۷</i> ۰,
11	Error at copy script. Can't create	テンポラリファイル作成に失敗した。
	temporary file.	
12	Error at copy script. Can't open SD	MC のメンテナンスファイルオープンで
	Script file(source).	エラーが発生した。
13	Error at copy script. Can't open Unix	テンポラリファイルのオープンでエラー
	script file(destination).	が発生した。
14	Error at copy script. SDCopyFrom return	メンテナンスファイルのコピーでエラー
	Error.	が発生した。
15	Error at check script. Can't change script	メンテナンスファイルのモード変更で失
	file modes.	敗した。
16	Error at check script. Script file open	メンテナンスファイルのオープンでエラ
	error.	ーが発生した。
17	Error at check script. Script file mmap	メンテナンスファイルのメモリマップで
	error.	エラーが発生した。
18	Error at check script. script	認証メタデータが存在しないか、フォー
	authentication check error. Not found	マットエラーである。

	Meta record.	
19	Error at check script. script	認証メタデータの認証に失敗した。
	authentication check error.	
20	Error at check script. script name check	ファイル名メタデータが存在しない。
	error. Not found Meta record.	
21	Error at check script. script name check	ファイル名メタデータのフォーマットエ
	error. Not found file name.	ラーである。
22	Error at check script. script name check	ファイル名がファイル名メタデータと一
	error. <script_name> :</script_name>	致しない。
	<meta_script_name></meta_script_name>	
23	Error at run insert script. script	MC 挿入処理実行時にエラーが発生し
	<script_name> return <err_val>.</err_val></script_name>	た。
24	Error at run eject script. This function is	MC 抜去時,コマンドレス保守機能が無
	set disable.	効になっている。
25	Error at run eject script. script	MC 抜去処理実行時にエラーが発生し
	<script_name> return <err_val>.</err_val></script_name>	te.

表 5-6 コンフィグレーション復帰時のメッセージ

項番	メッセージテキスト	内容
1	config.txt is copied from MC.	コンフィグレーションの更新が正常終了
	Succeeded to copy config.txt to	した。
	startup-config.	
2	This maintenance script does not	別の機種用のメンテナンスファイルを使
	correspond to this model.	用した。
3	config.txt cannot be copied from MC.	コンフィグレーションファイルのコピー
		に失敗した。
4	config.txt is copied from MC.	コンフィグレーションの更新で失敗し
	Failed to copy config.txt to	た。
	startup-config.	

表 5-7 バックアップ収集時のメッセージ

項番	メッセージテキスト	内容
1	Succeeded to backup.	バックアップが正常終了した。
2	This maintenance script does not	別の機種用のメンテナンスファイルを使
	correspond to this model.	用した。

r		
3	Failed to backup.	バックアップが失敗した。

表 5-8 リストア時のメッセージ

項番	メッセージテキスト	内容
1	Succeeded to restore.	リストアが正常終了した。
		ソフトウェアの更新が正常終了した。
2	This maintenance script does not	別の機種用のメンテナンスファイルを使
	correspond to this model.	用した。
3	Failed to restore.	リストアが失敗した。
4	Succeeded to restore.	リストアは正常終了したが、ソフトウェ
	Failed to ppupdate.	アの更新で失敗した。

5.3 ログファイル

障害復旧サポートツールでは以下2種類のログファイルが障害解析用に出力さ れます。それぞれのログファイルに格納される情報および格納先ディレクトリ を説明します。

・動作ログファイル

ログ情報テーブルに表示された内容すべてを記録したファイルです。デフォル トでは、以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool¥table-log

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

・デバッグログファイル

障害復旧サポートツールの動作内容や、エラー情報を記録した障害解析用のフ ァイルです。デフォルトでは、以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>¥BackupRecoveryTool¥trace-log

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility